



かながわ考古学財団調査報告 345

東富岡・太窪遺跡 東富岡・中島遺跡 栗窪・林窪遺跡

新東名高速道路（伊勢原市栗窪地区）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

第2分冊

2025.3

公益財団法人 かながわ考古学財団

かながわ考古学財団調査報告
345

東富岡・太窪遺跡
東富岡・中島遺跡
栗窪・林窪遺跡

第2分冊

二〇二五

公益財団法人

かながわ考古学財団

かながわ考古学財団調査報告 345

ひがしとみおか 東富岡・ふとくぼ 太窪遺跡
ひがしとみおか 東富岡・なかじま 中島遺跡
あわくぼ 栗窪・はやしくぼ 林窪遺跡

新東名高速道路（伊勢原市栗窪地区）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

第2分冊

2025.3

公益財団法人 かながわ考古学財団

目 次

(第2分冊)

第Ⅳ編 栗窪・林窪遺跡の調査

第2章 発見された遺構と遺物

第3節 8区・9区・調整池②区(8区②・9区西)	445
1. 近 世	445
(1) 掘立柱建物	445
(2) 竪穴状遺構	445
(3) 溝状遺構・杭列・段切り	451
(4) 硬化面	486
(5) 耕作址	488
(6) 井戸址	491
(7) 土 坑	492
(8) ピット	530
(9) 遺構外出土遺物	530
2. 中 世	539
(1) 段切り	539
(2) 竪穴状遺構	549
(3) 溝状遺構	599
(4) 耕作址	629
(5) 井戸址	633
(6) 硬化面	641
(7) 地下式坑	646
(8) 土 坑	652
(9) 集 石	736
(10) ピット	737
(11) 焼土址	787
(12) 遺構外出土遺物	789
3. 奈良・平安時代	803
(1) 土 坑	804
(2) ピット	806
(3) 遺構外出土遺物	807

4. 弥生時代後期～古墳時代前期	809
(1) 遺構外出土遺物	809
5. 縄文時代	810
(1) 遺構外出土遺物	810
第V編 自然科学（委託）分析	814
第1章 東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡、栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺跡出土の石器・石製品の石材同定	814
第2章 東富岡・太窪遺跡、栗窪・林遺跡出土の黒曜石産地分析	825
第3章 東富岡・太窪遺跡、栗窪・林窪遺跡出土の木製品樹種同定	832
第VI編 まとめ	838
第1章 調査の成果と課題	838
1. 東富岡・太窪遺跡	838
(1) 近 世	838
(2) 中 世	839
(3) 奈良・平安時代	840
(4) 弥生時代後期～古墳時代前期	840
(5) 縄文時代	841
(6) 旧石器時代	842
2. 東富岡・中島遺跡	846
(1) 近 世	846
(2) 中 世	847
(3) 奈良・平安時代	848
(4) 縄文時代	848
(5) 旧石器時代	850
3. 栗窪・林窪遺跡	851
(1) 近 世	851
(2) 中 世	853
(3) 奈良・平安時代	857
(4) 弥生時代後期～古墳時代前期	857

(5) 縄文時代	857
第2章 結語	860

挿 図 目 次

(第2分冊)

第333図	8・9・調整池②区近世遺構配置図 [1/500]	446	第354図	8・9・調整池②区K11号溝状遺構 [1/60]	465
第334図	8・9・調整池②区K1号掘立柱建物址 (1) [1/60]	447	第355図	8・9・調整池②区K12号溝状遺構 [1/60]	465
第335図	8・9・調整池②区K1号掘立柱建物址 (2) [1/60]	448	第356図	8・9・調整池②区K13号溝状遺構 [1/60]	466
第336図	8・9・調整池②区K1号掘立柱建物址 (3) [1/60]	449	第357図	8・9・調整池②区K15号溝状遺構 [1/60]	467
第337図	8・9・調整池②区K1号竪穴状遺構 [1/60]	450	第358図	8・9・調整池②区K16号溝状遺構 [1/60]	468
第338図	8・9・調整池②区K2号竪穴状遺構 [1/60]	451	第359図	8・9・調整池②区K17号溝状遺構 [1/60]	469
第339図	8・9・調整池②区K1号溝状遺構 [1/60]	452	第360図	8・9・調整池②区K17号溝状遺構出土遺物 [1/3]	469
第340図	8・9・調整池②区K2号溝状遺構出土遺物 [1/3]	452	第361図	8・9・調整池②区K18号溝状遺構 (1) [1/120・1/60]	470
第341図	8・9・調整池②区K2号溝状遺構・ K1号杭列 [1/60]	453	第362図	8・9・調整池②区K18号溝状遺構 (2) [1/60]	471
第342図	8・9・調整池②区K3号溝状遺構 [1/60]	454	第363図	8・9・調整池②区K18号溝状遺構出土遺物 [1/3・1/6]	472
第343図	8・9・調整池②区K3号溝状遺構出土遺物 [1/3]	455	第364図	8・9・調整池②区K19号溝状遺構・ K1号段切り [1/120・1/60]	474
第344図	8・9・調整池②区K4号溝状遺構 [1/60]	456	第365図	8・9・調整池②区K20号溝状遺構 [1/120・1/60]	475
第345図	8・9・調整池②区K4号溝状遺構出土遺物 [1/3]	456	第366図	8・9・調整池②区K21号溝状遺構 [1/120・1/60]	476
第346図	8・9・調整池②区K5号溝状遺構・ K2号杭列 [1/60]	457	第367図	8・9・調整池②区K22号溝状遺構 [1/60]	477
第347図	8・9・調整池②区K5号溝状遺構出土遺物 [1/3]	458	第368図	8・9・調整池②区K23号溝状遺構 [1/60]	478
第348図	8・9・調整池②区K7号溝状遺構 [1/60]	459	第369図	8・9・調整池②区K24号溝状遺構 [1/60]	479
第349図	8・9・調整池②区K8号溝状遺構 [1/60]	460	第370図	8・9・調整池②区K25号溝状遺構・ K2号段切り [1/60]	480
第350図	8・9・調整池②区K8号溝状遺構出土遺物 [1/3]	461	第371図	8・9・調整池②区K26号溝状遺構 [1/60]	481
第351図	8・9・調整池②区K9号溝状遺構出土遺物 [1/3]	461	第372図	8・9・調整池②区K26号溝状遺構出土遺物 [1/3]	482
第352図	8・9・調整池②区K9号溝状遺構 [1/60]	462	第373図	8・9・調整池②区K27号溝状遺構 [1/60]	483
第353図	8・9・調整池②区K10号溝状遺構 [1/60]	464	第374図	8・9・調整池②区K28号溝状遺構 [1/60]	484

第375図	8・9・調整池②区K28号溝状遺構出土遺物 [1/3]	484	第402図	8・9・調整池②区近世ピット（3） [1/80]	520
第376図	8・9・調整池②区K29号溝状遺構 [1/60]	486	第403図	8・9・調整池②区近世ピット（4） [1/80]	521
第377図	8・9・調整池②区K30号溝状遺構 [1/60]	487	第404図	8・9・調整池②区近世ピット（5） [1/80]	522
第378図	8・9・調整池②区K31号溝状遺構 [1/60]	488	第405図	8・9・調整池②区近世ピット（6） [1/80]	523
第379図	8・9・調整池②区K1号硬化面 [1/60] ..	489	第406図	8・9・調整池②区近世ピット（7） [1/80]	524
第380図	8・9・調整池②区K2号硬化面 [1/60] （1）	490	第407図	8・9・調整池②区近世ピット（8） [1/80]	525
第381図	8・9・調整池②区K2号硬化面 [1/60] （2）	491	第408図	8・9・調整池②区近世ピット（9） [1/80]	526
第382図	8・9・調整池②区K2号硬化面出土遺物 [1/3]	491	第409図	8・9・調整池②区近世ピット（10） [1/80]	526
第383図	8・9・調整池②区K4号硬化面 [1/60] ..	492	第410図	8・9・調整池②区K280号ピット出土遺物 [1/3]	530
第384図	8・9・調整池②区K1号耕作址 [1/80] ..	493	第411図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物（1） [1/3]	532
第385図	8・9・調整池②区K2号耕作址 [1/80] ..	494	第412図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物（2） [1/3]	533
第386図	8・9・調整池②区K1号井戸址 [1/60] ..	495	第413図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物（3） [1/3・2/3・1/6]	534
第387図	8・9・調整池②区K1号井戸址出土遺物 [1/3]	495	第414図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物（4） [1/6]	535
第388図	8・9・調整池②区K1～4号土坑 [1/60]	496	第415図	8・9・調整池②区中世遺構配置図 [1/500]	540
第389図	8・9・調整池②区K5～8号土坑 [1/60]	498	第416図	8・9・調整池②区中世遺構（堅穴状遺構） 配置図 [1/500]	541
第390図	8・9・調整池②区K9～14号土坑 [1/60]	500	第417図	8・9・調整池②区中世遺構（溝状遺構・ 段切り）配置図 [1/500]	542
第391図	8・9・調整池②区K15～19号土坑 [1/60]	502	第418図	8・9・調整池②区中世遺構（土坑）配置図 [1/500]	543
第392図	8・9・調整池②区K20～22・25号土坑 [1/60]	504	第419図	8・9・調整池②区中世遺構（地下式坑・ 焼土址・硬化面・井戸址・集石・耕作址） 配置図 [1/500]	544
第393図	8・9・調整池②区K26～28号土坑 [1/60]	506	第420図	8・9・調整池②区C1号段切り [1/120・1/60]	545
第394図	8・9・調整池②区K29～32・34号土坑 [1/60]	507	第421図	8・9・調整池②区C2号段切り [1/60] ..	546
第395図	8・9・調整池②区K35～38号土坑 [1/60]	509	第422図	8・9・調整池②区C5号段切り [1/60] ..	547
第396図	8・9・調整池②区K39～44号土坑 [1/60]	511	第423図	8・9・調整池②区C5号段切り出土遺物 [1/3・2/3]	548
第397図	8・9・調整池②区K45～50号土坑 [1/60]	514	第424図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構 [1/60]	550
第398図	8・9・調整池②区K51～54号土坑 [1/60]	515	第425図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構出土 遺物（1） [1/3]	551
第399図	8・9・調整池②区近世ピット全体図 [1/500]	517	第426図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構出土 遺物（2） [1/3]	552
第400図	8・9・調整池②区近世ピット（1） [1/80]	518			
第401図	8・9・調整池②区近世ピット（2） [1/80]	519			

第427図	8・9・調整池②区C 2号竪穴状遺構 [1/60]	554	第452図	8・9・調整池②区C 21号竪穴状遺構 [1/60]	579
第428図	8・9・調整池②区C 3号竪穴状遺構 [1/60]	555	第453図	8・9・調整池②区C 21号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	579
第429図	8・9・調整池②区C 4号竪穴状遺構 [1/60]	556	第454図	8・9・調整池②区C 22号竪穴状遺構 [1/60]	580
第430図	8・9・調整池②区C 4号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	557	第455図	8・9・調整池②区C 23号竪穴状遺構 [1/60]	580
第431図	8・9・調整池②区C 5号竪穴状遺構 [1/60]	558	第456図	8・9・調整池②区C 24号竪穴状遺構 [1/60]	581
第432図	8・9・調整池②区C 6号竪穴状遺構 (1) [1/60]	559	第457図	8・9・調整池②区C 24号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	582
第433図	8・9・調整池②区C 6号竪穴状遺構 (2) [1/60]	560	第458図	8・9・調整池②区C 25号竪穴状遺構 [1/60]	583
第434図	8・9・調整池②区C 7号竪穴状遺構 [1/60]	561	第459図	8・9・調整池②区C 26号竪穴状遺構 [1/60]	584
第435図	8・9・調整池②区C 8号竪穴状遺構 (1) [1/60]	562	第460図	8・9・調整池②区C 27号竪穴状遺構 [1/60]	585
第436図	8・9・調整池②区C 8号竪穴状遺構 (2) [1/60]	563	第461図	8・9・調整池②区C 28号竪穴状遺構 [1/60]	586
第437図	8・9・調整池②区C 8号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3・2/3]	563	第462図	8・9・調整池②区C 29号竪穴状遺構 [1/60]	587
第438図	8・9・調整池②区C 9号竪穴状遺構 [1/60]	564	第463図	8・9・調整池②区C 31号竪穴状遺構 [1/60]	588
第439図	8・9・調整池②区C 10号竪穴状遺構 [1/60]	565	第464図	8・9・調整池②区C 32号竪穴状遺構 [1/60]	589
第440図	8・9・調整池②区C 11号竪穴状遺構 [1/60]	566	第465図	8・9・調整池②区C 33号竪穴状遺構 [1/60]	590
第441図	8・9・調整池②区C 12号竪穴状遺構 [1/60]	567	第466図	8・9・調整池②区C 34号竪穴状遺構 [1/60]	591
第442図	8・9・調整池②区C 13号竪穴状遺構 [1/60]	568	第467図	8・9・調整池②区C 34号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	593
第443図	8・9・調整池②区C 14号竪穴状遺構 [1/60]	569	第468図	8・9・調整池②区C 35号竪穴状遺構 [1/60]	594
第444図	8・9・調整池②区C 14号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	570	第469図	8・9・調整池②区C 36号竪穴状遺構 [1/60]	595
第445図	8・9・調整池②区C 15号竪穴状遺構 [1/60]	571	第470図	8・9・調整池②区C 37号竪穴状遺構 [1/60]	596
第446図	8・9・調整池②区C 16号竪穴状遺構 [1/60]	572	第471図	8・9・調整池②区C 38号竪穴状遺構 [1/60]	597
第447図	8・9・調整池②区C 17号竪穴状遺構 [1/60]	573	第472図	8・9・調整池②区C 39号竪穴状遺構 [1/60]	598
第448図	8・9・調整池②区C 18号竪穴状遺構 [1/60]	574	第473図	8・9・調整池②区C 40号竪穴状遺構 [1/60]	598
第449図	8・9・調整池②区C 19号竪穴状遺構 [1/60]	575	第474図	8・9・調整池②区C 41号竪穴状遺構 [1/60]	599
第450図	8・9・調整池②区C 20号竪穴状遺構出土 遺物 [2/3・1/3]	576	第475図	8・9・調整池②区C 42号竪穴状遺構 [1/60]	600
第451図	8・9・調整池②区C 20号竪穴状遺構 [1/60]	577	第476図	8・9・調整池②区C 42号竪穴状遺構出土 遺物 [2/3]	601

第477図	8・9・調整池②区C 1号溝状遺構 〔1/120・1/60〕	602	第502図	8・9・調整池②区C 26号溝状遺構 〔1/60〕	625
第478図	8・9・調整池②区C 1号溝状遺構出土 遺物 〔1/3〕	603	第503図	8・9・調整池②区C 27号溝状遺構 〔1/60〕	625
第479図	8・9・調整池②区C 2号溝状遺構 〔1/60〕	604	第504図	8・9・調整池②区C 28号溝状遺構 〔1/60〕	626
第480図	8・9・調整池②区C 4号溝状遺構 〔1/60〕	605	第505図	8・9・調整池②区C 30号溝状遺構 〔1/60〕	627
第481図	8・9・調整池②区C 5号溝状遺構 〔1/60〕	606	第506図	8・9・調整池②区C 31号溝状遺構 〔1/60〕	628
第482図	8・9・調整池②区C 10号溝状遺構 〔1/60〕	607	第507図	8・9・調整池②区C 32号溝状遺構 〔1/60〕	628
第483図	8・9・調整池②区C 11号溝状遺構 〔1/60〕	609	第508図	8・9・調整池②区C 33号溝状遺構（1） 〔1/60〕	630
第484図	8・9・調整池②区C 12号溝状遺構 〔1/60〕	609	第509図	8・9・調整池②区C 33号溝状遺構（2） 〔1/60〕	631
第485図	8・9・調整池②区C 13号溝状遺構 〔1/60〕	610	第510図	8・9・調整池②区C 33号溝状遺構出土 遺物 〔1/3〕	631
第486図	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構（1） 〔1/240〕	611	第511図	8・9・調整池②区C 34号溝状遺構 〔1/60〕	632
第487図	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構（2） 〔1/240〕	612	第512図	8・9・調整池②区C 34号溝状遺構出土遺物 〔1/3〕	633
第488図	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構（3） 〔1/60〕	613	第513図	8・9・調整池②区C 1号耕作址 〔1/60〕	634
第489図	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構（4） 〔1/60〕	614	第514図	8・9・調整池②区C 1号井戸址 〔1/60〕	634
第490図	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構出土 遺物 〔1/3〕	615	第515図	8・9・調整池②区C 2号井戸址 〔1/60〕	635
第491図	8・9・調整池②区C 15号溝状遺構 〔1/60〕	616	第516図	8・9・調整池②区C 2号井戸址出土遺物 〔1/3〕	635
第492図	8・9・調整池②区C 16号溝状遺構 〔1/60〕	616	第517図	8・9・調整池②区C 3号井戸址 〔1/60〕	636
第493図	8・9・調整池②区C 17号溝状遺構 〔1/60〕	617	第518図	8・9・調整池②区C 4号井戸址 〔1/60〕	637
第494図	8・9・調整池②区C 17号溝状遺構出土遺物 〔1/3〕	618	第519図	8・9・調整池②区C 5号井戸址 〔1/60〕	637
第495図	8・9・調整池②区C 20号溝状遺構 〔1/60〕	619	第520図	8・9・調整池②区C 5号井戸址出土遺物 〔1/3〕	638
第496図	8・9・調整池②区C 21号溝状遺構 〔1/60〕	620	第521図	8・9・調整池②区C 6号井戸址 〔1/60〕	638
第497図	8・9・調整池②区C 21号溝状遺構出土遺物 〔1/3〕	620	第522図	8・9・調整池②区C 6号井戸址出土遺物 〔1/3〕	639
第498図	8・9・調整池②区C 22号溝状遺構 〔1/60〕	621	第523図	8・9・調整池②区C 7号井戸址 〔1/60〕	640
第499図	8・9・調整池②区C 23号溝状遺構 〔1/60〕	622	第524図	8・9・調整池②区C 7号井戸址出土遺物 〔1/3〕	640
第500図	8・9・調整池②区C 24号溝状遺構 〔1/120・1/60〕	623	第525図	8・9・調整池②区C 8号井戸址 〔1/60〕	640
第501図	8・9・調整池②区C 25号溝状遺構 〔1/120・1/60〕	624	第526図	8・9・調整池②区C 9号井戸址 〔1/60〕	641
			第527図	8・9・調整池②区C 1号硬化面 〔1/120・1/60〕	643
			第528図	8・9・調整池②区C 2・3号硬化面 〔1/60〕	644
			第529図	8・9・調整池②区C 4号硬化面 〔1/60〕	645
			第530図	8・9・調整池②区C 5号硬化面 〔1/60〕	645
			第531図	8・9・調整池②区C 1号地下式坑（1） 〔1/60〕	647
			第532図	8・9・調整池②区C 1号地下式坑（2） 〔1/60〕	648

第533图	8・9・調整池②区C 2号地下式坑 [1/60]	第558图	8・9・調整池②区C 37～40号土坑 [1/60]
649	682
第534图	8・9・調整池②区C 2号地下式坑出土遺物 [1/3]	第559图	8・9・調整池②区C 41号土坑出土遺物 [1/3]
650	683
第535图	8・9・調整池②区C 3号地下式坑 [1/60]	第560图	8・9・調整池②区C 41～44号土坑 [1/60]
651	684
第536图	8・9・調整池②区C 3号地下式坑出土遺物 [1/3]	第561图	8・9・調整池②区C 45～48号土坑 [1/60]
652	686
第537图	8・9・調整池②区C 5号地下式坑 [1/60]	第562图	8・9・調整池②区C 48号土坑出土遺物 [2/3・1/3]
653	687
第538图	8・9・調整池②区C 5号地下式坑出土遺物 [1/3]	第563图	8・9・調整池②区C 49～52号土坑 [1/60]
654	688
第539图	8・9・調整池②区C 7号地下式坑 [1/60]	第564图	8・9・調整池②区C 54～58号土坑 [1/60]
655	690
第540图	8・9・調整池②区C 1～4号土坑 [1/60]	第565图	8・9・調整池②区C 59号土坑出土遺物 [1/3]
656	692
第541图	8・9・調整池②区C 4号土坑出土遺物 [1/3]	第566图	8・9・調整池②区C 60号土坑出土遺物 [1/3]
657	692
第542图	8・9・調整池②区C 6号土坑出土遺物 [1/3]	第567图	8・9・調整池②区C 59～62号土坑 [1/60]
658	693
第543图	8・9・調整池②区C 5～8号土坑 [1/60]	第568图	8・9・調整池②区C 63・65～67号土坑 [1/60]
659	695
第544图	8・9・調整池②区C 9～11号土坑 [1/60]	第569图	8・9・調整池②区C 68・69・71・72号土坑 [1/60]
660	697
第545图	8・9・調整池②区C 11号土坑出土遺物（1） [1/3]	第570图	8・9・調整池②区C 73～77号土坑 [1/60]
662	698
第546图	8・9・調整池②区C 11号土坑出土遺物（2） [1/3]	第571图	8・9・調整池②区C 78～81号土坑 [1/60]
663	701
第547图	8・9・調整池②区C 11号土坑出土遺物（3） [1/3]	第572图	8・9・調整池②区C 82～85号土坑 [1/60]
664	702
第548图	8・9・調整池②区C 11号土坑出土遺物（4） [1/3]	第573图	8・9・調整池②区C 86～90号土坑 [1/60]
665	704
第549图	8・9・調整池②区C 11号土坑出土遺物（5） [1/3]	第574图	8・9・調整池②区C 91～94号土坑 [1/60]
666	706
第550图	8・9・調整池②区C 12～15号土坑 [1/60]	第575图	8・9・調整池②区C 95・96・99～101号 土坑 [1/60]
668	708
第551图	8・9・調整池②区C 15号土坑出土遺物 [1/3]	第576图	8・9・調整池②区C 102・104～106号土坑 [1/60]
670	709
第552图	8・9・調整池②区C 17号土坑出土遺物 [1/3]	第577图	8・9・調整池②区C 105号土坑出土遺物 [2/3]
671	711
第553图	8・9・調整池②区C 16～19号土坑 [1/60]	第578图	8・9・調整池②区C 107～111号土坑 [1/60]
672	712
第554图	8・9・調整池②区C 20～24号土坑 [1/60]	第579图	8・9・調整池②区C 112～115号土坑 [1/60]
674	714
第555图	8・9・調整池②区C 25～28号土坑 [1/60]	第580图	8・9・調整池②区C 116～120号土坑 [1/60]
676	716
第556图	8・9・調整池②区C 29～33号土坑 [1/60]	第581图	8・9・調整池②区C 118号土坑出土遺物 [1/3]
678	718
第557图	8・9・調整池②区C 34～36号土坑 [1/60]	第582图	8・9・調整池②区C 121～124号土坑 [1/60]
680	719

第583図	8・9・調整池②区C125～128号土坑 [1/60]	721	第609図	8・9・調整池②区中世ピット (13) [1/80]	750
第584図	8・9・調整池②区C129～133号土坑 [1/60]	724	第610図	8・9・調整池②区中世ピット (14) [1/80]	751
第585図	8・9・調整池②区C134～138号土坑 [1/60]	725	第611図	8・9・調整池②区中世ピット (15) [1/80]	752
第586図	8・9・調整池②区C140～145号土坑 [1/60]	727	第612図	8・9・調整池②区中世ピット (16) [1/80]	752
第586図	8・9・調整池②区C140号土坑出土遺物 [1/3]	728	第613図	8・9・調整池②区中世ピット出土遺物 (1) [1/3]	781
第588図	8・9・調整池②区C146～149号土坑 [1/60]	729	第614図	8・9・調整池②区中世ピット出土遺物 (2) [1/3・2/3]	782
第589図	8・9・調整池②区C150～153号土坑 [1/60]	731	第615図	8・9・調整池②区中世ピット出土遺物 (3) [1/3・1/6]	783
第590図	8・9・調整池②区C153号土坑出土遺物 [1/3]	733	第616図	8・9・調整池②区C1～4号焼土址 [1/60]	787
第591図	8・9・調整池②区C154号土坑出土遺物 [1/3]	733	第617図	8・9・調整池②区C2号焼土址出土遺物 [1/3]	788
第592図	8・9・調整池②区C154号土坑 [1/60] ...	734	第618図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (1) [1/3]	790
第593図	8・9・調整池②区C155号土坑出土遺物 [2/3]	735	第619図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (2) [1/3]	791
第594図	8・9・調整池②区C155～158号土坑 [1/60]	736	第620図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (3) [1/3]	792
第595図	8・9・調整池②区C1号集石 [1/30] ...	737	第621図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (4) [1/3]	793
第596図	8・9・調整池②区中世ピット全体図 [1/500]	738	第622図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (5) [1/3・2/3]	794
第597図	8・9・調整池②区中世ピット (1) [1/80]	739	第623図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 (6) [1/3・1/6]	795
第598図	8・9・調整池②区中世ピット (2) [1/80]	739	第624図	8・9・調整池②区奈良・平安時代 遺構配置図 [1/500]	803
第599図	8・9・調整池②区中世ピット (3) [1/80]	740	第625図	8・9・調整池②区H1～5号土坑 [1/60]	805
第600図	8・9・調整池②区中世ピット (4) [1/80]	741	第626図	8・9・調整池②区奈良・平安時代ピット 配置図 [1/60]	806
第601図	8・9・調整池②区中世ピット (5) [1/80]	742	第627図	8・9・調整池②区奈良・平安時代遺構外 出土遺物 [1/4]	807
第602図	8・9・調整池②区中世ピット (6) [1/80]	743	第628図	8・9・調整池②弥生時代後期～古墳時代前期 遺構外出土遺物 [1/4]	809
第603図	8・9・調整池②区中世ピット (7) [1/80]	744	第629図	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	811
第604図	8・9・調整池②区中世ピット (8) [1/80]	745	第630図	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土土器 [2/3・1/3]	812
第605図	8・9・調整池②区中世ピット (9) [1/80]	746	第631図	主な岩種一覧.....	820
第606図	8・9・調整池②区中世ピット (10) [1/80]	747	第632図	黒曜石原産地一覧.....	827
第607図	8・9・調整池②区中世ピット (11) [1/80]	748	第633図	黒曜石原産地推定結果 (1)	829
第608図	8・9・調整池②区中世ピット (12) [1/80]	749	第634図	黒曜石原産地推定結果 (2)	830
			第635図	木材 (1)	836
			第636図	木材 (2)	837

第637図	東富岡・太窪遺跡近世遺構分布図 〔1/1, 600〕	838
第638図	東富岡・太窪遺跡中世遺構分布図 〔1/1, 600〕	839
第639図	東富岡・太窪遺跡奈良・平安時代遺構分布図 〔1/1, 600〕	840
第640図	東富岡・太窪遺跡、栗窪・林台遺跡 弥生時代後期～古墳時代前期遺構分布図 〔1/1, 000〕	841
第641図	伊勢原・秦野 B 2 層石器群の分布（上） 〔1/50, 000〕・器種組成（下）〔1/4〕	843
第642図	東富岡・中島遺跡近世遺構分布図〔1/600〕	847

第643図	東富岡・中島遺跡中世遺構分布図〔1/600〕	848
第644図	東富岡・中島遺跡奈良・平安時代遺構分布図 〔1/600〕	849
第645図	東富岡・中島遺跡縄文時代遺構分布図 〔1/600〕	850
第646図	中世出土陶磁器種類〔1/6〕	854
第647図	中世出土かわらけ分類〔1/3〕	855
第648図	8・9・調整池②区 C 11 号土坑 （第544～549図）木製品出土状況〔遺構1/60・ 遺物1/10〕	856
第649図	栗窪・林窪遺跡奈良・平安時代遺構分布図 〔1/1, 000〕	857

挿 表 目 次

（第 2 分冊）

第84表	8・9・調整池②区 K 2 号溝状遺構出土遺物 観察表	452
第85表	8・9・調整池②区 K 3 号溝状遺構出土遺物 観察表	455
第86表	8・9・調整池②区 K 4 号溝状遺構出土遺物 観察表	456
第87表	8・9・調整池②区 K 5 号溝状遺構出土遺物 観察表	458
第88表	8・9・調整池②区 K 8 号溝状遺構出土遺物 観察表	461
第89表	8・9・調整池②区 K 9 号溝状遺構出土遺物 観察表	461
第90表	8・9・調整池②区 K 17 号溝状遺構出土遺物 観察表	469
第91表	8・9・調整池②区 K 18 号溝状遺構出土遺物 観察表	473
第92表	8・9・調整池②区 K 26 号溝状遺構出土遺物 観察表	482
第93表	8・9・調整池②区 K 28 号溝状遺構出土遺物 観察表	484
第94表	8・9・調整池②区 K 2 号硬化面出土遺物 観察表	491
第95表	8・9・調整池②区 K 1 号井戸址出土遺物 観察表	495
第96表	8・9・調整池②区近世ピット計測表	527
第97表	8・9・調整池②区 K 280 号ピット出土遺物 観察表	530
第98表	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物観察表	535
第99表	8・9・調整池②区 C 5 号段切り出土遺物 観察表	548
第100表	8・9・調整池②区 C 1 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	552
第101表	8・9・調整池②区 C 4 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	557

第102表	8・9・調整池②区 C 8 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	563
第103表	8・9・調整池②区 C 14 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	570
第104表	8・9・調整池②区 C 20 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	576
第105表	8・9・調整池②区 C 21 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	579
第106表	8・9・調整池②区 C 24 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	582
第107表	8・9・調整池②区 C 34 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	593
第108表	8・9・調整池②区 C 42 号竪穴状遺構出土 遺物観察表	601
第109表	8・9・調整池②区 C 1 号溝状遺構出土 遺物観察表	603
第110表	8・9・調整池②区 C 14 号溝状遺構出土 遺物観察表	615
第111表	8・9・調整池②区 C 17 号溝状遺構出土 遺物観察表	618
第112表	8・9・調整池②区 C 21 号溝状遺構出土 遺物観察表	621
第113表	8・9・調整池②区 C 33 号溝状遺構出土 遺物観察表	631
第114表	8・9・調整池②区 C 34 号溝状遺構出土 遺物観察表	633
第115表	8・9・調整池②区 C 2 号井戸址出土遺物 観察表	635
第116表	8・9・調整池②区 C 5 号井戸址出土遺物 観察表	638
第117表	8・9・調整池②区 C 6 号井戸址出土遺物 観察表	639
第118表	8・9・調整池②区 C 7 号井戸址出土遺物 観察表	640
第119表	8・9・調整池②区 C 2 号地下式坑出土遺物	

	観察表	650
第120表	8・9・調整池②区C3号地下式坑出土遺物	
	観察表	652
第121表	8・9・調整池②区C5号地下式坑出土遺物	
	観察表	654
第122表	8・9・調整池②区C4号土坑出土遺物	
	観察表	657
第123表	8・9・調整池②区C6号土坑出土遺物	
	観察表	658
第124表	8・9・調整池②区C11号土坑出土遺物	
	観察表	666
第125表	8・9・調整池②区C15号土坑出土遺物	
	観察表	671
第126表	8・9・調整池②区C17号土坑出土遺物	
	観察表	671
第127表	8・9・調整池②区C41号土坑出土遺物	
	観察表	683
第128表	8・9・調整池②区C48号土坑出土遺物	
	観察表	687
第129表	8・9・調整池②区C59号土坑出土遺物	
	観察表	692
第130表	8・9・調整池②区C60号土坑出土遺物	
	観察表	692
第131表	8・9・調整池②区C105号土坑出土遺物	
	観察表	711
第132表	8・9・調整池②区C118号土坑出土遺物	
	観察表	718
第133表	8・9・調整池②区C140号土坑出土遺物	
	観察表	728
第134表	8・9・調整池②区C153号土坑出土遺物	
	観察表	733
第135表	8・9・調整池②区C154号土坑出土遺物	
	観察表	734
第136表	8・9・調整池②区C155号土坑出土遺物	

	観察表	735
第137表	8・9・調整池②区中世ビット計測表	753
第138表	8・9・調整池②区中世ビット出土遺物	
	観察表	784
第139表	8・9・調整池②区C2号焼土址出土遺物	
	観察表	788
第140表	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物	
	観察表	796
第141表	8・9・調整池②区奈良・平安時代ビット	
	計測表	807
第142表	8・9・調整池②区奈良・平安時代遺構外	
	出土遺物観察表	808
第143表	8・9・調整池②弥生時代後期～古墳時代前期	
	遺構外出土遺物観察表	809
第144表	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土石器	
	属性表	813
第145表	東富岡・太窪遺跡器種・製品毎構成岩石種表	821
第146表	東富岡・中島遺跡器種・製品毎構成岩石種表	821
第147表	栗窪・林窪遺跡器種・製品毎構成岩石種表	822
第148表	栗窪・林遺跡器種・製品毎構成岩石種表	823
第149表	栗窪・林台遺跡器種・製品毎構成岩石種表	824
第150表	栗窪・四石田遺跡器種・製品毎構成岩石種表	824
第151表	黒曜石原産地試料一覧	826
第152表	スペクトル強度と判定指標値	831
第153表	黒曜石判定結果	831
第154表	樹種同定結果	833
第155表	伊勢原・秦野B2層石器群遺物集中の内容	844

第3節 8区・9区・調整池②区

1. 近世

近世面は、基本土層Ⅲ層上面を遺構確認面として調査を行い、調査区全体から遺構が確認されている。土坑や溝状遺構等の生活に関係する遺構が検出されている。検出された遺構は、掘立柱建物1棟、段切り2ヶ所、竪穴状遺構2基、溝状遺構29条、硬化面3ヶ所、耕作址2ヶ所、井戸址1基、土坑51基、杭列2ヶ所、ピット226基である。近世の遺構配置は第333・399図に掲載している。遺物は調査区全体より、18世紀以降を中心とした肥前・瀬戸美濃・京都信楽・常滑・堺等の陶磁器、土製品、銅製品、鉄製品、銭貨、石製品、木製品が総計399点(42,005.7g)出土している。以下、遺構と出土遺物について述べる。

(1) 掘立柱建物

K1号掘立柱建物(第334～336図)

U9・10、V9・10グリッドに位置する。遺構確認面の標高は、23.4～24.1m前後である。P1・P7・P8がK11号溝状遺構に、P5がK4号土坑に、P11がK10号溝状遺構とK3号土坑に、P12がK10号溝状遺構に切っている。梁行2間×桁行2間(P1～P9)で、西側に庇(P10～P12)の12穴の柱穴で構成される総柱の建物跡である。建物の長軸方位はN-41°-Eを示す。梁行の柱間の距離は、A-A'で4.76m(P12・P1間1.10m、P1・P2間2.00m、P2・P3間1.66m)、B-B'で5.03m(P11・P8間1.14m、P4・P9間1.81m、P9・P8間2.08m)、C-C'で5.06m(P10・P7間1.08m、P7・P5間3.98m)をそれぞれ測る。P6はラインからやや外れるが本掘立柱建物址を構成する柱穴とした。P5・P6間2.02m、P6・P7間1.96mをそれぞれ測る。桁行の柱間の距離は、E-E'で4.15m(P7・P8間2.09m、P8・P1間2.06m)、F-F'で2.20m(P9・P2間2.20m)、H-H'で4.34m(P5・P4間2.00m、P4・P3間2.34m)をそれぞれ測る。庇としたI-I'で4.10m(P10・P11間2.10m、P11・P12間2.00m)を測る。柱穴の平面形は隅丸方形や不整形で、規模は長径0.17～0.46m、短径0.14～0.37m、深さ0.08～0.36mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土・暗茶褐色土・褐色土・明茶褐色土・明褐色土の18層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。P3第1層とP5第1層は炭化物粒を微量含む。

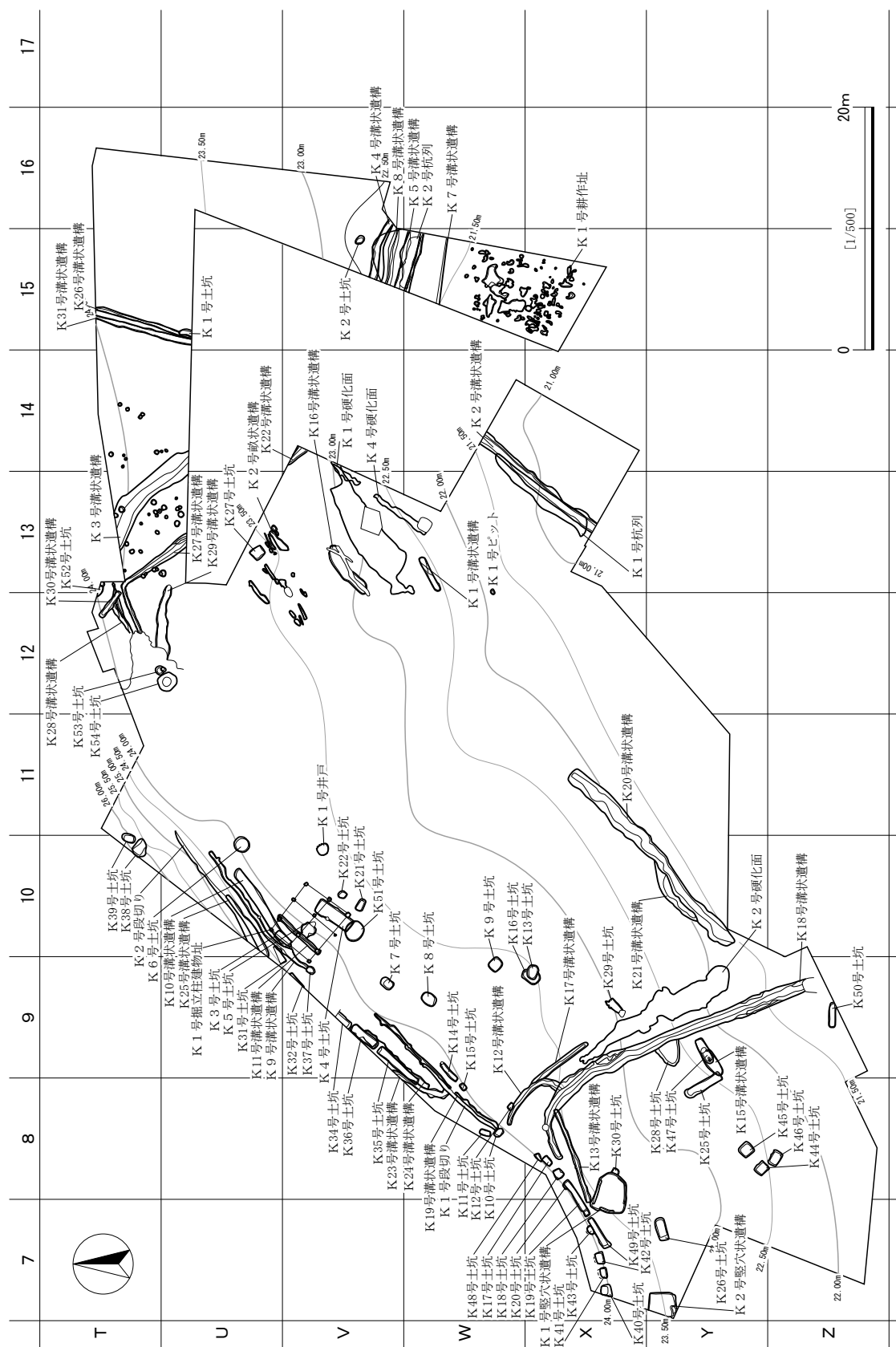
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

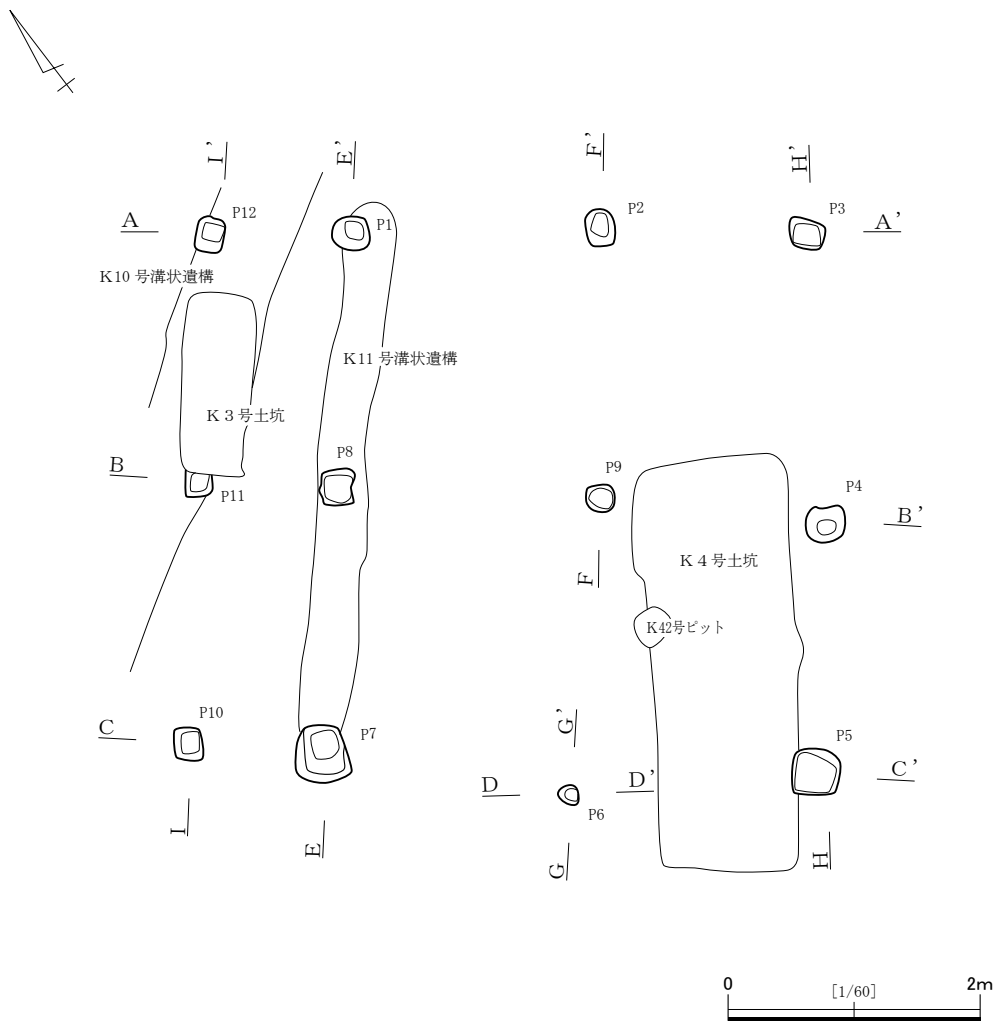
(2) 竪穴状遺構

K1号竪穴状遺構(第337図、図版78-2)

X7・8グリッドで検出された。確認面の標高は23.2～23.5mを測る。K30号土坑を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-78°-Wで、長軸3.32m、短軸2.88mを測る。確認面からの深さは0.13～0.31mを測る。竪穴の北壁・南壁・西壁の幅0.14～0.31m・深さ0.04～0.16mの周溝が確認されている。南西隅に径0.13～0.17m、深さ0.15m程度のピ



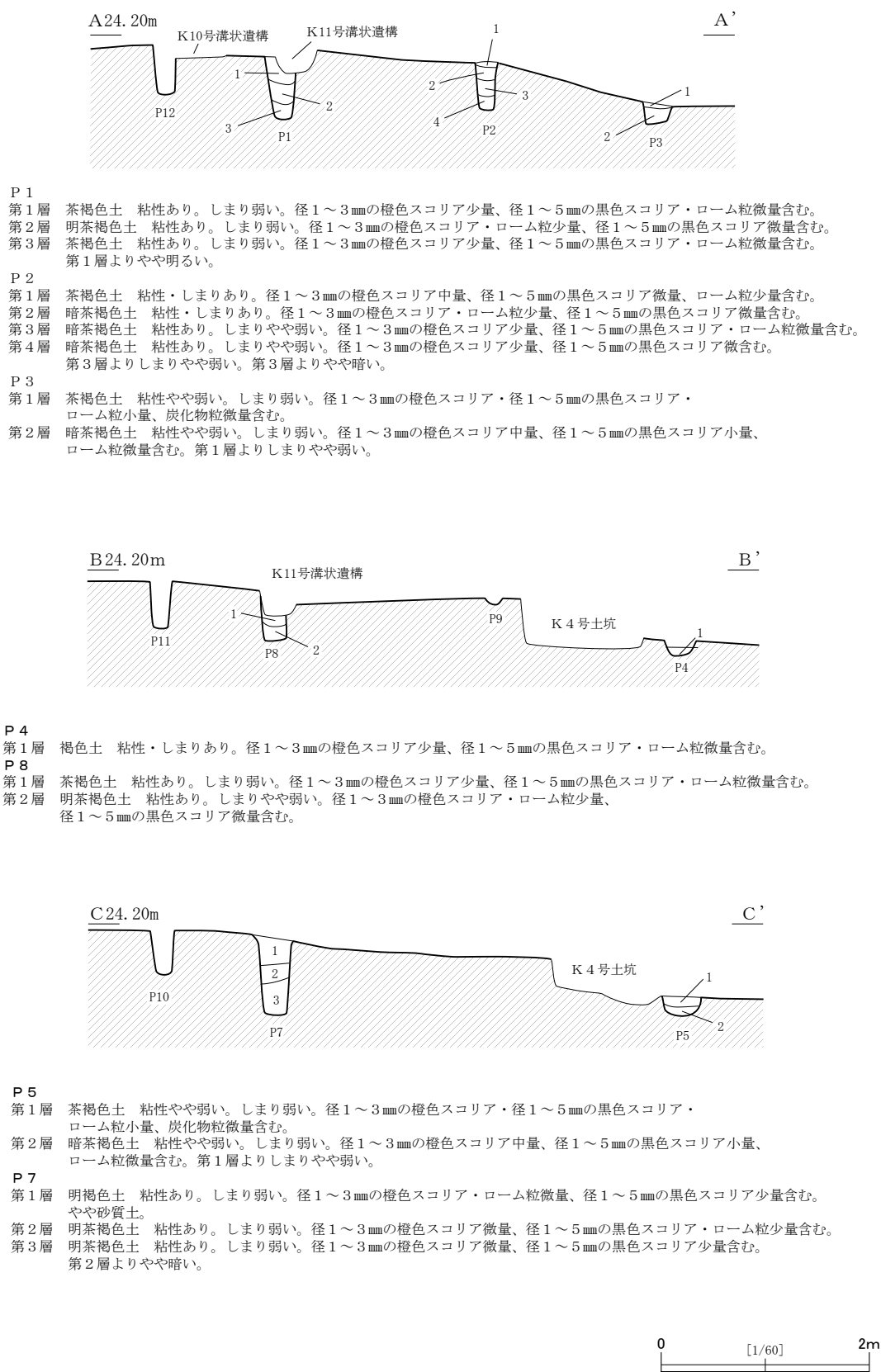
第333図 8区・9区・調整池②区近世遺構配置図[1/500]



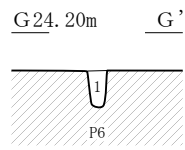
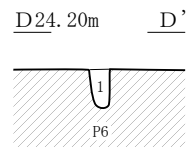
K 1 号掘立柱建物址ピット計測表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)
P 1	0.31	0.26	0.31	P 7	0.46	0.37	0.36
P 2	0.31	0.24	0.24	P 8	0.30	0.28	0.24
P 3	0.33	0.23	(0.12)	P 9	0.22	0.20	0.04
P 4	0.31	0.26	(0.08)	P 10	0.24	0.23	0.21
P 5	0.38	0.34	0.08	P 11	(0.27)	0.22	0.24
P 6	0.17	0.14	0.16	P 12	0.30	0.23	0.24

第334図 8区・9区・調整池②区K 1号掘立柱建物址(1) [1/60]

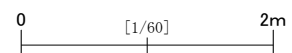
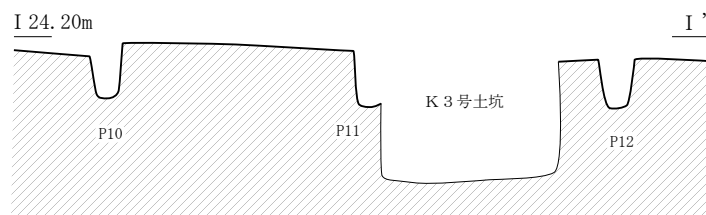
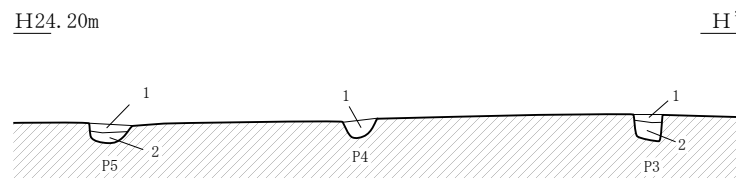
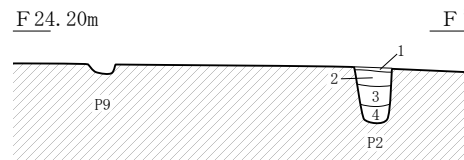
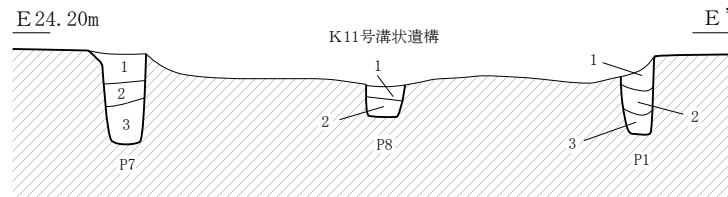


第335図 8区・9区・調整池②区K1号掘立柱建物址(2) [1/60]

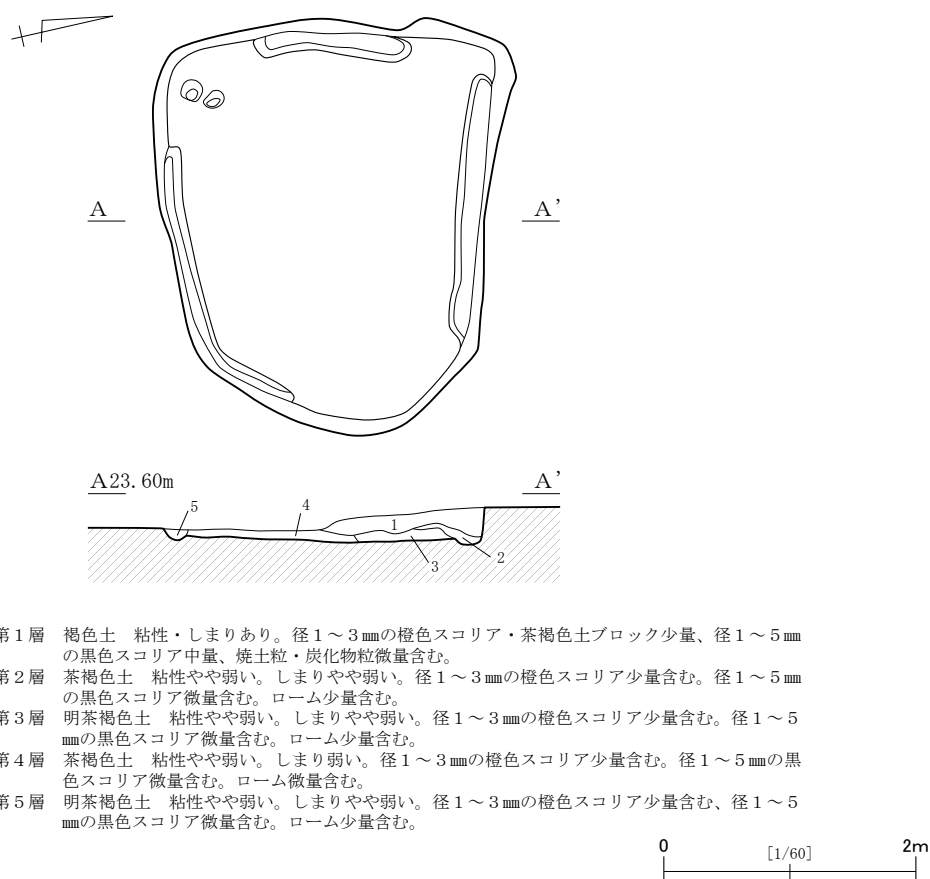


P 6

第1層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒少量、
径1～5mmの黒色スコリア微量含む。



第336図 8区・9区・調整池②区K1号掘立柱建物址(3) [1/60]



第337図 8区・9区・調整池②区K1号堅穴状遺構 [1/60]

ット2基が確認されている。

覆土は褐色土・茶褐色土・明茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には茶褐色土のブロックを少量、焼土粒と炭化物粒を微量含む。

遺物は、肥前の磁器碗1点(1.5g)、瀬戸・美濃の陶器皿5点(2.8g)・器種不明陶器1点(0.5g)の計7点(4.8g)が出土している。小破片のため、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から18世紀後半以降と考えられる。

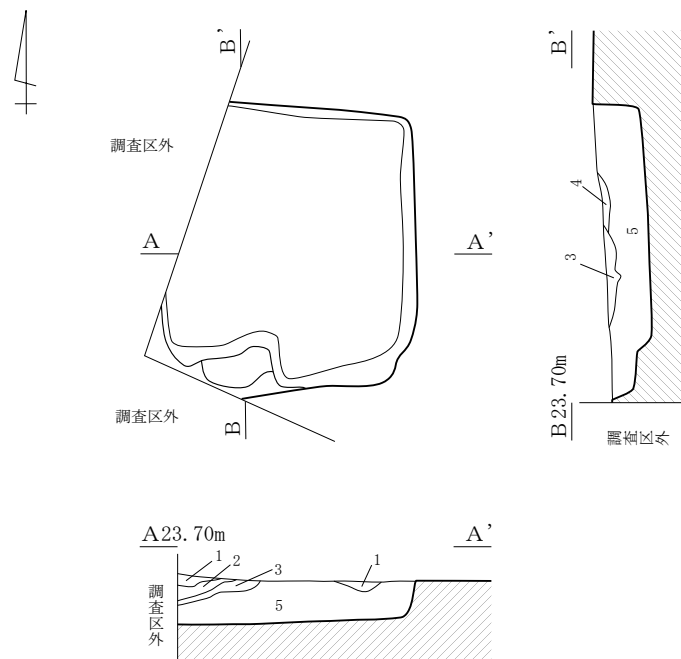
K2号堅穴状遺構(第338図、図版79-1)

Y7グリッドで検出された。確認面の標高は23.3～23.5mを測る。西側が調査区外に延びている。隅丸方形のプランを考えると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸2.37m、残存短軸2.04mを測る。確認面からの深さは0.18～0.41mを測る。

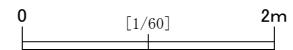
覆土は暗茶褐色土・明褐色土・暗褐色土・褐色土・明茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第4層に暗褐色土のブロックを微量含む。南西隅に幅0.57m、高さ0.05mの段差が確認出来る。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀後半以降と考えられる。



- | | |
|-----|---|
| 第1層 | 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。 |
| 第2層 | 明褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。 |
| 第3層 | 暗褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。 |
| 第4層 | 褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア・暗褐色土ブロック・ローム粒微量含む。 |
| 第5層 | 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・暗褐色土ブロック・ローム粒少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。 |



第338図 8区・9区・調整池②区K2号竪穴状遺構 [1/60]

(3) 溝状遺構・杭列・段切り

K 1 号溝状遺構 (第 339 図)

W12・13グリッドで検出された。確認面の標高は22.6～22.4mを測る。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは3.15m、幅は0.45～0.60mで、確認面からの深さは0.04～0.14mを測る。北東方向と南西方向共に上面が削平され掘り込みが消えている。

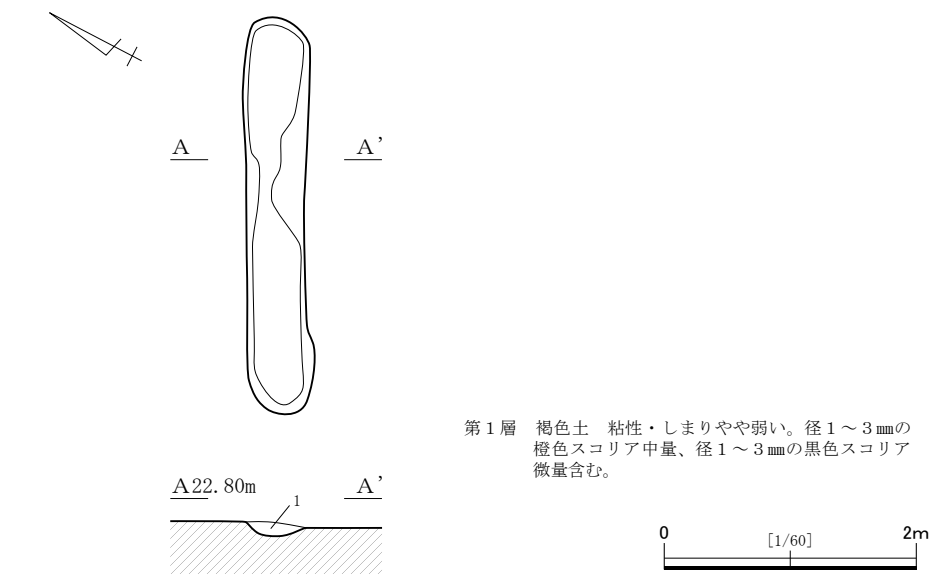
覆土は褐色土の単層で、橙色スコリアを中量、黒色スコリア微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀後半以降と考えられる。

K 2号溝状遺構・K 1号杭列(第340・341図、第84表、図版79-2・166)

W13・14、X13・14グリッドで検出された。確認面の標高は20.7～21.2mを測る。延伸方向は北東方向から南西方向で、北東側と南西側は調査区外に延びている。検出部分の長さは11.99m、幅は0.66～1.34mで、確認面からの深さは0.14～0.46mを測る。

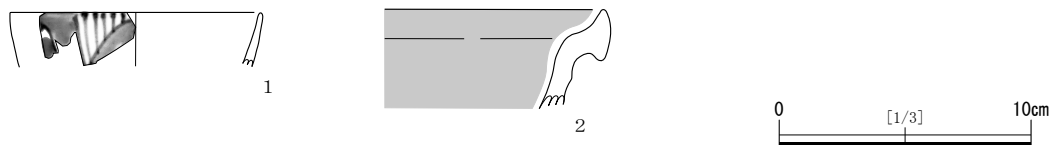


第339図 8区・9区・調整池②区K1号溝状遺構 [1/60]

覆土は褐色土の3層で、橙色スコリアと黒色スコリア少量含む。第3層には灰褐色土ブロックを微量含む。溝の西側で木製の縦杭が28本確認されており、K1号杭列とした。杭は径2.1～12.3cm、長さ21.8～0.60cm程度で、北東方向から南西方向に二列が確認されている。杭列は溝の護岸施設として使用されたと考えられるが、縦杭以外のものは確認されていない。

遺物は、肥前の磁器碗1点(4.6g)・皿2点(6.1g)・小杯2点(5.4g)、瀬戸・美濃の磁器碗1点(1.2g)、瀬戸・美濃の陶器碗1点(5.2g)・鉢1点(7.8g)・片口鉢1点(3.9g)・瓶類1点(2.9g)・播鉢1点(43.2g)・器種不明陶器1点(6.8g)の12点(87.1g)、木製の縦杭27点、種子1点の合計39点が出土している。図化したのは、以下の2点である。

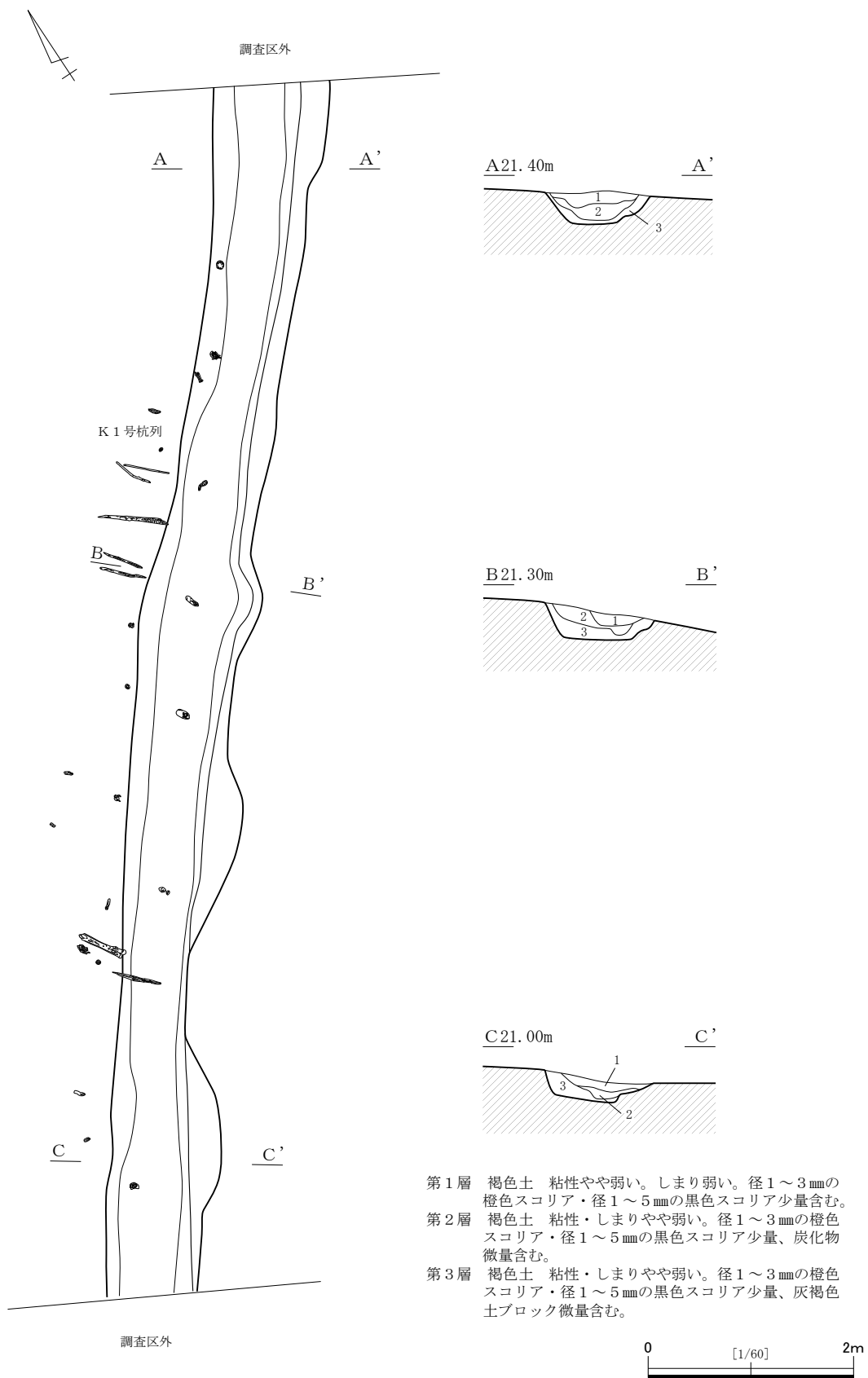
第340図1は肥前の磁器染付丸形碗である。素地は灰白色で、透明釉で外面に呉須で草花文が描かれている。18世紀の製品と考えられる。2は瀬戸・美濃の陶器鉄釉播鉢の口縁部である。胎土は浅黄橙色で、



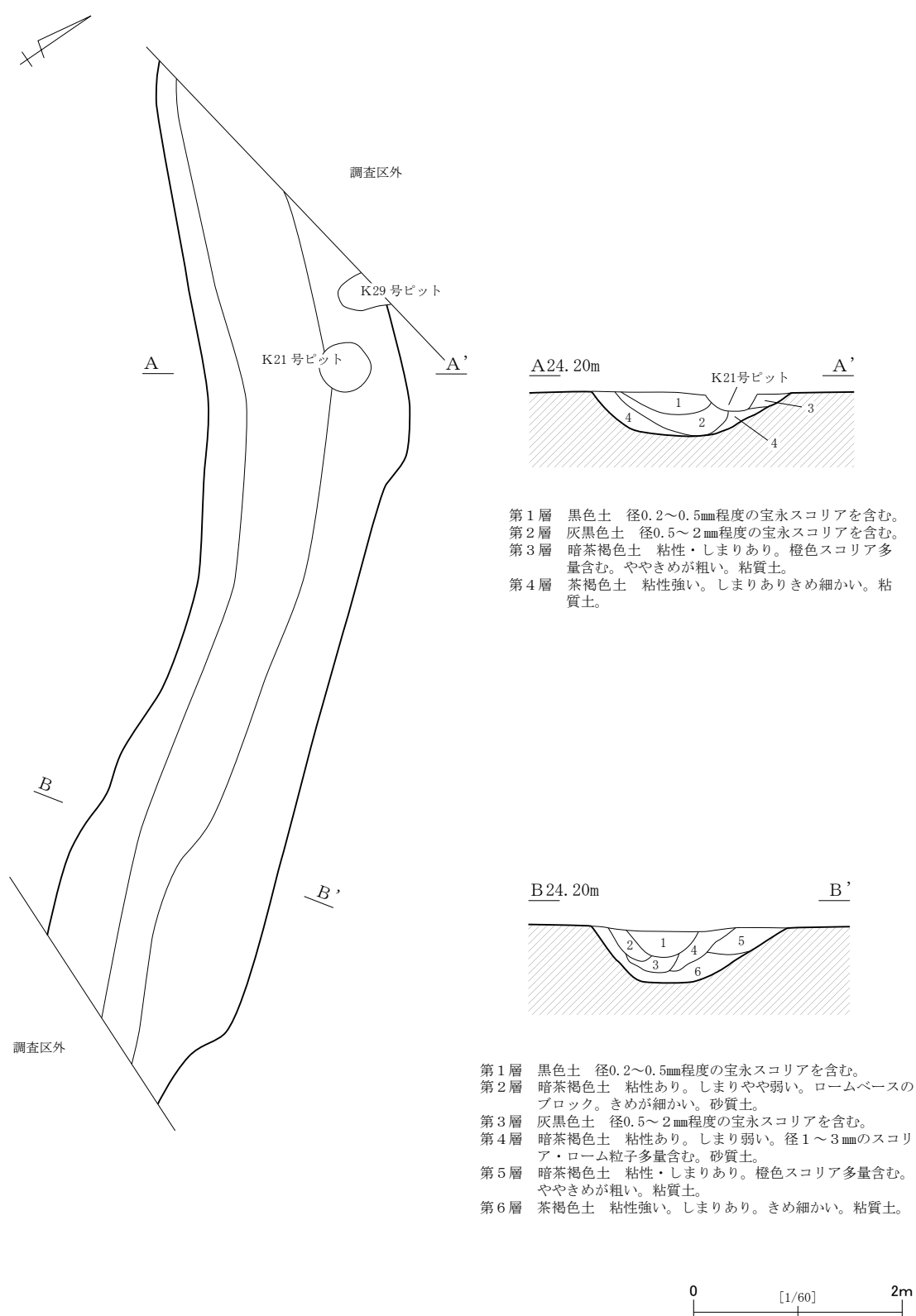
第340図 8区・9区・調整池②区K2号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第84表 8区・9区・調整池②区K2号溝状遺構出土遺物観察表 [第340図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	染付 丸形碗	磁器	[10.3]	—	(2.1)	4.6	口縁部 1/8	肥前	18世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 堅 緻 釉薬 呉須に透明釉 文様 草花文
2	鉄釉 播鉢	陶器	—	—	(3.9)	43.2	口縁部 破片	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 浅黄橙色、やや粗、黒 色粒子を含む 釉薬 にぶい 赤褐色の鉄釉 備考 播目部 分は確認できず



第341図 8区・9区・調整池②区K2号溝状遺構・K1号杭列 [1/60]



第342図 8区・9区・調整池②区K3号溝状遺構 [1/60]

釉薬はにぶい赤褐色の鉄釉が両面に施されている。 播目部分は確認できない。17世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K 3号溝状遺構（第342・343図、第85表、図版80－1・166）

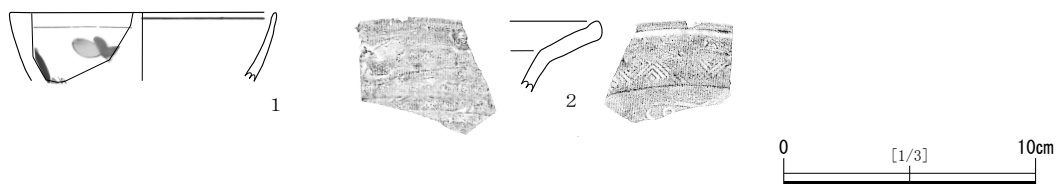
T 13・14、U 13・14グリッドで検出された。確認面の標高は23.8～24.0 mを測る。K 21・29号ピットに切られている。延伸方向は北西方向から南東方向で、検出部分の長さは9.60 m、幅は1.71～1.94 mで、確認面からの深さは0.33～0.51 mを測る。

覆土は黒色土・灰黒色土・暗茶褐色土・茶褐色土が北側で4層、南側で6層が確認でき、橙色スコリア・ローム粒を含む。覆土上層には宝永スコリアの再堆積が確認できる。

遺物は、肥前の磁器皿1点(3.1 g)・鉢2点(28.0 g)、瀬戸・美濃の磁器皿1点(7.7 g)、鉢1点(20.7 g)の計5点(59.5 g)が出土している。図化したのは、以下の2点である。

第343図1は瀬戸・美濃の磁器色絵碗の口縁部である。素地は灰白色で、透明釉に口唇部朱色の縁取り、体部外面に朱色と緑色で草花文、朱色の圏線が描かれている。焼継痕が一部残っている。19世紀中頃～後半の製品と考えられる。2は肥前・唐津の陶器三島手鉢の口縁部である。胎土は褐灰色で、鉄釉に白泥で口縁部内面に象眼が施されている。17世紀後半～18世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



第343図 8区・9区・調整池②区K 3号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第85表 8区・9区・調整池②区K 3号溝状遺構出土遺物観察表 [第343図]

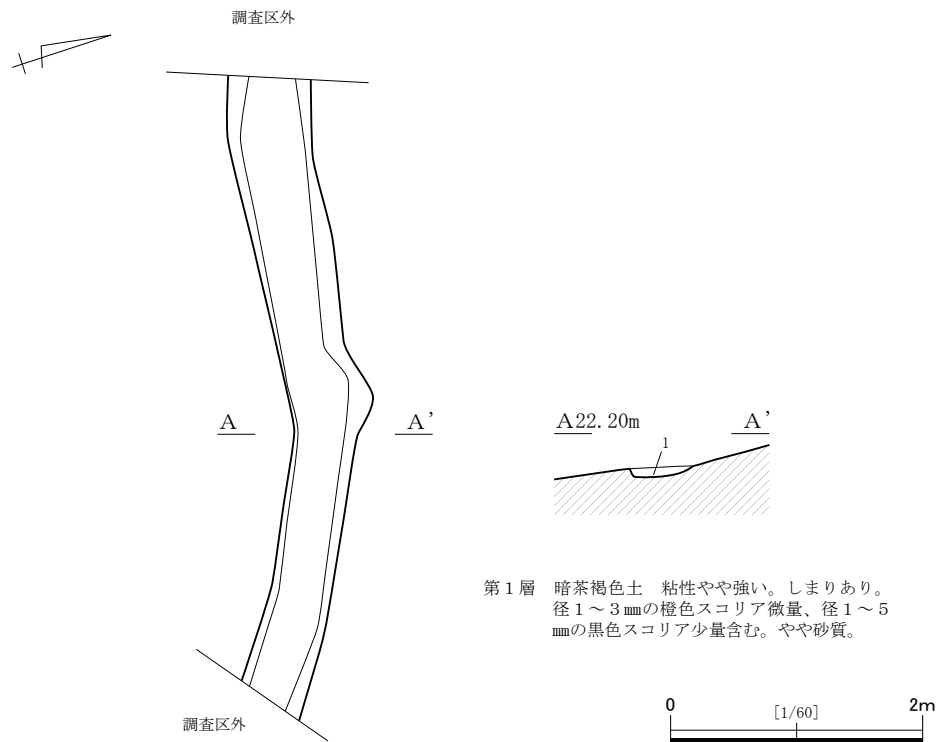
No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	色絵碗	磁器	[10.5]	—	(2.7)	7.7	口縁部 1/6	瀬戸・ 美濃	19世紀 中頃～ 後半	素地 灰白色、緻密 焼成 堅 緻 釉薬 透明釉 文様 口唇 部朱色の縁取り、体部外面 朱色・緑色で草花文・朱色 の圏線 備考 焼継痕一部残
2	三島手鉢	陶器	最大径 28.4	—	(2.8)	21.7	口縁部 破片	肥前・ 唐津	17世紀 後半～ 18世紀	胎土 褐灰色、密 焼成 良好 釉薬 鉄釉・白泥 備考 口縁 部内面象眼

K 4号溝状遺構（第344・345図、第86表、図版166）

V 15・16グリッドで検出された。確認面の標高は21.8～21.9 mを測る。延伸方向は南北方向で、東側と西側は調査区外に延びている。検出部分の長さは5.18 m、幅は0.53～0.72 mで、確認面からの深さは0.04～0.07 mを測る。全体がくの字状に彎曲している。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリアを微量、黒色スコリアを少量含む。

遺物は、肥前の磁器碗1点(2.2 g)、京都・信楽の陶器碗1点(21.0 g) 産地不明の陶器碗3点

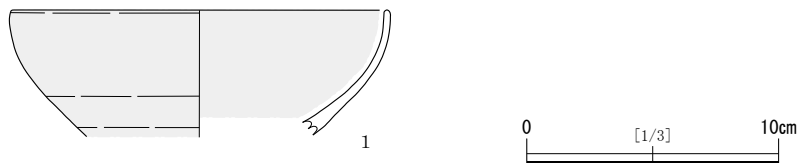


第344図 8区・9区・調整池②区K4号溝状遺構 [1/60]

(9.3 g) の計 5 点 (32.5 g) が出土している。図化したのは、以下の 1 点である。

第345図1は京都・信楽の陶器灰釉碗である。胎土はにぶい橙色で、釉薬はオリーブ黄色灰釉が施されている。表面に細かい貫入が確認できる。18世紀以降の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



第345図 8区・9区・調整池②区K4号溝状遺構出土遺物 [1/3]

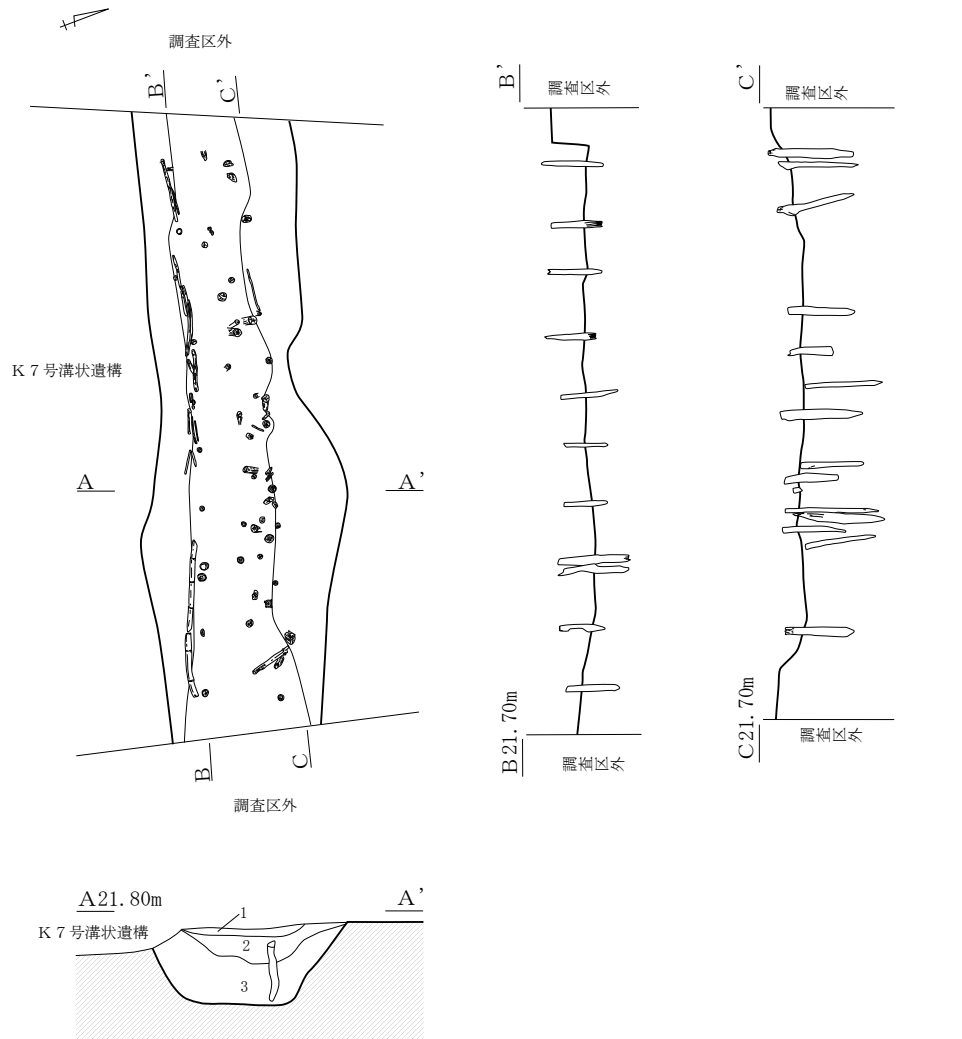
第86表 8区・9区・調整池②区K4号溝状遺構出土遺物観察表 [第345図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	灰釉碗	陶器	[14.9]	—	(5.0)	21.0	口縁部～体部1/6	京都・信楽	18世紀以降	胎土 にぶい橙色、密 焼成良好 釉薬 オリーブ黄色灰釉 備考 表面に細かい貫入

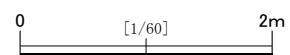
K 5号溝状遺構・K 2号杭列（第346・347図、第87表、図版80－2・166・168－1）

V 15グリッドで検出された。確認面の標高は21.3～21.5mを測る。延伸方向は東西方向で、東側と西側は調査区外に延びている。南側をK 7号溝状遺構に切られている。検出部分の長さは5.04m、幅は1.12～1.15mで、確認面からの深さは0.25～0.60mを測る。溝の東側と西側で木製の縦杭が67本確認されており、K 2号杭列とした。杭は径3.3～6.6cm、長さ23.5～75.0cm程度で、北東方向から南西方向に三列に確認されている。杭列は溝の護岸施設として使用されたと考えられる。

遺物は縦杭以外陶磁器・土器類は確認されていない。



- 第1層 暗茶褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア微量、
径1～5mmの黒色スコリア・暗灰褐色土ブロック少量含む。やや砂質。
第2層 暗灰褐色土 粘性・しまりあり。径1～5mmの黒色スコリア・暗茶褐色土ブ
ロック少量含む。やや砂質。
第3層 暗灰褐色土 粘性やや強い。しまりあり。



第346図 8区・9区・調整池②区K 5号溝状遺構・K 2号杭列 [1/60]

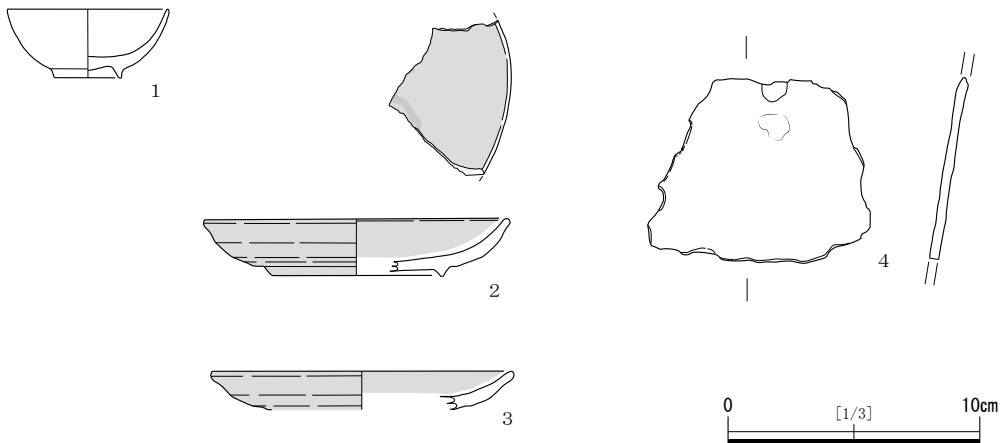
覆土は、暗茶褐色土・暗灰褐色土の3層で構成され、橙色スコリアと黒色スコリアを含む。第1層には暗灰褐色土ブロック、第2層には暗茶褐色土ブロックを少量含む。

遺物は、肥前・伊万里の磁器の碗1点(10.5g)・小杯1点(20.1g)、陶器の碗2点(4.1g)、瀬戸・美濃の陶器の皿3点(38.7g)、鉄製品の鍋1点(86.8g)、石製品の硯1点(9.1g)の計9点(169.3g)、木製の棒状製品4点・杭67点・用途不明の木製品15点の合計95点が出土している。図化したのは、以下の4点である。

第347図1は肥前・伊万里の磁器小杯である。素地は灰白色で、透明釉が施されている。17世紀の製品と考えられる。2・3は瀬戸・美濃の陶器長石釉皿である。胎土は1は褐灰色で、2は黄灰色で、釉薬は褐灰色の長石釉が施されている。見込みには鉄絵が施されている。17世紀の製品と考えられる。

第347図4は鉄鍋の体部下半～底部際の破片である。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から17世紀以降と考えられる。



第347図 8区・9区・調整池②区K5号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第87表 8区・9区・調整池②区K5号溝状遺構出土遺物観察表 [第347図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	小杯	磁器	[6.4]	[2.6]	2.7	20.2	口縁部 1/8・ 底部3/4・ 高台部1/3	肥前・ 伊万里	17世紀	素地 灰白色、密 焼成 良好 釉薬 透明釉 備考 染付確認 できず
2	長石釉皿	陶器	[12.0]	[6.6]	2.3	24.0	口縁部～ 体部1/5・ 底部1/4	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 褐灰色、密 焼成 良好 釉薬 褐灰色長石釉 備考 見 込みに鉄絵
3	長石釉皿	陶器	[11.9]	—	(1.5)	11.7	口縁部～ 体部1/8	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 黄灰色、密 焼成 良好 釉薬 褐灰色長石釉 備考 見 込みに鉄絵
No.	器種	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
4	鍋	鉄	7.3	8.7	0.4	86.8	残存度 体部下半～底部際破片			

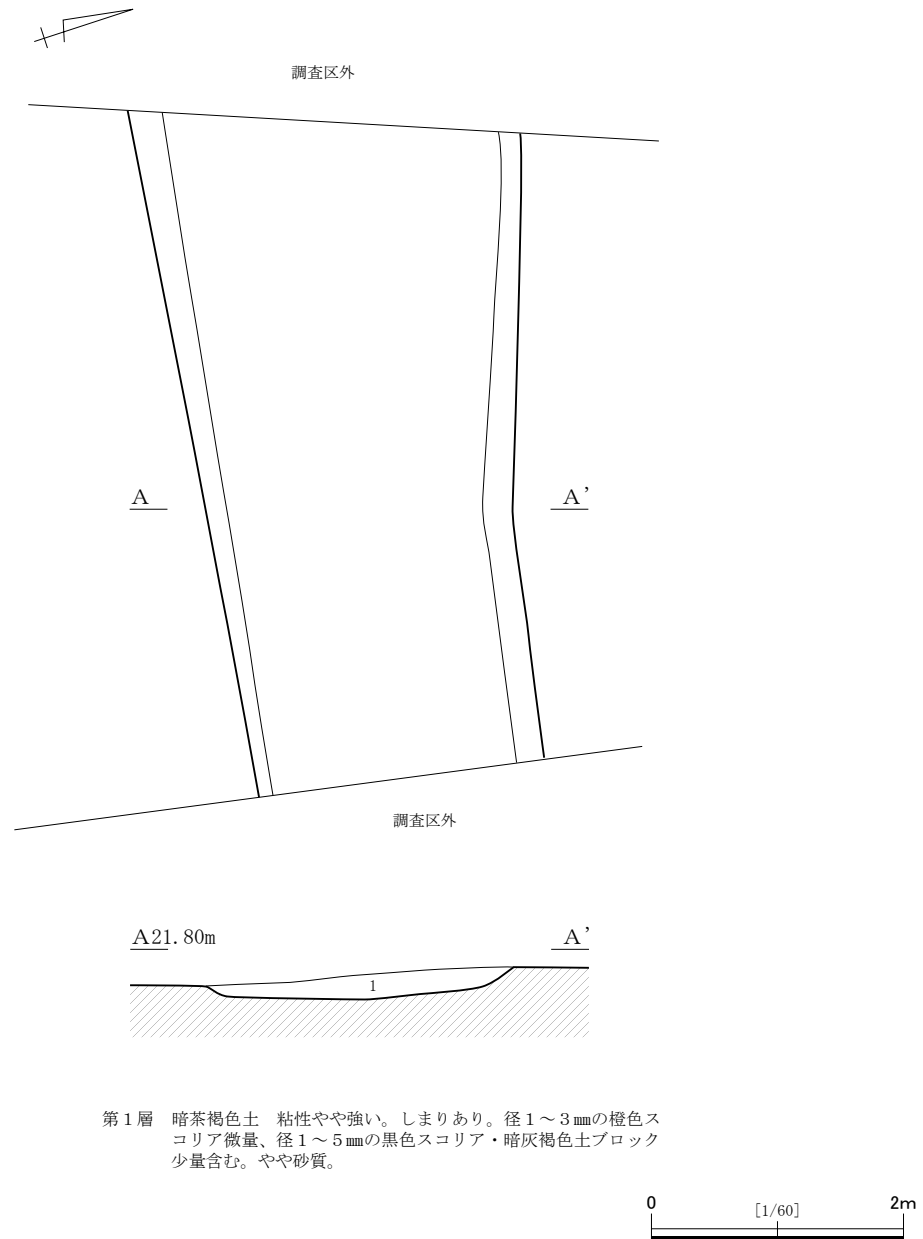
K 7号溝状遺構 (第348図)

W15グリッドで検出された。確認面の標高は21.4mを測る。延伸方向は東西方向で、東側と西側は調査区外に延びている。K 5号溝状遺構にを切っている。検出部分の長さは5.68m、幅は2.36～3.05mで、確認面からの深さは0.08～0.20mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリアを微量、黒色スコリアを少量含み、暗灰褐色土をブロックで少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



第1層 暗茶褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア・暗灰褐色土ブロック少量含む。やや砂質。

第348図 8区・9区・調整池②区K 7号溝状遺構 [1/60]

K 8 号溝状遺構（第349・350図、第88表、図版81－1・166）

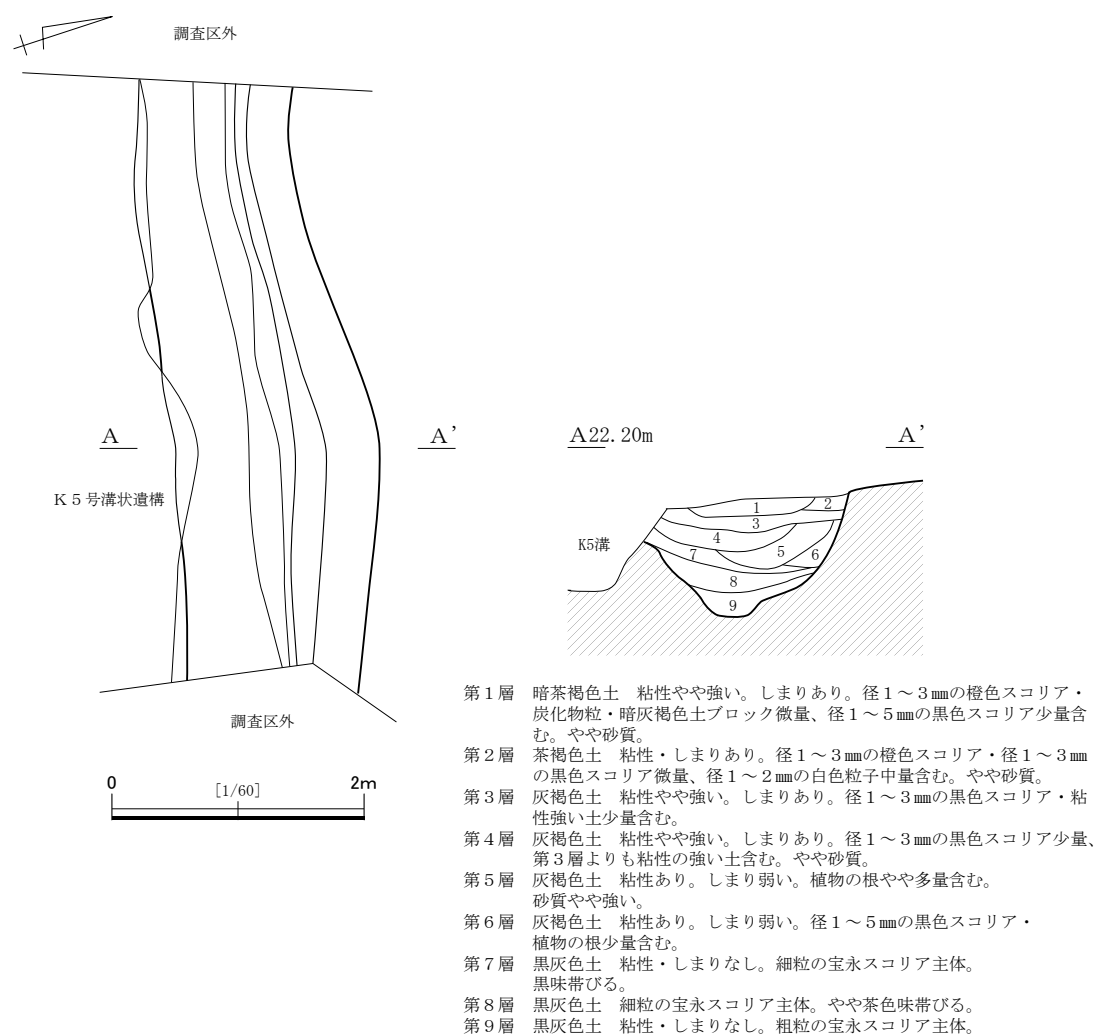
V・W15グリッドで検出された。確認面の標高は21.5～21.8mを測る。延伸方向は東西方向で、東側と西側は調査区外に延びている。南側をK5号溝状遺構に切られている。検出部分の長さは5.04m、幅は1.12～1.62mで、確認面からの深さは0.71～0.98mを測る。

覆土は暗茶褐色土・茶褐色土・灰褐色土・黒灰色土の9層で構成される。橙色スコリアと黒色スコリアを含み、第1層には炭化物粒と暗灰褐色土をブロックで含む。第7～9層は宝永スコリアが主体の層である。

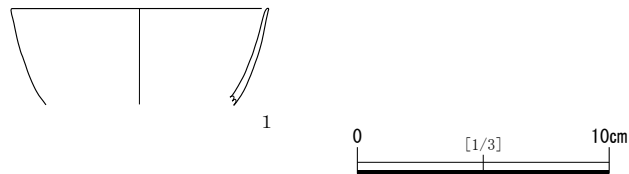
遺物は、肥前の磁器碗5点(27.5g)・徳利1点(2.6g)、瀬戸・美濃の陶器挿鉢2点(59.5g)、産地不明の陶器碗1点(20.3g)、骨片1点の計10点(109.9g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第350図1は肥前の磁器丸形碗の口縁部である。素地は灰白色で、透明釉が施されて。染付は確認できない。18世紀以降の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



第349図 8区・9区・調整池②区K8号溝状遺構 [1/60]



第350図 8区・9区・調整池②区K 8号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第88表 8区・9区・調整池②区K 8号溝状遺構出土遺物観察表 [第350図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	丸形碗	磁器	[10.2]	—	(3.8)	10.3	口縁部～ 体部1/4	肥前	18世紀 以降	素地 灰白色、密 焼成 良好 釉薬 透明釉 備考 染付確認 できず

K 9号溝状遺構 (第351・352図、第89表、図版81－2・166)

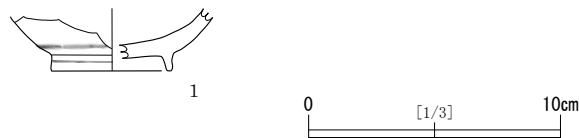
U 9・10、V 9・10グリッドで検出された。確認面の標高は24.0～24.2 mを測る。延伸方向は南西方向から北東方向で、K 37号土坑に切られている。検出部分の長さは12.50 m、幅は0.30～0.74 mで、確認面からの深さは0.08～0.18 mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリアと黒色スコリアを含み、ローム粒を少量含む。

遺物は肥前の磁器の碗1点(21.2 g)・皿1点(8.7 g)、土器1点(9.8 g)の計3点(39.7 g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第351図1は肥前の磁器染付丸形碗の底部である。素地は灰白色で、高台際と高台に一重圈線が描かれている。18世紀以降の製品と考えられる。

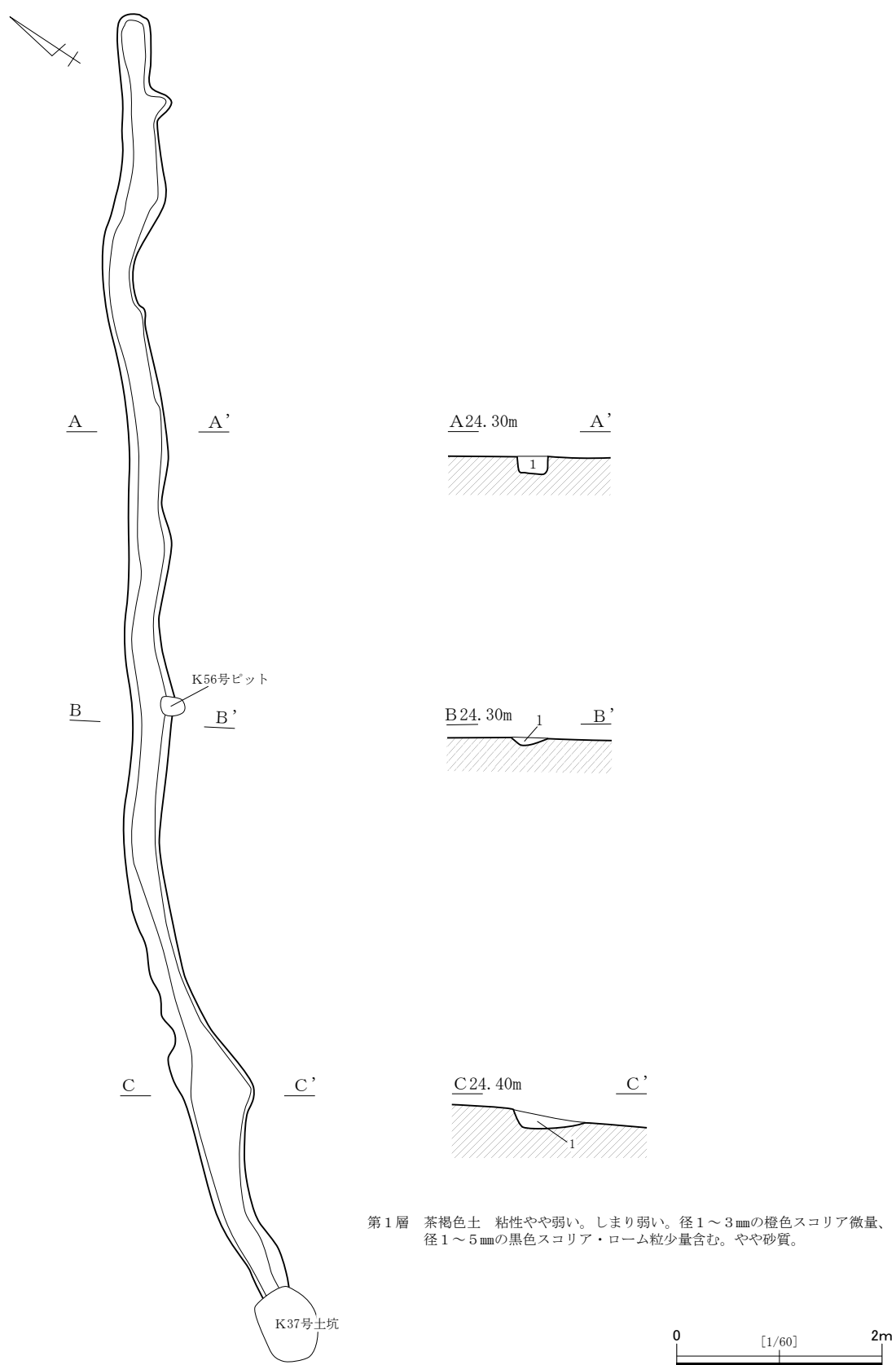
遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



第351図 8区・9区・調整池②区K 9号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第89表 8区・9区・調整池②区K 9号溝状遺構出土遺物観察表 [第351図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	染付 丸形碗	磁器	—	[4.6]	(2.5)	21.2	底部1/4	肥前	18世紀 以降	素地 灰白色、緻密 焼成 良 好 釉薬 呉須・透明釉 文様 高台際一重圈線・高台一重 圈線



第352図 8区・9区・調整池②区K9号溝状遺構 [1/60]

K 10号溝状遺構（第353図、図版81－2）

U 10、V 9・10グリッドで検出された。確認面の標高は24.0～24.3mを測る。延伸方向は南西方向から北東方向で、K 9号溝状遺構とK 3号土坑に切られている。検出部分の長さは11.36m、幅は0.72～0.78mで、確認面からの深さは0.10～0.21mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成される。橙色スコリアと黒色スコリアを含み、ローム粒を少量含む。全体にやや砂質である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K 11号溝状遺構（第354図、図版81－2）

U・V 10グリッドで検出された。確認面の標高は24.0mを測る。延伸方向は南西方向から北東方向で、K 1号掘立柱建物址P 7に切られている。検出部分の長さは4.22m、幅は0.36～0.40mで、確認面からの深さは0.13～0.24mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリアと黒色スコリアを含み、炭化物粒・ローム粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K 12号溝状遺構（第355図、図版78－1）

W・X 8グリッドで検出された。確認面の標高は23.4～23.9mを測る。延伸方向は北西方向から南方向で弧状に確認された。南側をK 18号溝状遺構に切られている。検出部分の長さは6.21m、幅は0.34～0.74mで、確認面からの深さは0.18～0.41mを測る。

覆土は茶褐色土・明褐色土・暗茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

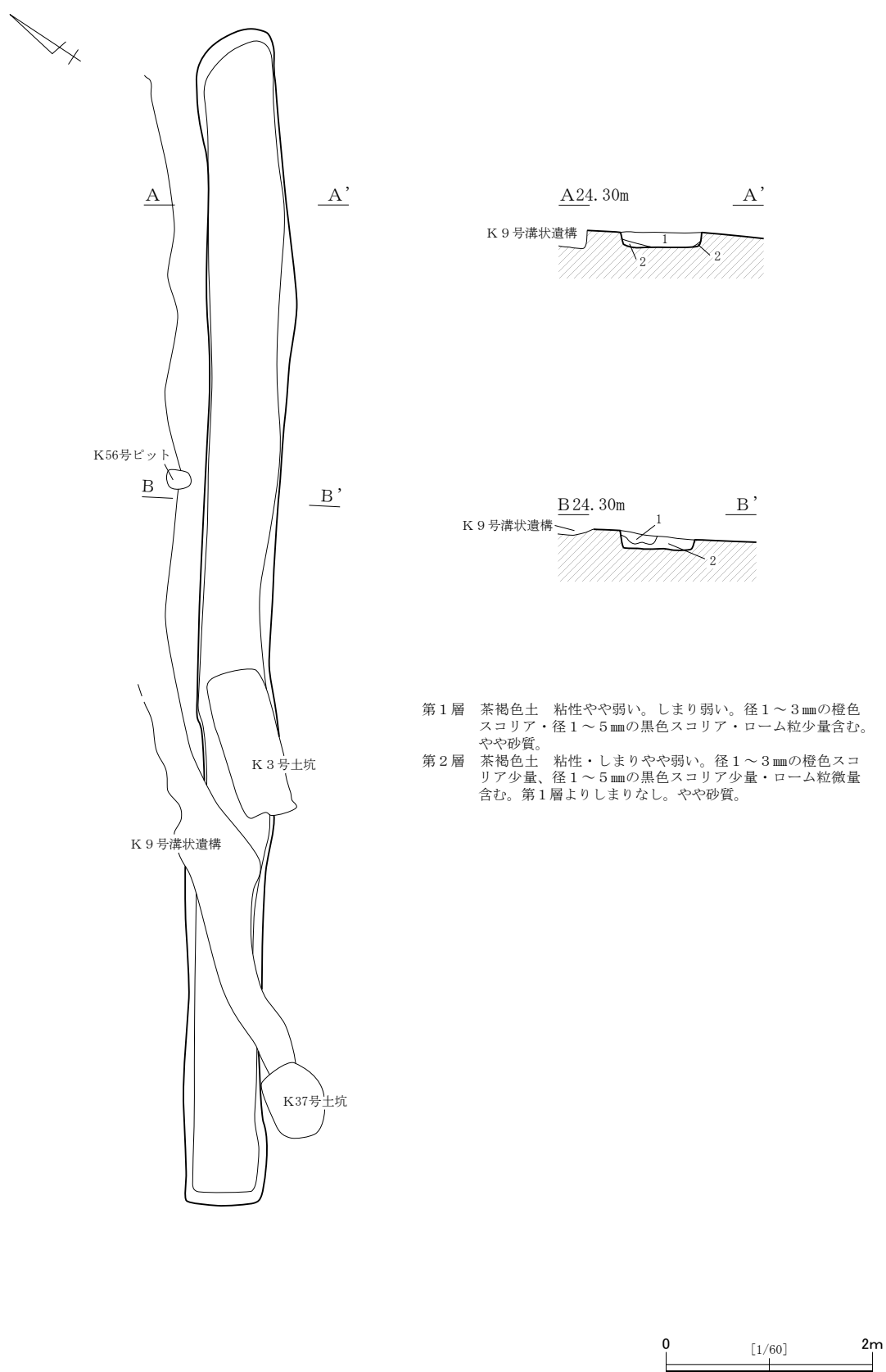
K 13号溝状遺構（第356図、図版82－1）

X 7・8グリッドで検出された。確認面の標高は23.4～23.6mを測る。延伸方向は西方向から東方向で、上面は削平され、掘り込みが消えている。東側でK 18号溝状遺構を切っている。検出部分の長さは8.08m、幅は0.26～0.46mで、確認面からの深さは0.19～0.36mを測る。

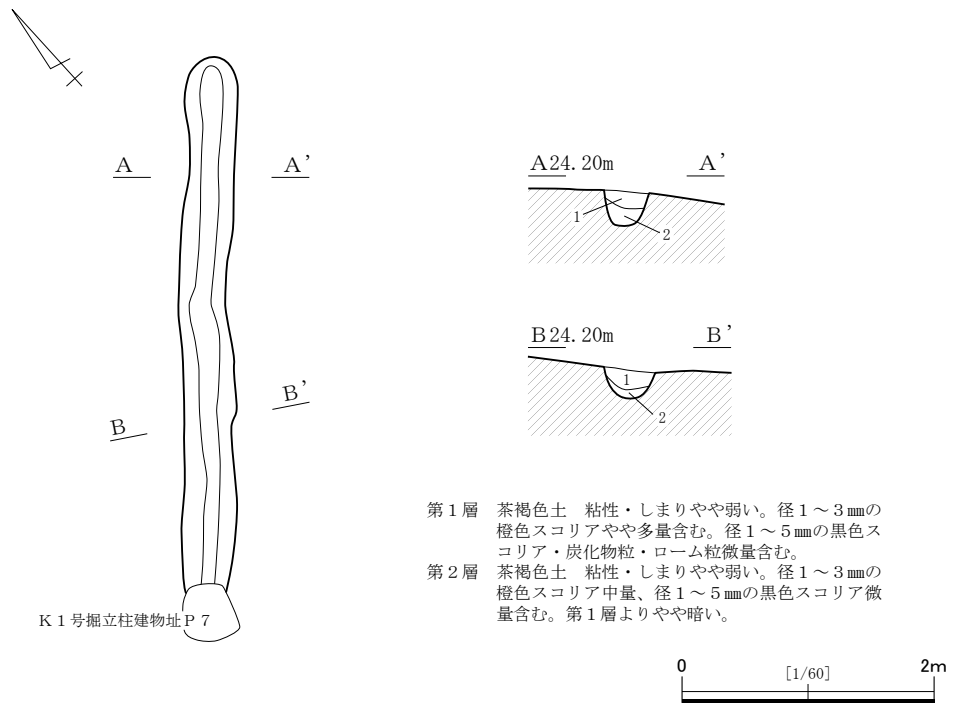
覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・暗黄褐色土の3層で構成される。下層はローム主体の層である。

遺物は、肥前の磁器碗1点(5.4g)、瀬戸・美濃の陶器鉢1点(5.2g)の計2点(10.6g)が出土している。いずれも小破片のため、図化していない。

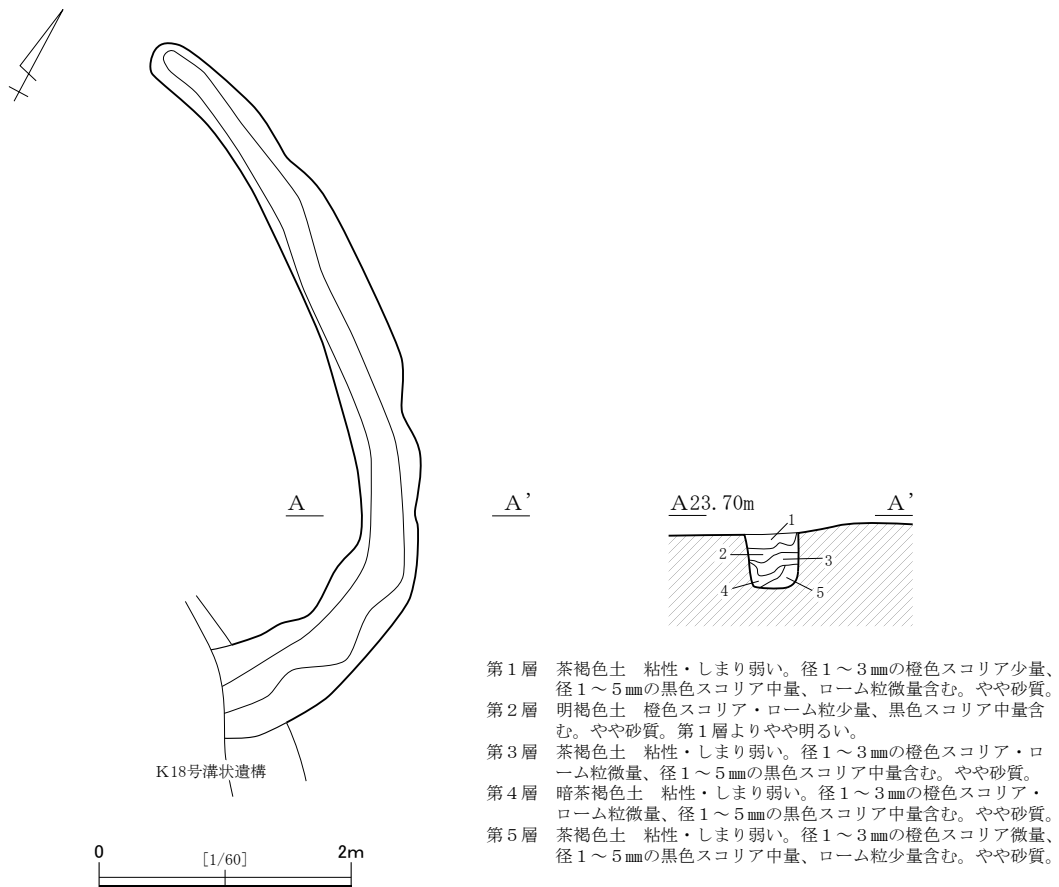
遺構の時期は、確認面・覆土及び遺物及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



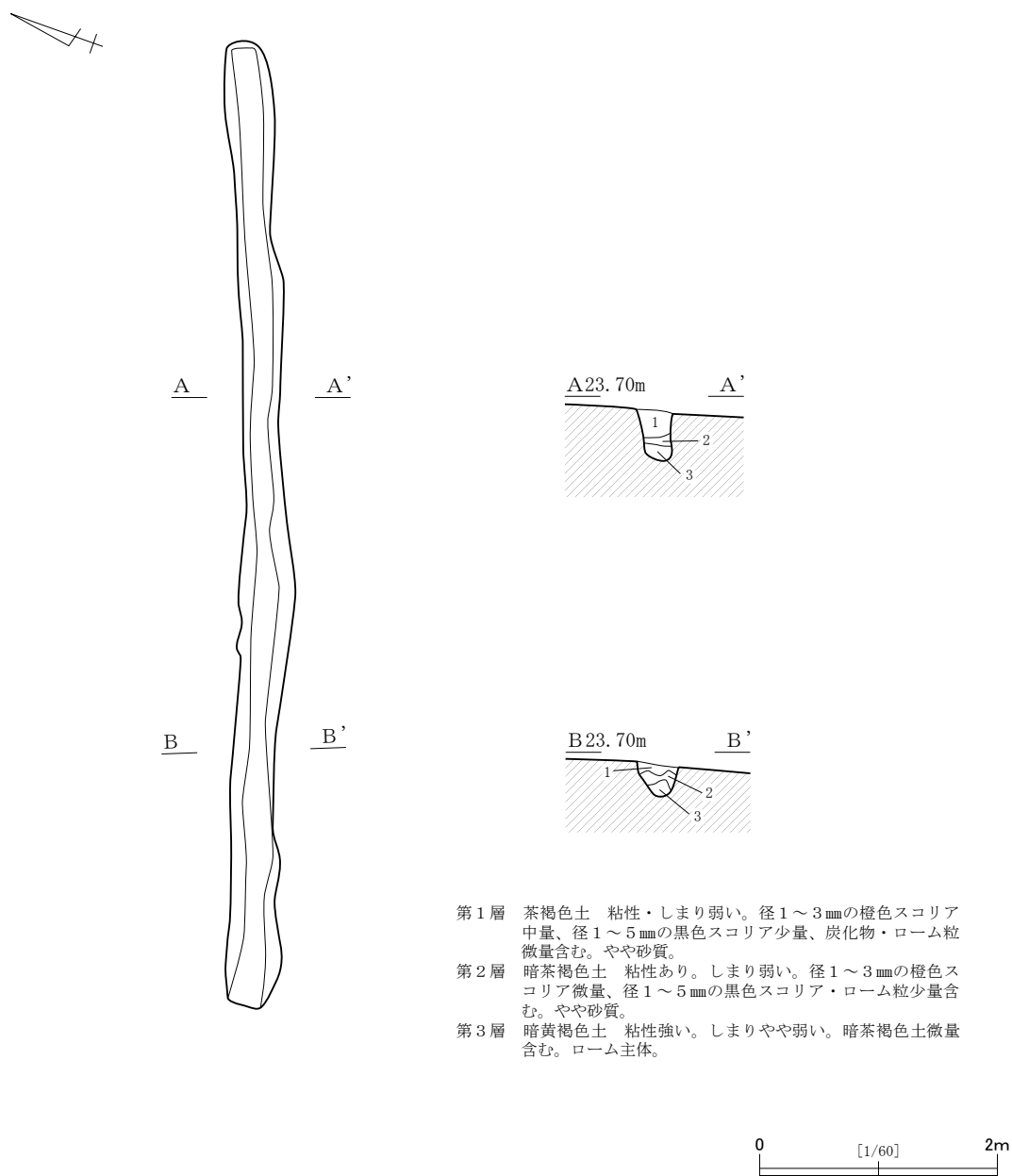
第353図 8区・9区・調整池②区K10号溝状遺構 [1/60]



第354図 8区・9区・調整池②区K11号溝状遺構 [1/60]



第355図 8区・9区・調整池②区K12号溝状遺構 [1/60]



第356図 8区・9区・調整池②区K13号溝状遺構 [1/60]

K15号溝状遺構（第357図、図版82－2）

Y9グリッドで検出された。確認面の標高は22.4～22.5mを測る。K47号土坑を切っている。延伸方向は北東方向から南西方向で、ほぼ中央をK295号ピットに切られている。検出部分の長さは3.54m、幅は0.84～0.98mで、確認面からの深さは0.05～0.11mを測る。

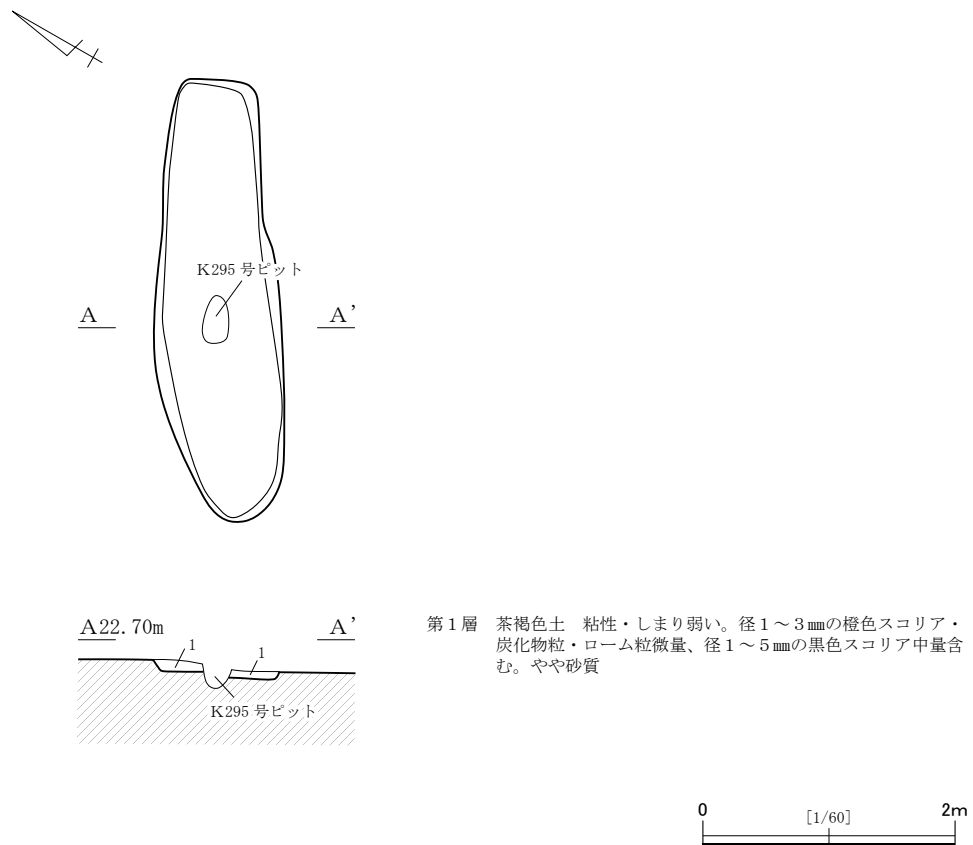
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリアを含み、炭化物粒・ローム粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K16号溝状遺構（第358図）

V12・13グリッドで検出された。確認面の標高は22.9～23.2mを測る。延伸方向は、北東方向か



第357図 8区・9区・調整池②区K15号溝状遺構 [1/60]

ら南西方向で、地割れによる攪乱に切られている。検出部分の長さは4.82m、幅は0.88～0.96mで、確認面からの深さは0.12～0.21mを測る。

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の2層で構成され、橙色スコリアと黒色スコリア含み、暗褐色土のブロックで含む。第1層には炭化物粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

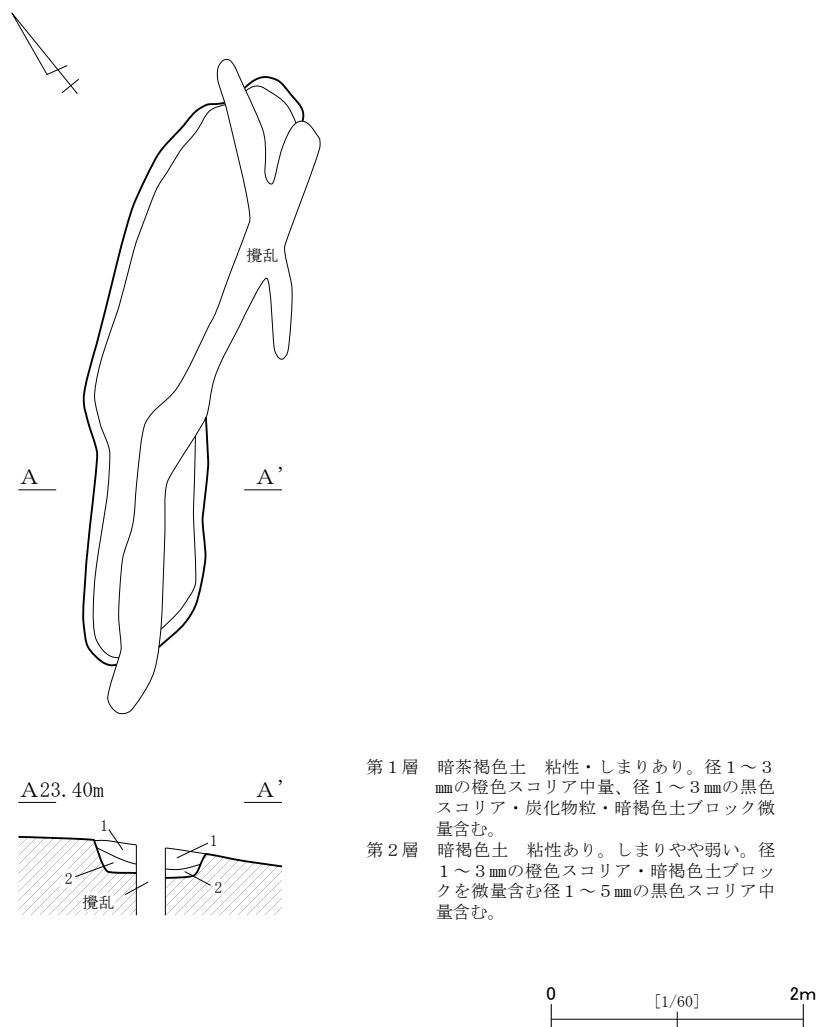
K17号溝状遺構（第359・360図、第90表、図版168）

X8・9グリッドで検出された。確認面の標高は23.2～23.6mを測る。延伸方向は北西方向から南東方向で、北側をK12号溝状遺構に切られている。検出部分の長さは5.73m、幅は0.38～0.48mで、確認面からの深さは0.29～0.41mを測る。

覆土は明茶褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリアと黒色スコリアを含み、ローム粒を少量含む。

遺物は丹波の陶器挿鉢1点（6.5g）、銅製品の煙管1点（6.0g）の計2点（12.5g）が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第360図1は銅製品の煙管の雁首である。火皿は完形だが、本体の羅宇との接合部一部欠損している。遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



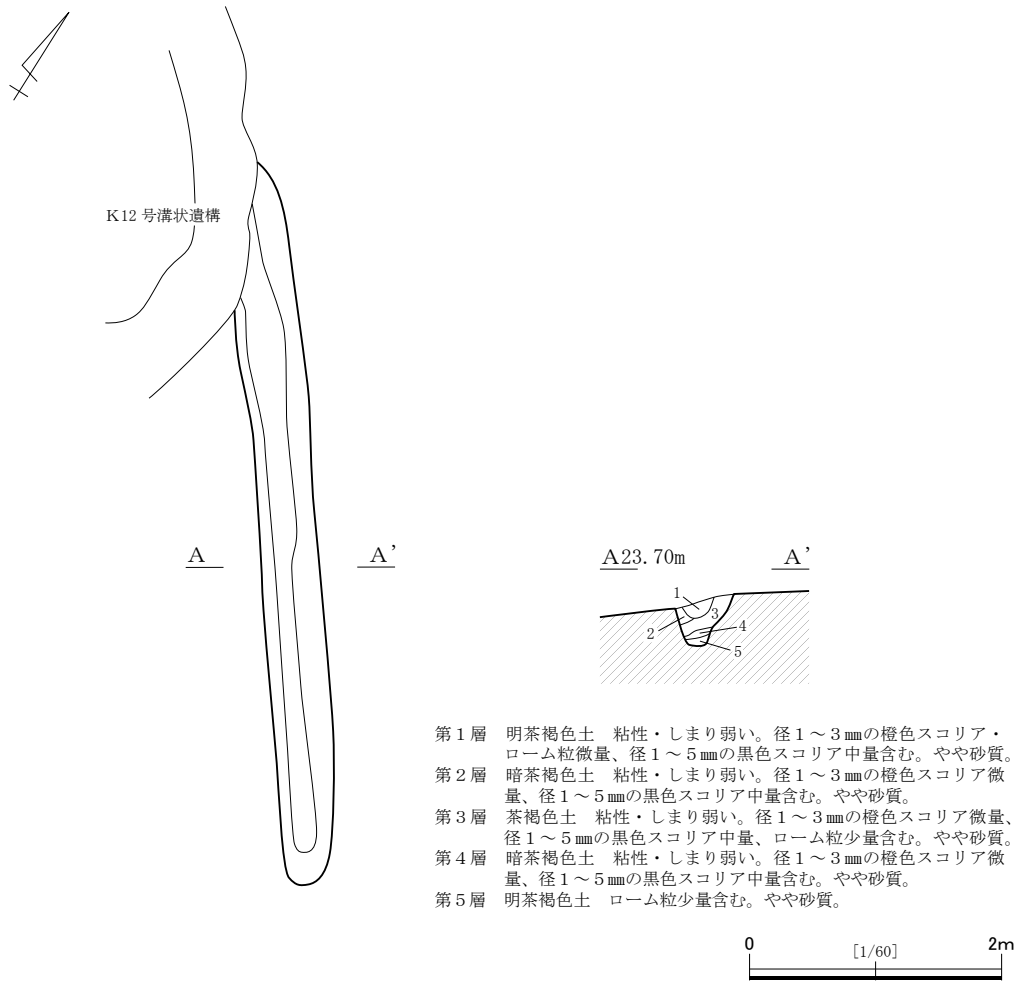
第358図 8区・9区・調整池②区K16号溝状遺構 [1/60]

K18号溝状遺構（第361～363図、第91表、図版83－1・166～168）

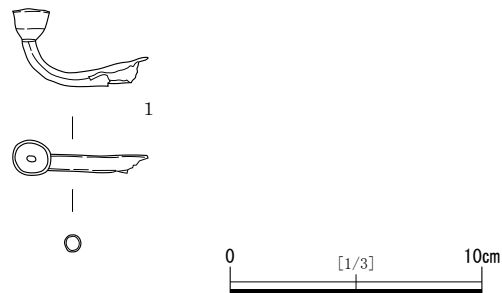
X8・9～Z8・9グリッドで検出された。確認面の標高は21.6～23.7mを測る。K28号土坑を切っている。延伸方向は南西方向から北東方向に弧状に確認され、X－8グリッドとX－9グリッドの堺付近で南側に方向を変える。北側をK13号溝状遺構と攪乱に切られている。検出部分の長さは28.35m、幅は0.49～1.54mで、確認面からの深さは0.13～0.72mを測る。北側と南側には2ヶ所の段差が確認出来る。北側は幅2.29m・奥行き0.52m・高さ0.66mを測り、南側は幅2.32m・奥行き0.22m・高さ0.28mを測る。

覆土は北側と南側で違いがあるが、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含み、含有物に違いが見られる。北側のA－A'では暗褐色土・茶褐色土・褐色土・暗黄褐色土の8層で構成され、第1・6・7層には宝永スコリアを含む。B－B'では茶褐色土・暗茶褐色土の7層で構成され、第7層には茶炭化物粒微量含む。C－C'では茶褐色土・暗茶褐色土の6層で構成され、第4・5層には明茶褐色土のブロックを含む。D－D'では明茶褐色土・灰褐色土・茶褐色土の4層で構成され、第4層には灰褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、肥前の磁器碗3点(64.4g)・皿1点(3.7g)・徳利1点(13.7g)、瀬戸・美濃の磁器碗1



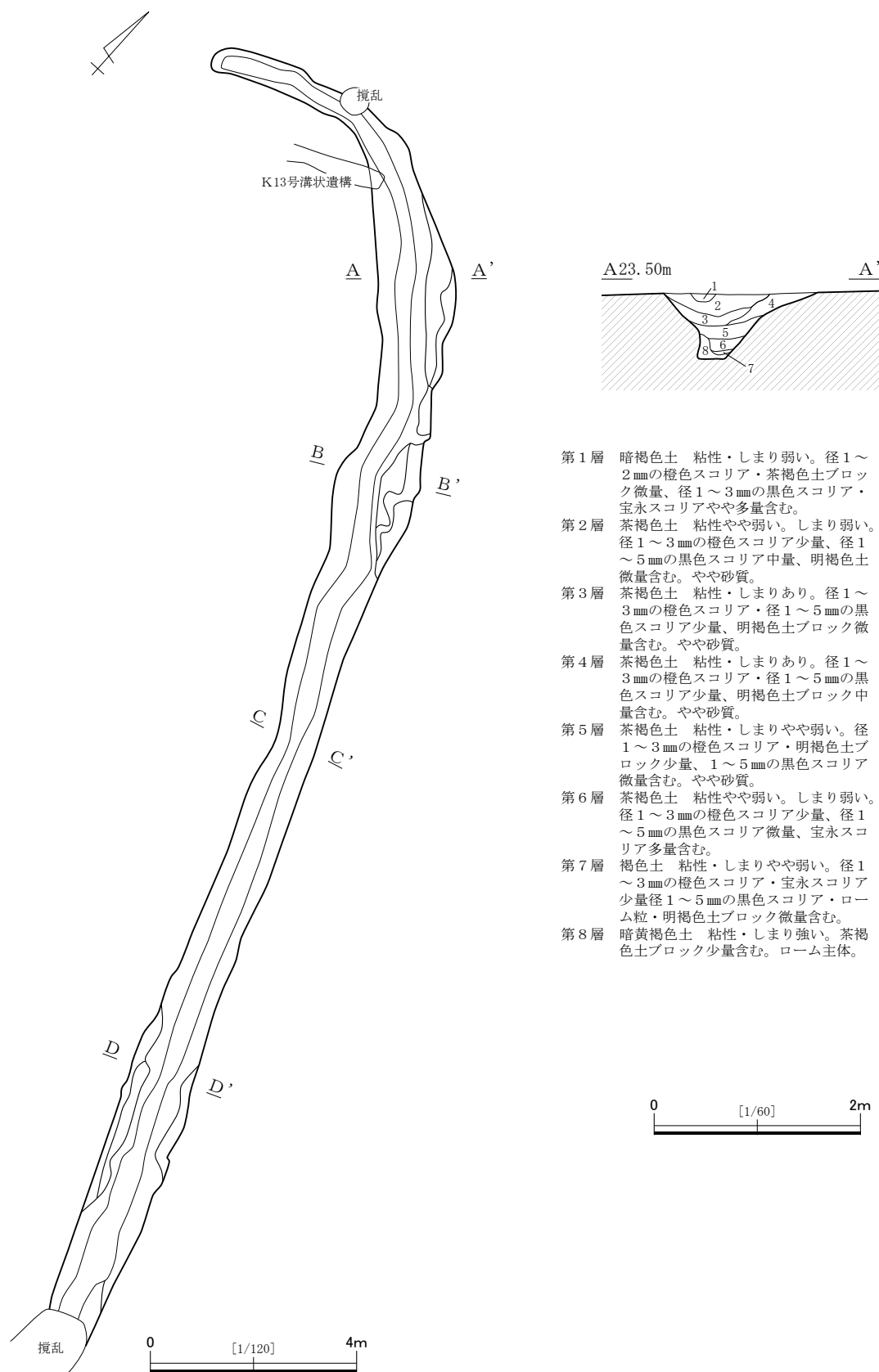
第359図 8区・9区・調整池②区K17号溝状遺構 [1/60]



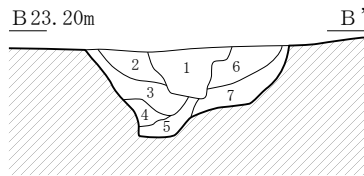
第360図 8区・9区・調整池②区K17号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第90表 8区・9区・調整池②区K17号溝状遺構出土遺物観察表 [第360図]

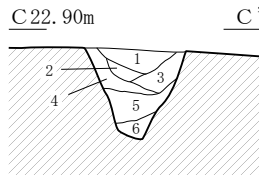
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容
1	煙管 雁首	銅	5.4	1.4	0.6	6.0	残存度 火皿完形・羅宇との接合部一部欠損



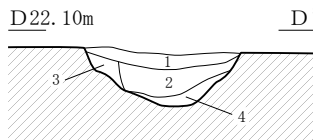
第361図 8区・9区・調整池②区K18号溝状遺構(1) [1/120・1/60]



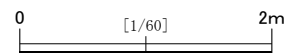
- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。やや砂質。
- 第2層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第3層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム少量含む。
- 第4層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒微量含む。第3層よりやや明るい。
- 第5層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。橙色スコリア、黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第6層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。第2層よりやや明るい。
- 第7層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまり強い。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒少量、径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒微量含む。



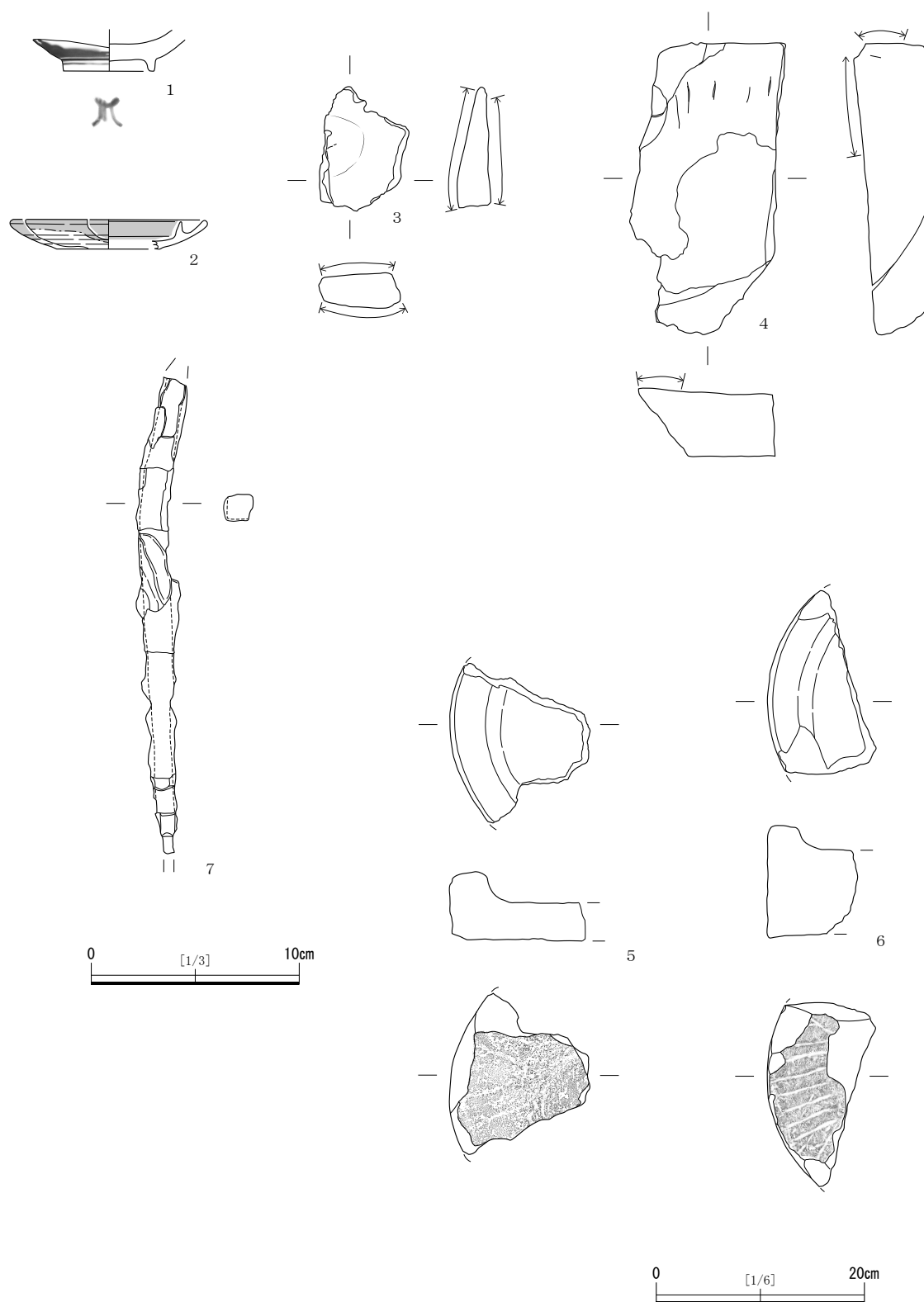
- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。やや砂質土。
- 第2層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。第1層よりやや暗い。やや砂質土。
- 第3層 暗茶褐色土 径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。やや砂質土。
- 第4層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・明茶褐色土ブロック少量含む。
- 第5層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまり弱い。明茶褐色土ブロック微量含む。砂質土やや強い。
- 第6層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまり弱い。ローム粒少量含む。第5層よりしまりに欠ける。砂質土強い。



- 第1層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア中量、ローム粒微量含む。やや砂質。
- 第2層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア中量含む。やや灰色味帯びる。やや砂質。
- 第3層 灰褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒少量、径1～5mmの黒色スコリア中量含む。やや砂質。
- 第4層 茶褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア、灰褐色土ブロック少量含む。



第362図 8区・9区・調整池②区K18号溝状遺構(2) [1/60]



第363図 8区・9区・調整池②区K18号溝状遺構出土遺物 [1/3・1/6]

第91表 8区・9区・調整池②区K18号溝状遺構出土遺物観察表 [第363図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	染付 丸形碗	磁器	—	4.1	(2.0)	50.3	底部 4/5	肥前	18世紀 末～ 19世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 釉薬 呉須・透明釉 文様 外面雪輪梅樹文・高台際二重 圈線、高台内崩し字銘
2	鉄釉 灯明受皿	陶器	[9.1]	[4.9]	1.4	9.2	口縁部～ 体部1/8	瀬戸・ 美濃	19世紀	胎土 にぶい黄橙色、密 焼成 良好 釉薬 茶褐色鉄釉、内面 ～外面口縁にツケガケ 備考 内径6.8cm
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
3	砥石	変質 流紋岩	(6.0)	(4.3)	1.7	45.1	残存度 両端部・側面欠損 備考 上下面・側面の4面使用			
4	砥石	ホルン フェルス	(14.0)	7.5	3.5	519.4	残存度 下端面欠損 備考 上面・側面の2面使用			
5	石臼	安山岩	[26.0]	(12.7)	6.7	1,302.8	残存度 1/4 備考 上臼、縁幅3.2cm・高さ2.2cm、裏面に磨 り溝残			
6	石臼	安山岩	[27.4]	(10.3)	10.8	2,346.0	残存度 1/8 備考 上臼、縁幅2.6cm・高さ1.8cm、裏面に磨 り溝残			
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
7	手鋏	鉄	22.8	1.4	1.3	81.8	残存度 両端部欠損、刃の一部			

点(11.9 g)、肥前の陶器碗1点(8.9 g)、瀬戸・美濃の陶器碗4点(31.4 g)・皿1点(1.4 g)・鉢1点(14.3 g)・灯明皿1点(9.2 g)・甕1点(33.3 g)、京都・信楽の陶器土瓶1点(24.1 g)、瓦1点(62.5 g)鉄製品の手鋏1点(81.4 g)、椀型滓1点(111.5 g)、石製品の砥石2点(564.5 g)・石臼2点(3,648.8 g)の計23点(4,685.0 g)が出土している。図化したのは、以下の7点である。

第363図1は肥前の磁器染付丸形碗である。素地は灰白色で、呉須で外面に雪輪梅樹文、高台際に二重圈線が描かれている。高台内には崩し字銘が確認できる。18世紀末～19世紀の製品と考えられる。2は瀬戸・美濃の陶器鉄釉灯明皿である。胎土はにぶい黄橙色で、内面～外面の口縁部にツケガケで茶褐色の鉄釉が施されている。19世紀の製品と考えられる。

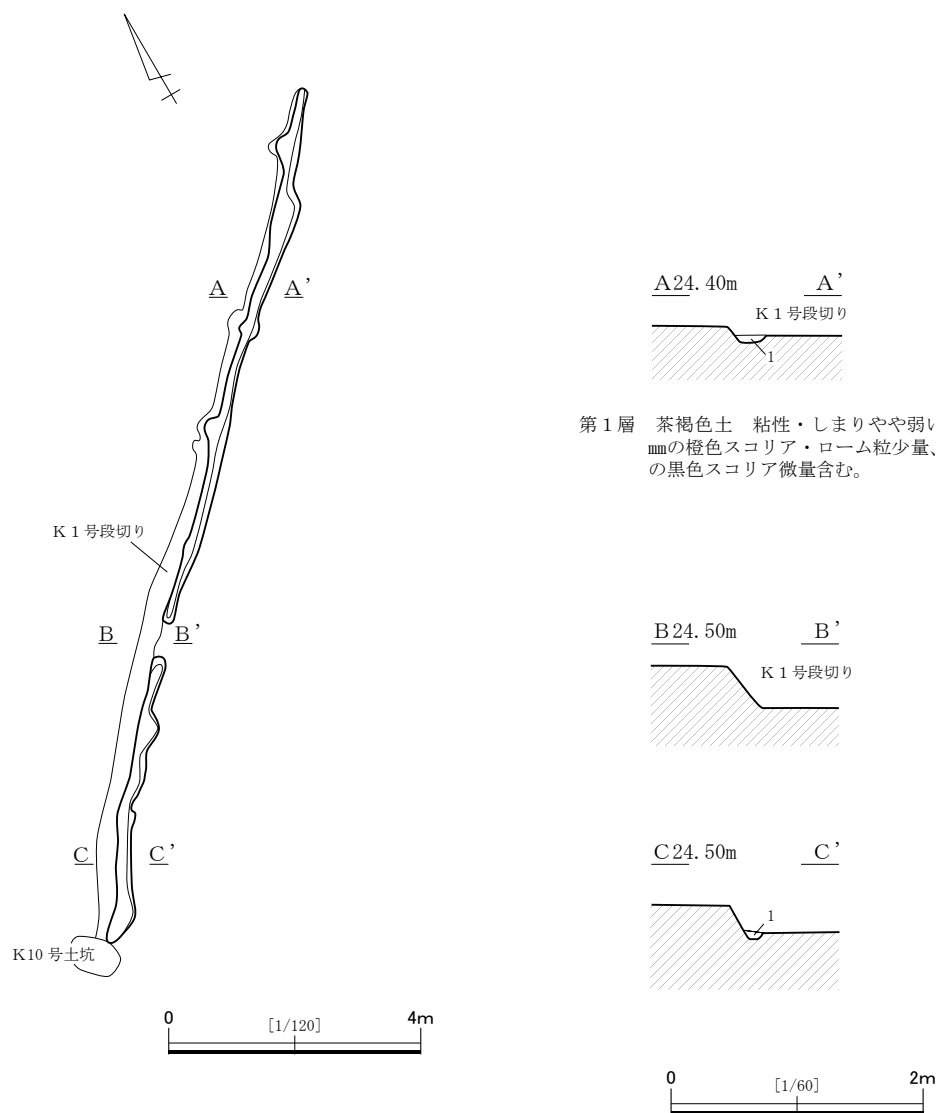
第363図3～6は石製品である。3・4は砥石である。3は両端部と側面が欠損し、上下面の2面が使用されている。石材は変質流紋岩である。4は下端部が欠損し、上面と側面の2面が使用されている。石材はホルンフェルスである。5・6は石臼の上臼である。裏面には磨り溝が残っている。石材は共に安山岩である。

第363図7は鉄製の手鋏の刃の一部である。両端部が欠損している。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K19号溝状遺構・K1号段切り(第364図、図版78-1)

V9、W8・9グリッドで検出された。K1号段切りの裾に沿ってK19号溝状遺構が確認できる。北側は上面が削平され掘り込みは消えている。南側はK10号土坑に切られている。K1号段切りの確認標高は23.9～24.1mを測り、K19号溝状遺構の確認面の標高は23.8～24.0mを測る。段切りの



第364図 8区・9区・調整池②区K19号溝状遺構・K1号段切り [1/120・1/60]

検出部分の長さは13.84m、幅は0.05～0.35m、確認面からの高さは0.09～0.34mを測る。溝の延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは13.84m、幅は0.22～0.36mで、確認面からの深さは0.05～0.10mを測る。

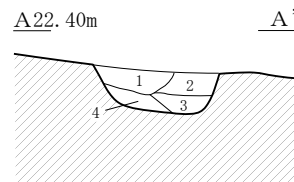
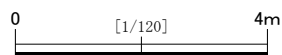
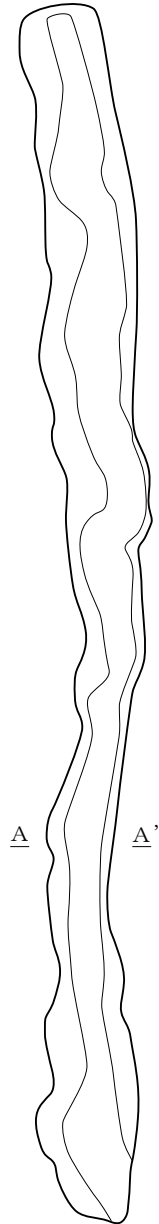
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリアと黒色スコリアを含み、ローム粒を少量含む。

遺物は出土していない。

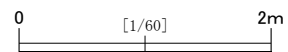
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K20号溝状遺構（第365図）

X10・11、Y10・11グリッドで検出された。確認面の標高は21.9～22.2mを測る。延伸方向は北東方向から南西方向で、北東側及び南西側は上面が削平され掘り込みは消えている。検出部分の長さは19.45m、幅は0.74～1.45mで、確認面からの深さは0.16～0.54mを測る。覆土は黒褐色土・茶褐色土・明茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリアと黒色スコリアを含み、炭化物粒・ローム粒を含む。



- 第1層 黒褐色土 粘性・しまりなし。茶褐色土ブロック微量含む。
宝永スコリア主体。
- 第2層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中
量、径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒微量、ローム粒少
量含む。
- 第3層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコ
リア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第4層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。第3層よりやや明るい。



第365図 8区・9区・調整池②区K20号溝状遺構 [1/120・1/60]

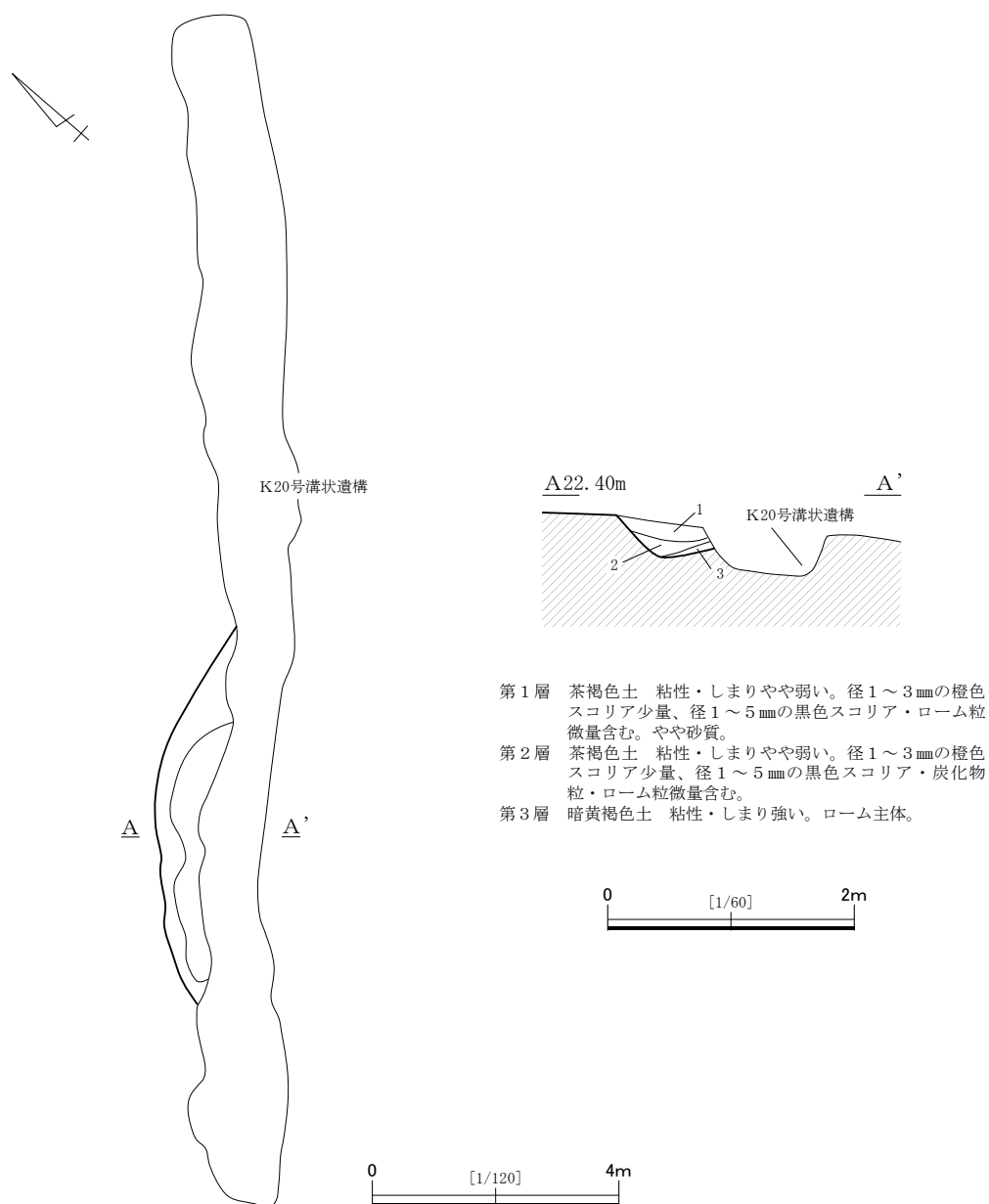
第1層は宝永スコリアが主体となった層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K 21号溝状遺構（第366図）

Y 10グリッドで検出された。確認面の標高は22.1～22.2 mを測る。延伸方向は北東方向から南西方向で、K 20号溝状遺構に切られて一部のみの確認である。検出部分の長さは6.10 m、幅は0.90 mで、確認面からの深さは0.27～0.40 mを測る。



第366図 8区・9区・調整池②区K21号溝状遺構 [1/120・1/60]

覆土は茶褐色土・暗黄褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。
遺物は出土していない。

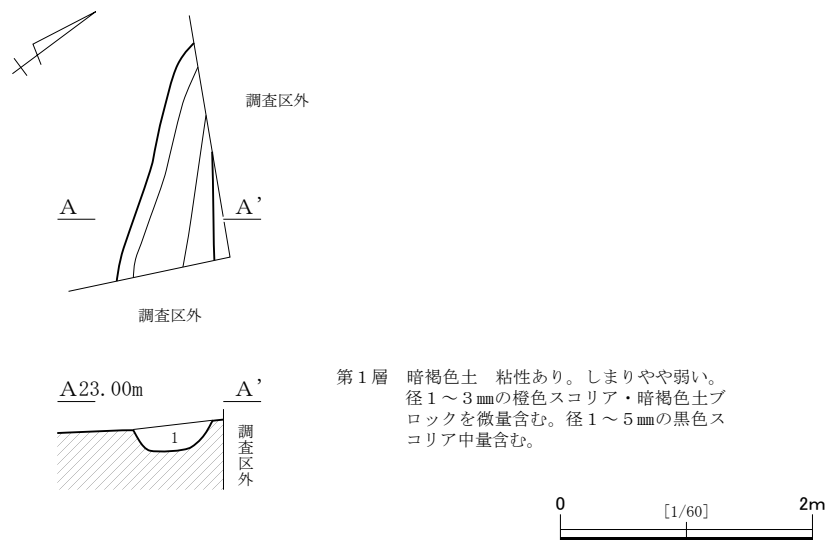
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K 22号溝状遺構（第367図）

V 14グリッドで検出された。確認面の標高は22.7～22.8mを測る。延伸方向は北から南方向で、
検出部分の長さは2.04m、幅は0.47～0.72mで、確認面からの深さは0.23mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。暗褐色土のブロックを微量含む。
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



第367図 8区・9区・調整池②区K22号溝状遺構 [1/60]

K 23号溝状遺構（第368図、図版83－2）

V 8・9、W 8・9グリッドで検出された。確認面の標高は24.3～24.4mを測る。K 24号溝状遺
構を切っている。延伸方向は北東方向から南西方向で、南側はK 19号溝状遺構とK 1号段切りに東側
をK 35号土坑に切られている。北側は調査区外に延びている。検出部分の長さは5.08m、幅は0.32
～0.76mで、確認面からの深さは0.05～0.10mを測る。

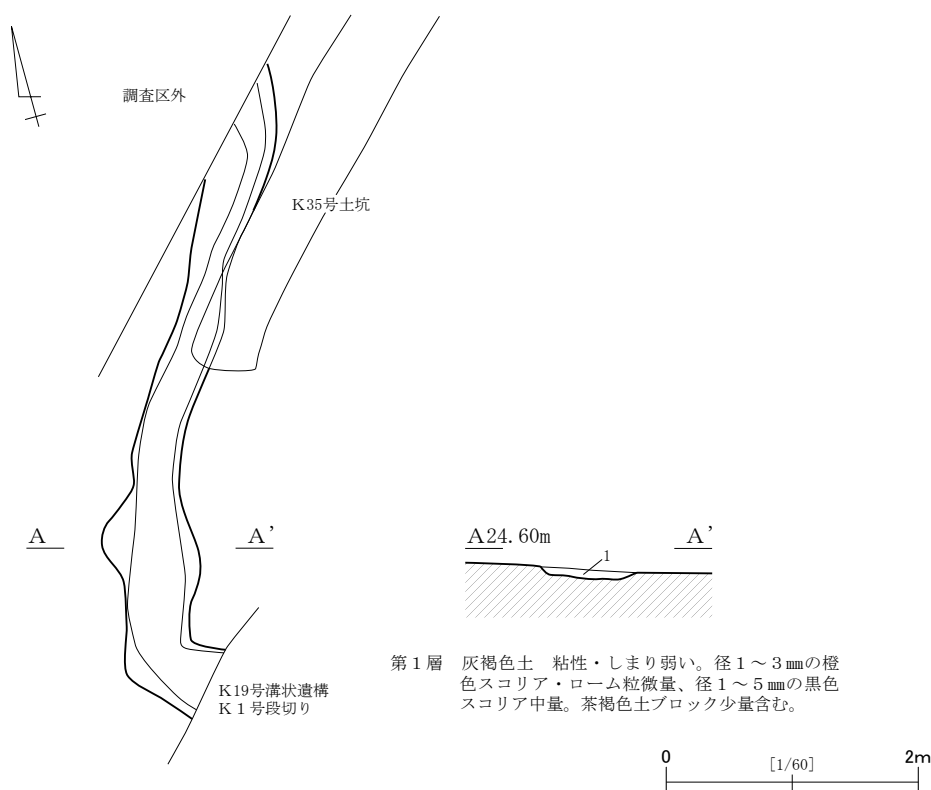
覆土は灰褐色土の単層で、の橙色スコリアと黒色スコリアを含む。ローム粒を微量、茶褐色土のブロ
ックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K 24号溝状遺構（第369図、図版83－2）

V 8・9、W 8・9グリッドで検出された。確認面の標高は24.3～24.4mを測る。西側をK 23号
溝状遺構、K 35・36号土坑に切られている。延伸方向は北東方から南西向で、検出部分の長さは7.06



第368図 8区・9区・調整池②区K23号溝状遺構 [1/60]

m、残存幅は0.08～0.62mで、確認面からの深さは0.03～0.14mを測る。覆土は暗黄褐色土の単層で、明茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K25号溝状遺構・K2号段切り（第370図、図版81－2）

U9～11グリッドで検出された。K2号段切りの裾の西側に沿ってK25号溝状遺構が確認できる。東側は上面が削平され溝状遺構は確認できない。K2号段切りの確認標高は24.2～24.5mを測り、検出部分の長さは12.19m、幅0.21～0.64m、高さ0.26～0.48mを測る。K25号溝状遺構の確認面の標高は23.8～24.0mを測る。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは6.14m、幅は0.26～0.63mで、確認面からの深さは0.05～0.16mを測る。

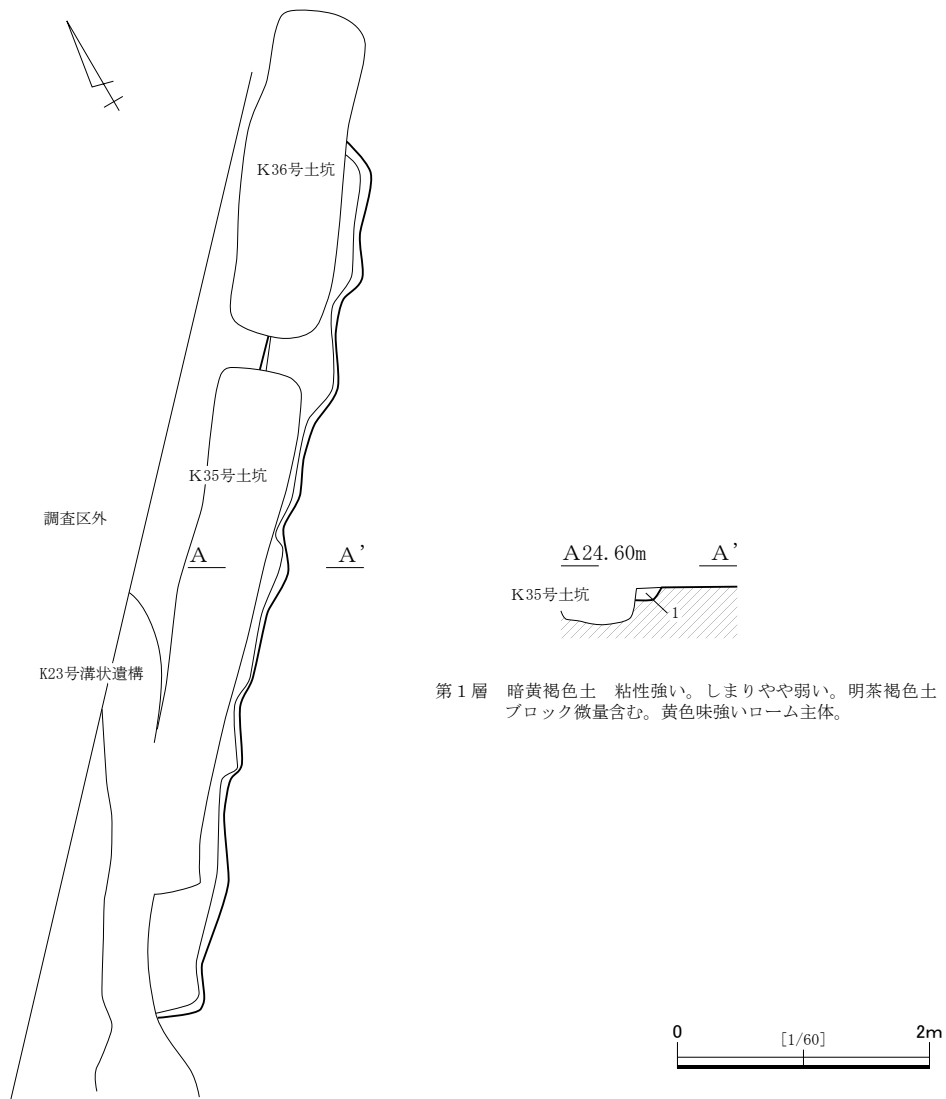
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K26号溝状遺構（第371・372図、第92表、図版84－1・166・167）

T・U15グリッドで検出された。確認面の標高は23.4～23.6mを測る。延伸方向は北東方向から南西方向で、北東側と南西側は調査区外に延びている。南側の調査区際でK1号土坑に切られている。検出部分の長さは8.04m、幅は0.96～1.18mで、確認面からの深さは0.04～0.15mを測る。



第369図 8区・9区・調整池②区K24号溝状遺構 [1/60]

覆土は暗灰褐色土の単層で、黒色スコリア多量含む。

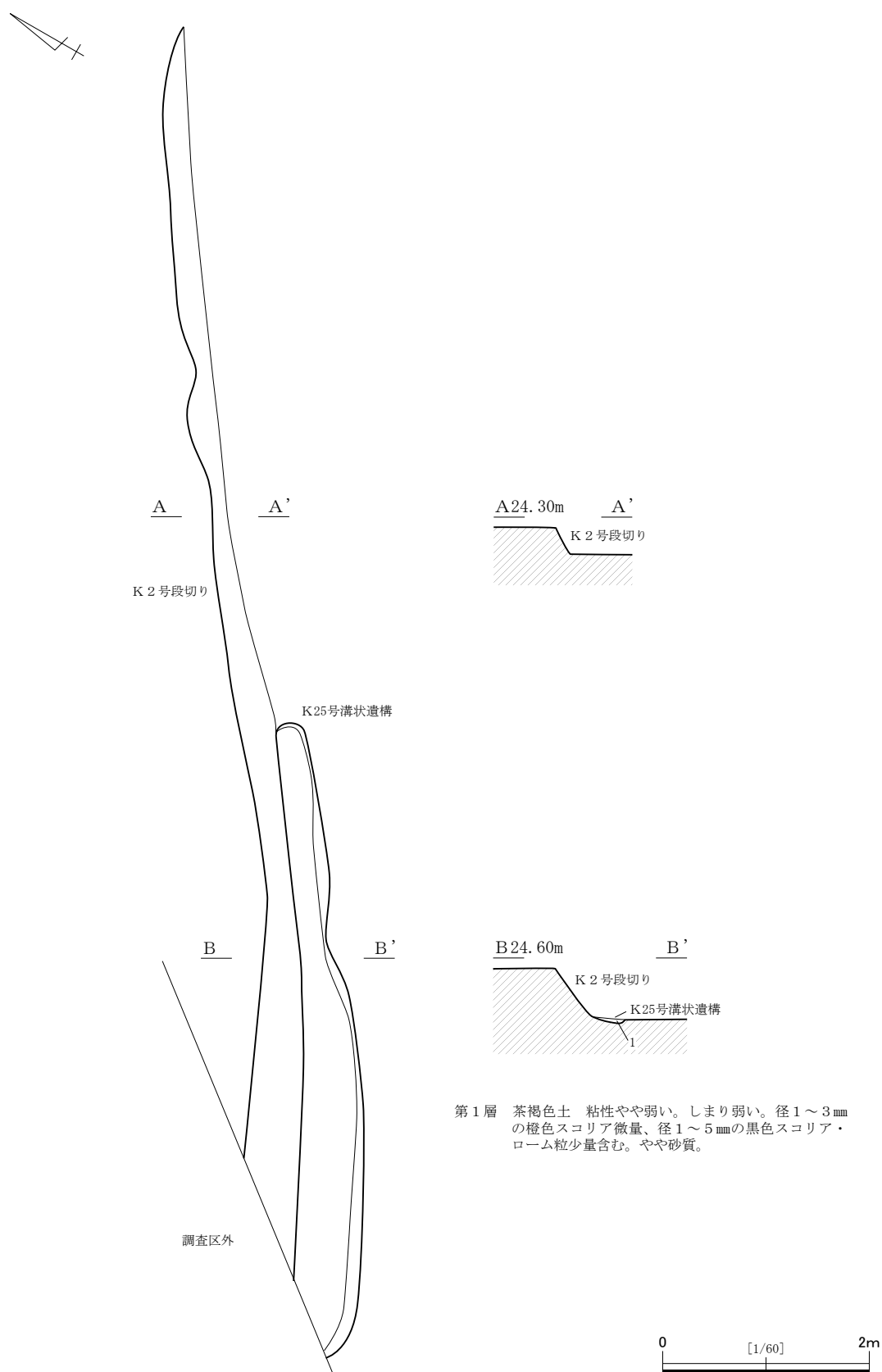
遺物は、肥前の磁器碗1点(3.5g)、瀬戸・美濃の磁器碗1点(4.4g)、肥前の陶器碗1点(2.7g)、瀬戸・美濃の陶器皿1点(50.7g)・片口鉢1点(6.8g)、堺の炔器播鉢1点(77.1g)、石製品の砥石1点(103.5g)、木製品の杭1点・棒状製品1点の計9点(248.7g)が出土している。図化したのは、以下の4点である。

第372図1は瀬戸・美濃の陶器志野皿である。胎土は灰黄色で、乳白色長石釉が施されている。見込に目址1ヶ所、高台内目址2ヶ所が残っている。17世紀の製品である。2は堺の炔器播鉢の口縁部である。胎土は明赤褐色で、9条1単位の播り目が確認できる。18世紀前半～中頃の製品と考えられる。

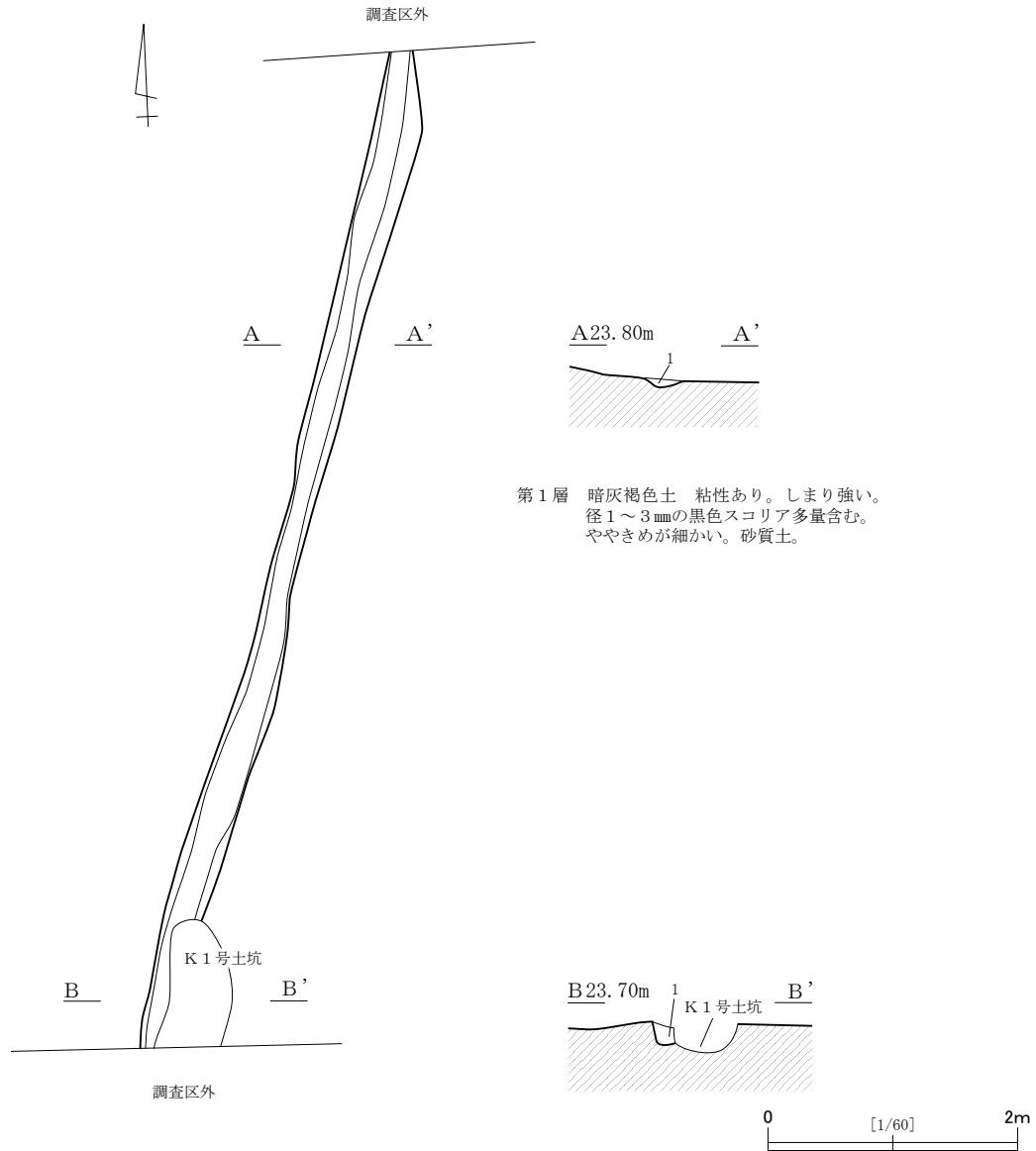
第372図3は石製品の砥石である。上端面が欠損して、上下面・両側面・下端面の5面が使用されている。伊予砥の中砥で、石材は変質流紋岩である。

第372図4は木製の杭と考えられる。先端部を加工している。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から17世紀以降と考えられる。



第370図 8区・9区・調整池②区K25号溝状遺構・K2号段切り [1/60]



第371図 8区・9区・調整池②区K26号溝状遺構 [1/60]

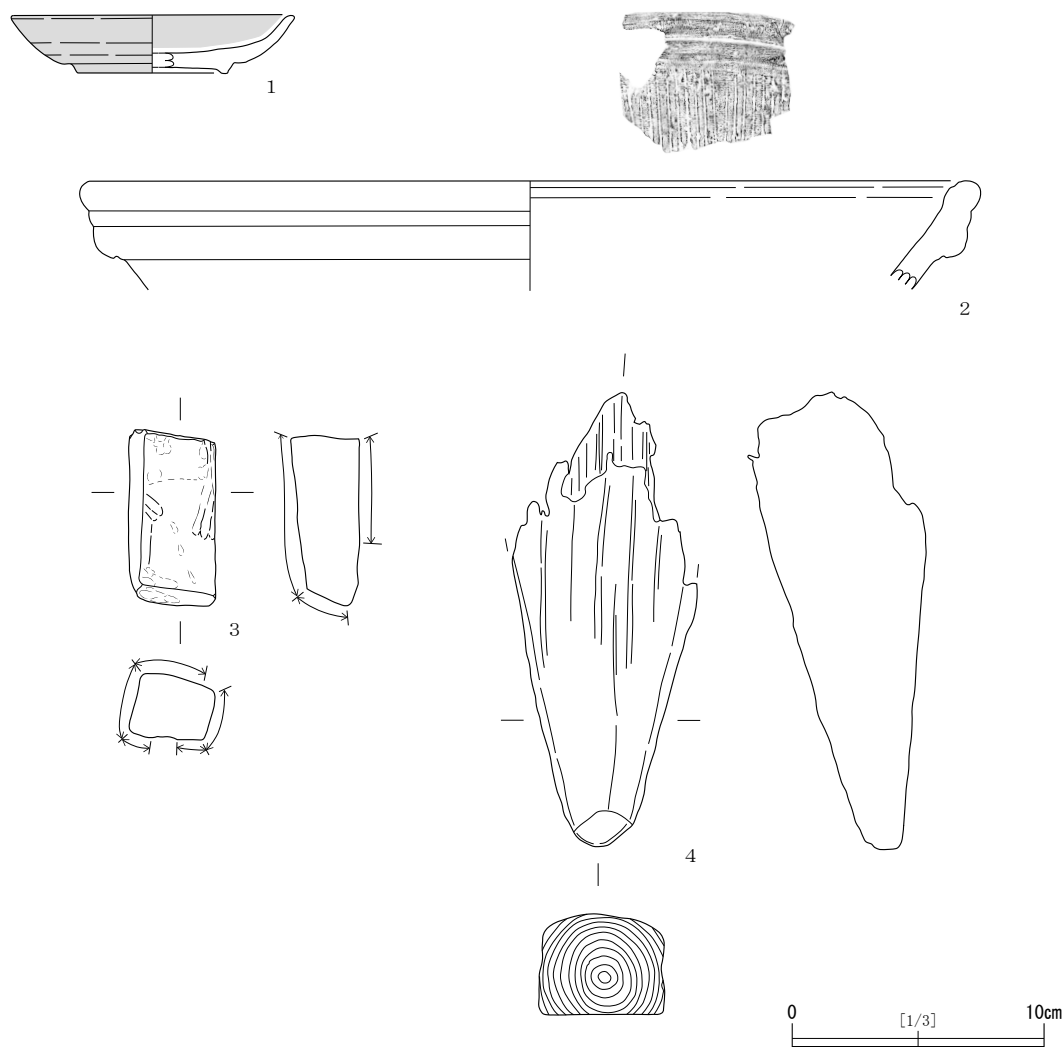
K27号溝状遺構（第373図、図版80－1）

T12・13、U12・13グリッドで検出された。確認面の標高は23.8～23.9mを測る。全体がL字状に屈曲して確認されており、K3～5号ピットと攪乱に切られている。溝の屈曲した部分と南側が調査区外に延びている。延伸方向は北西方からT12グリッドとT13グリッドの境付近で方向を変え、南東方向に延びている。検出部分の長さは10.94m、幅は0.31～0.94mで、確認面からの深さは0.06～0.52mを測る。南端に長さ1.40m、幅0.12～0.18m、高さ0.14～0.16mの段差が確認できる。

覆土は暗黒褐色土・暗灰褐色土の2層で構成され、橙色スコリアを含み、宝永スコリアを含む。炭化物粒を少量含む。南東側に長さ0.94m、幅0.12～0.16m、深さ0.07～0.16mの段差が確認出来る。

遺物は、肥前の磁器碗1点(3.5g)、瀬戸・美濃の陶器碗1点(0.3g)・香炉1点(6.4g)の計3点(10.2g)が出土している。いずれも小破片で、図化していない。

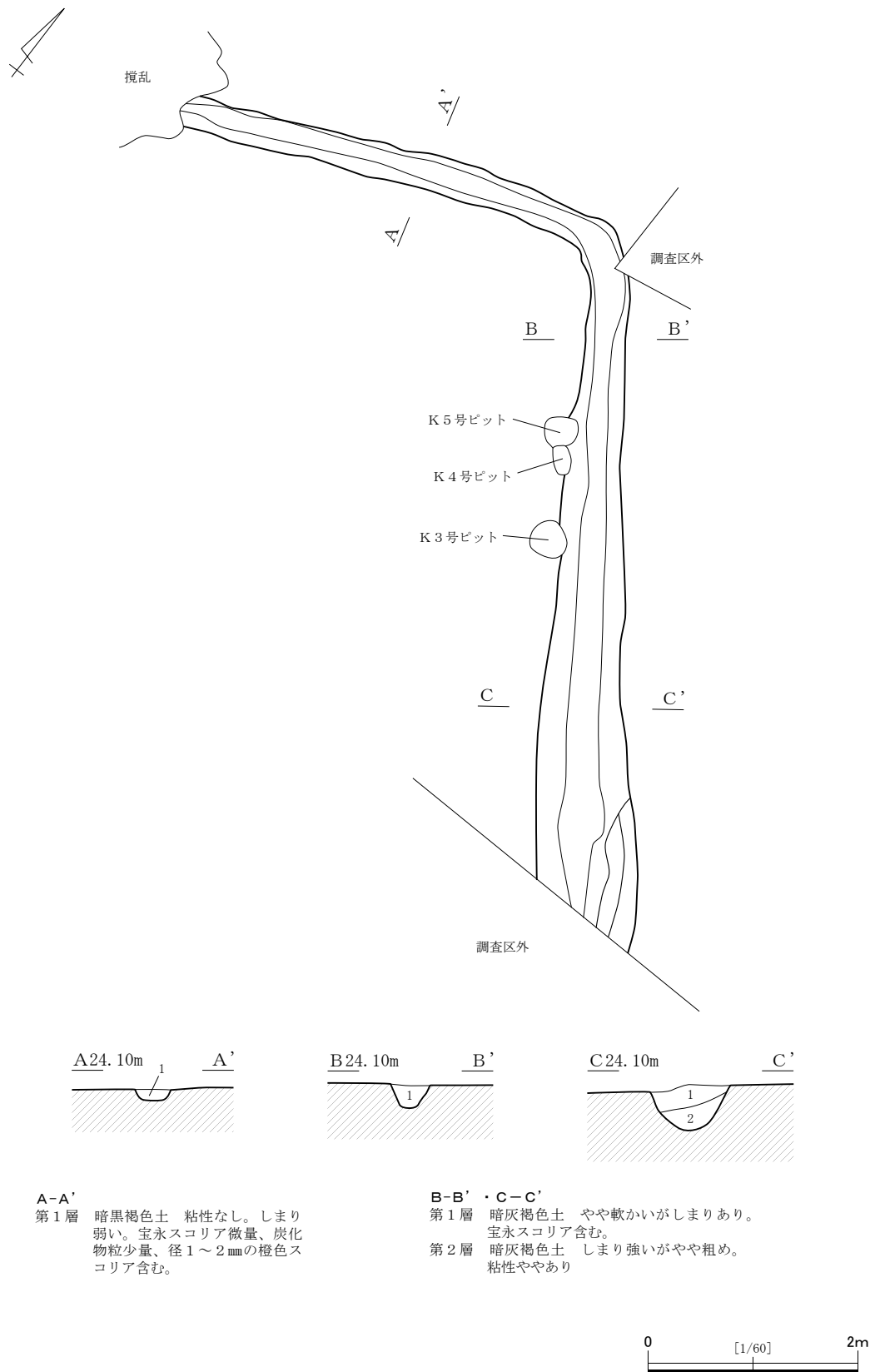
遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



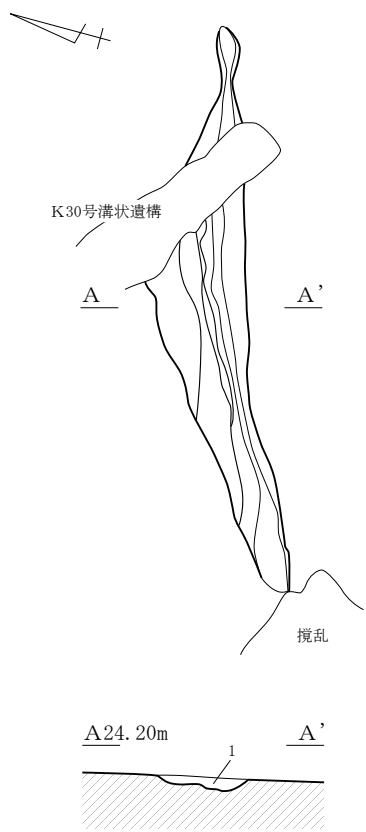
第372図 8区・9区・調整池②区K26号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第92表 8区・9区・調整池②区K26号溝状遺構出土遺物観察表 [第372図]

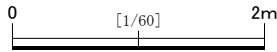
No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	志野皿	陶器	[11.0]	5.8	2.3	50.7	口縁部1/9 ～底部1/2	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 灰黄色、密、黒色粒子 焼成 良好 釉薬 乳白色長石 釉 備考 見込目皿1ヶ所、 高台内目皿2ヶ所残
2	播鉢	炆器	[35.0]	—	(4.3)	9.2	口縁部1/8	堺	18世紀 前半～ 中頃	胎土 明赤褐色、赤色スコリ アを含む密 焼成 良好 備考 9条1単位の播り目
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
3	砥石	変質 流紋岩	(7.0)	3.4	2.2	103.5	残存度 上端面欠損 備考 伊予砥の中砥、上下面・両側 面・下端面の5面使用			
No.	器種	種別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	観察内容				
4	杭	木製品	(18.0)	7.3	6.5	残存度 先端部のみ残 備考 表面炭化している				



第373図 8区・9区・調整池②区K27号溝状遺構 [1/60]



第1層 暗灰褐色土 粘性なし。しまりやや弱い。径2mmの
橙色スコリア・炭化物粒やや少量含む。



第374図 8区・9区・調整池②区K28号溝状遺構 [1/60]



第375図 8区・9区・調整池②区K28号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第93表 8区・9区・調整池②区K28号溝状遺構出土遺物観察表 [第375図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	染付 丸形碗	磁器	[9.5]	—	(4.2)	10.0	口縁部～ 体部1/10	肥前	18世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 釉薬 呉須・透明釉 文様 外面草花文
2	染付 端反小碗	磁器	[8.0]	—	(3.7)	19.3	口縁部～ 体部1/4	瀬戸・ 美濃	19世紀 前半	素地 灰白色、緻密、黒色粒 子を含む 焼成 良好 釉薬 呉須・透明釉 文様 外面鳥 文・風景文、口縁部内面三 重圏線・見込二重圏線

K 28号溝状遺構（第374・375図、第93表、図版166）

T 12・13グリッドで検出された。確認面の標高は23.8～23.9mを測る。東側をK 30号溝状遺構に、南西側を攪乱に切られ、上面を削平され掘り込みが消えている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは4.35m、幅は0.10～0.81mで、確認面からの深さは0.02～0.11mを測る。北側には長さ3.00m、幅0.06～0.26m、高さ0.04mの段差が確認出来る。

覆土は暗灰褐色土の単層で、橙色スコリアを含む。炭化物粒をやや少量含む。

遺物は、肥前の磁器碗2点(21.4g)、瀬戸・美濃の陶器碗1点(19.3g)の計3点(40.7g)が出土している。図化したのは、以下の2点である。

第375図1は肥前の磁器染付丸形碗である。素地は灰白色で、外面に草花文が描かれている。18世紀の製品と考えられる。2は瀬戸・美濃の磁器染付端反小碗である。素地は灰白色、外面に鳥文と風景文、口縁部内面に三重圏線、見込に二重圏線が描かれる。19世紀前半の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀～19世紀と考えられる。

K 29号溝状遺構（第376図）

T 12・13、U 12・13グリッドで検出された。確認面の標高は23.8～23.9mを測る。西方向は攪乱に切られており、東側は上面が削平され掘り込みが消えている。延伸方向は西方向から東方向で、検出部分の長さは6.16m、幅は0.54～1.16mで、確認面からの深さは0.03～0.10mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリアを含む。炭化物粒を含む。

遺物は、肥前の磁器碗2点(14.1g)、志戸呂の陶器徳利1点(9.9g)の計3点(24.0g)が出土している。いずれも小破片で、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K 30号溝状遺構（第377図、図版84－2）

T 12・13グリッドで検出された。確認面の標高は23.8～24.0mを測る。K 28号溝状遺構を切っている。延伸方向は北西方向から南東方向で、検出部分の長さは2.62m、幅は0.38～0.61mで、確認面からの深さは0.14～0.27mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリアを含む。炭化物粒を少量含む。

遺物は、肥前の磁器碗1点(1.1g)、京都・信楽陶器の碗2点(25.7g)の計3点(26.8g)が出土している。いずれも小破片で、図化していない。

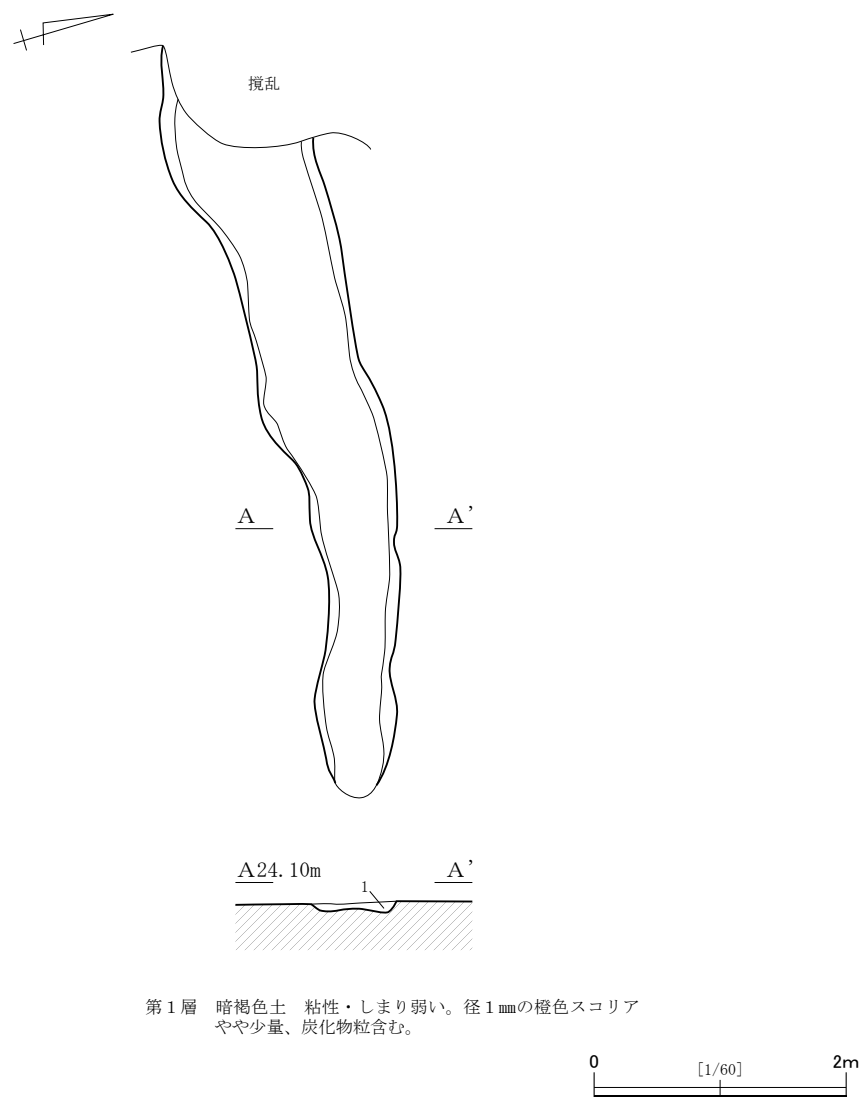
遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

K 31号溝状遺構（第378図）

T・U 15グリッドで検出された。確認面の標高は23.4～23.7mを測る。延伸方向は北東方向から南西方向で、北東側と南西側は調査区外に延びている。検出部分の長さは8.08m、幅は0.28～0.54mで、確認面からの深さは0.05～0.13mを測る。

覆土は暗灰褐色土の単層で、黒色スコリアを多量含む、砂質土である。

遺物は出土していない。



第376図 8区・9区・調整池②区K29号溝状遺構 [1/60]

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

(4) 硬化面

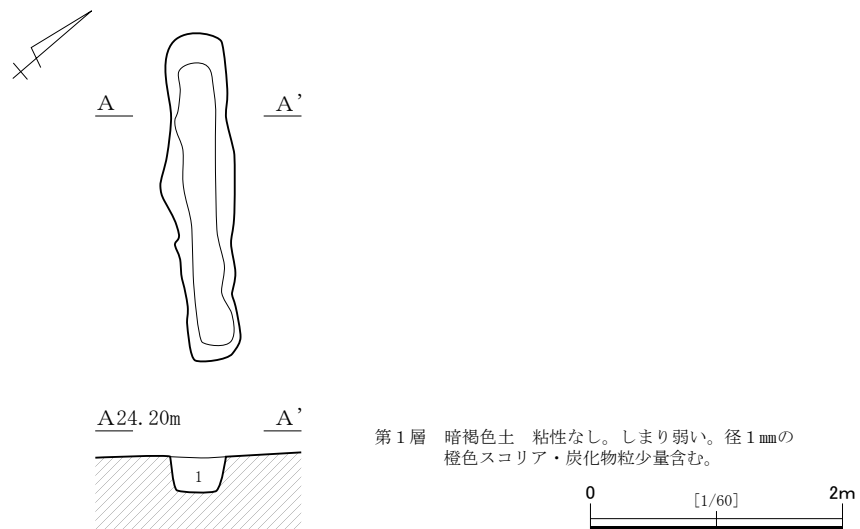
K 1号硬化面 (第379図)

V 13・14、W 13グリッドで検出された。確認面は標高22.5～22.9mを測る。北側でK 4号硬化面を切っている。不整形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-65°-Eで、長径12.88m、短径0.31～2.91mを測る。確認面からの深さは0.06mを測る。

覆土は非常に強く硬化した茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。



第377図 8区・9区・調整池②区K30号溝状遺構 [1/60]

K 2号硬化面（第380～382図、図版85－1・167・168）

X・Y 9 グリッドで検出された。確認面は標高22.1～23.5 mを測る。不整形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸14.49 m、幅0.66～2.84 mを測る。確認面からの深さは0.10～0.34 mを測る。北西側と南東側は上面が削平され他と考えられ掘り込みは消えている。西側にK 18号溝状遺構が並行して確認されており、硬化面としたが、溝状遺構に付随した道状遺構の可能性が考えられる。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土・暗茶褐色土の7層で構成され、橙色スコリアと黒色スコリアを含む。覆土は硬化した層が3面確認でき、長期間使用されていたものと考えられる。

遺物は、瀬戸・美濃の陶器の皿2点(27.2 g)、鉄製品の釘1点(5.9 g)の径2点(23.1 g)が出土している。図化したのは、以下の2点である。

第382図1は瀬戸・美濃の陶器の灰釉皿の底部である。胎土は浅黄橙色で、淡緑色の灰釉が施されている。高台は無釉。18世紀の製品と考えられる。

第382図2は鉄製の釘である。両端部が欠損し、全体に錆が著しい。

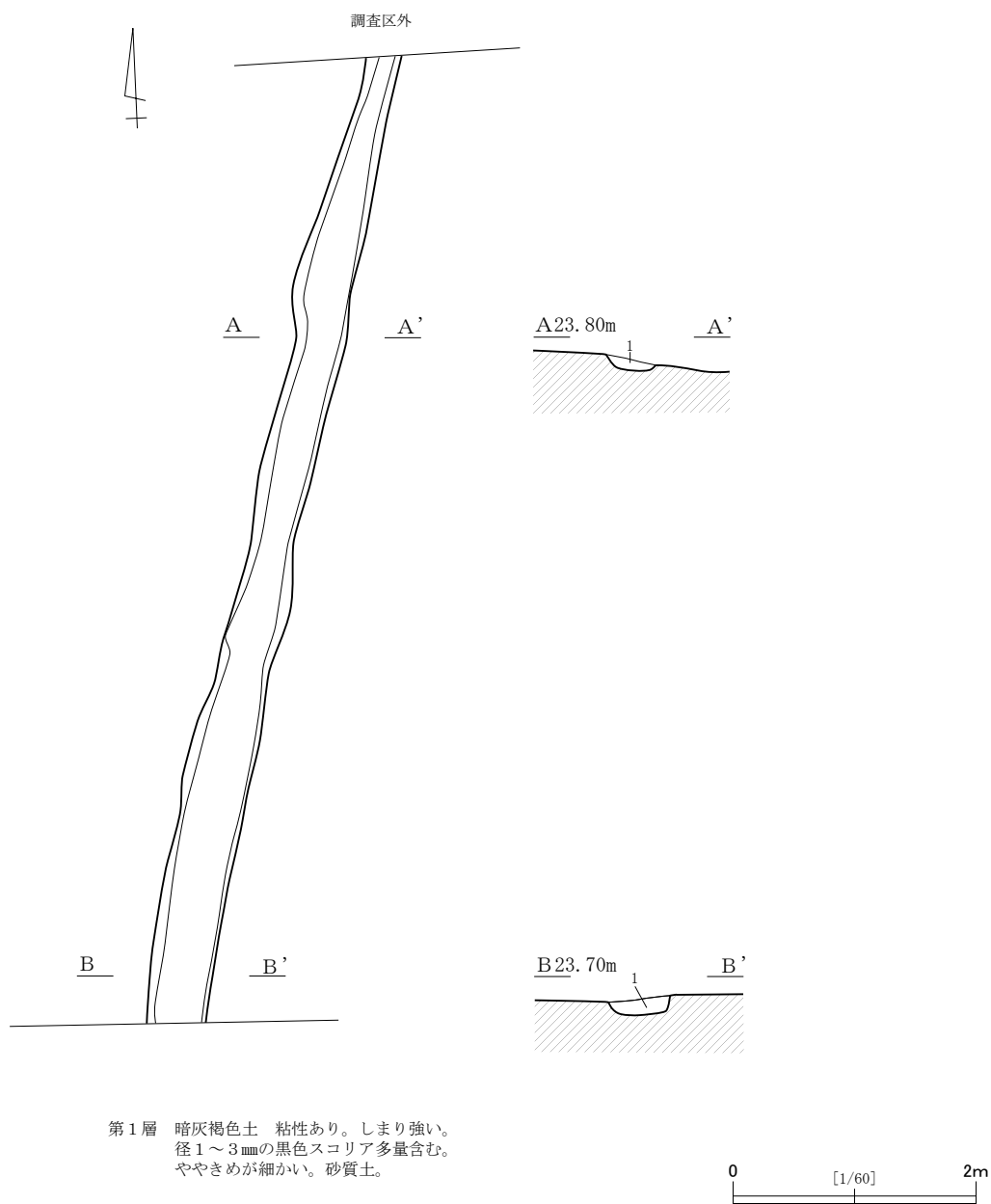
遺構の時期は、確認面及び出土している遺物から、K 18号溝状遺構と同様に18世紀以降と考えられる。

K 4号硬化面（第383図、図版85－2）

V・W 13 グリッドで検出された。確認面は標高22.1～22.8 mを測る。北側をK 1号硬化面に切られている。北東方向から南西方向に延びる2ヶ所の硬化面が確認され、同一の遺構として調査を行った。上面が削平されており、両端部分では掘り込みが消えている。南東は攪乱に切られている。不整形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-37°-Eで、残存長軸9.54 m、短軸0.29～0.59 mを測る。確認面からの深さは0.10 mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。しまりが非常に強い。

遺物は出土していない。



第378図 8区・9区・調整池②区K31号溝状遺構 [1/60]

遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

(5) 耕作址

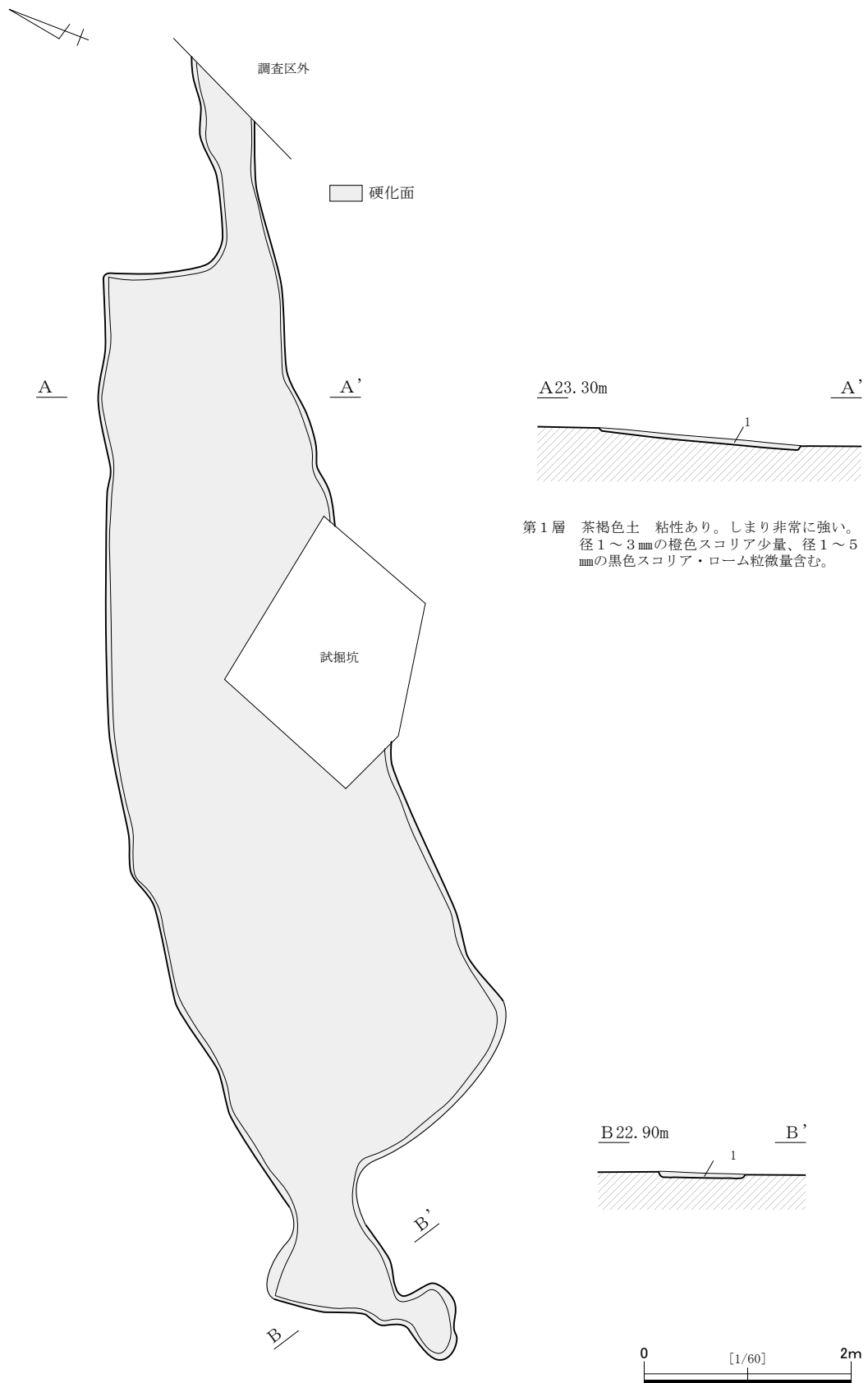
K 1号耕作址 (第384図、図版86-1)

W・X 15グリッドにまたがり検出された。確認面の標高は21.1～21.4m前後を測る。南北方向約9.12m、東西方向約7.16mの範囲に展開し、深さは0.02～0.11mを測る。

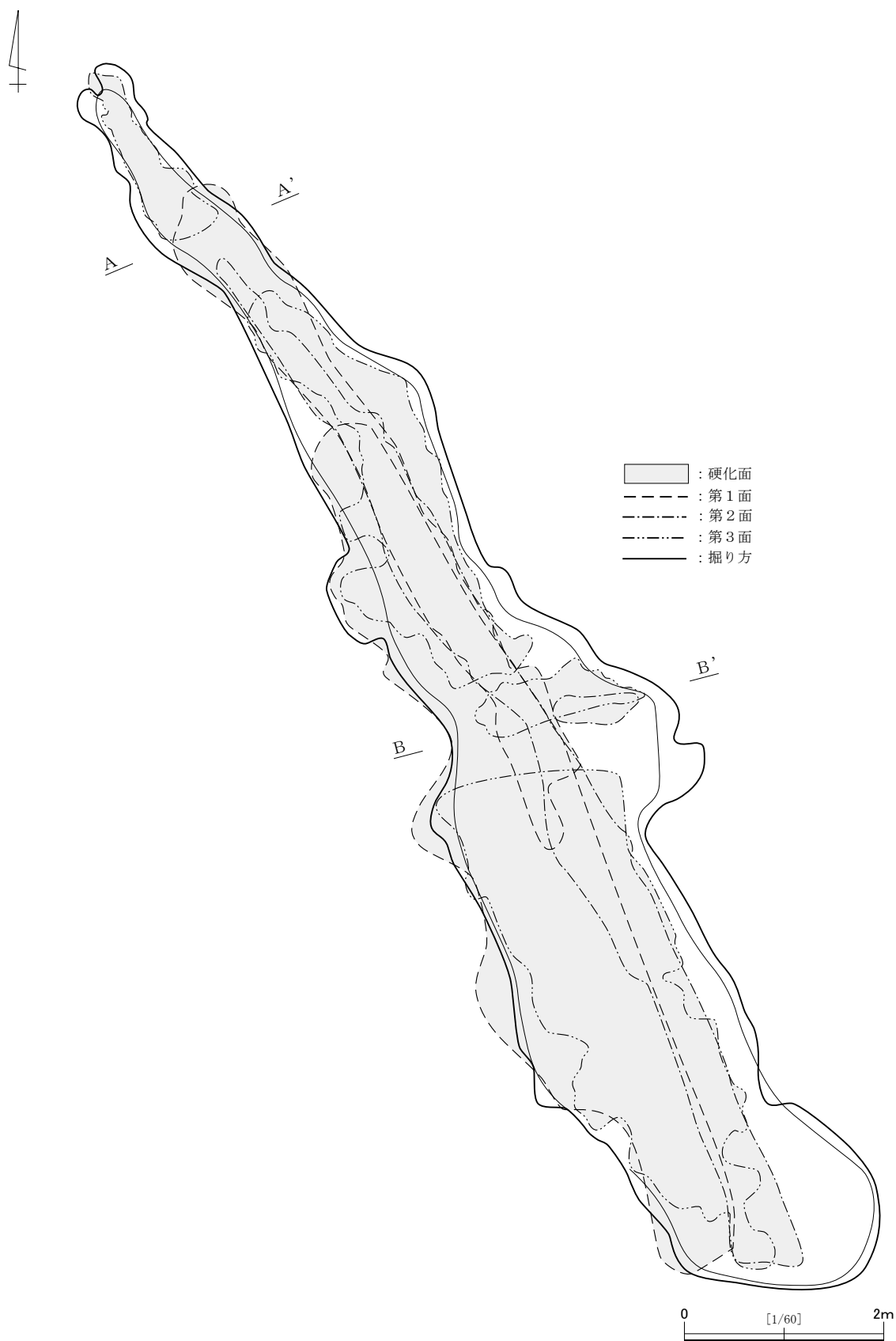
覆土は灰褐色土の単層で、宝永スコリアを中量含む層である。

遺物は出土していない。

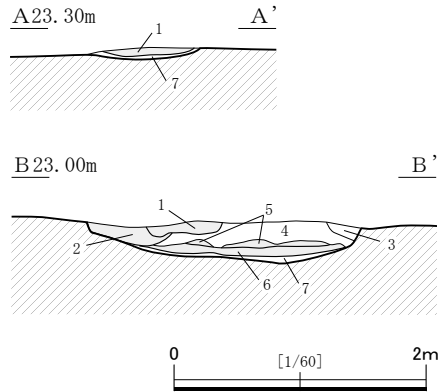
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。



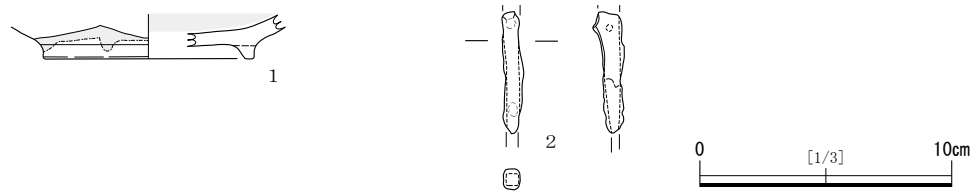
第379図 8区・9区・調整池②区K1号硬化面 [1/60]



第380図 8区・9区・調整池②区K2号硬化面(1) [1/60]



第381図 8区・9区・調整池②区K2号硬化面(2) [1/60]



第382図 8区・9区・調整池②区K2号硬化面出土遺物 [1/3]

第94表 8区・9区・調整池②区K2号硬化面出土遺物観察表 [第382図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	灰釉皿	陶器	—	[8.0]	(1.8)	18.7	底部1/5	瀬戸・美濃	18世紀	胎土 浅黄橙色、密 焼成 良好 釉薬 淡緑色灰釉 備考 高台無釉
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
2	釘	鉄	(4.7)	0.7	0.9	5.9	残存度 両端部欠損	備考	全体に錆が著しい。	

K2号耕作址（第385図）

U12・13、V12・13グリッドにまたがり検出された。確認面の標高は23.3～23.5m前後を測る。南北方向約11.02m、東西方向約5.96mの範囲で、長さ0.28～3.27m、幅0.19～0.84m、深さ0.09～0.21mの規模の畝間が集中して展開していた。

覆土は灰褐色土の単層で、宝永スコリアを中量含む層である。

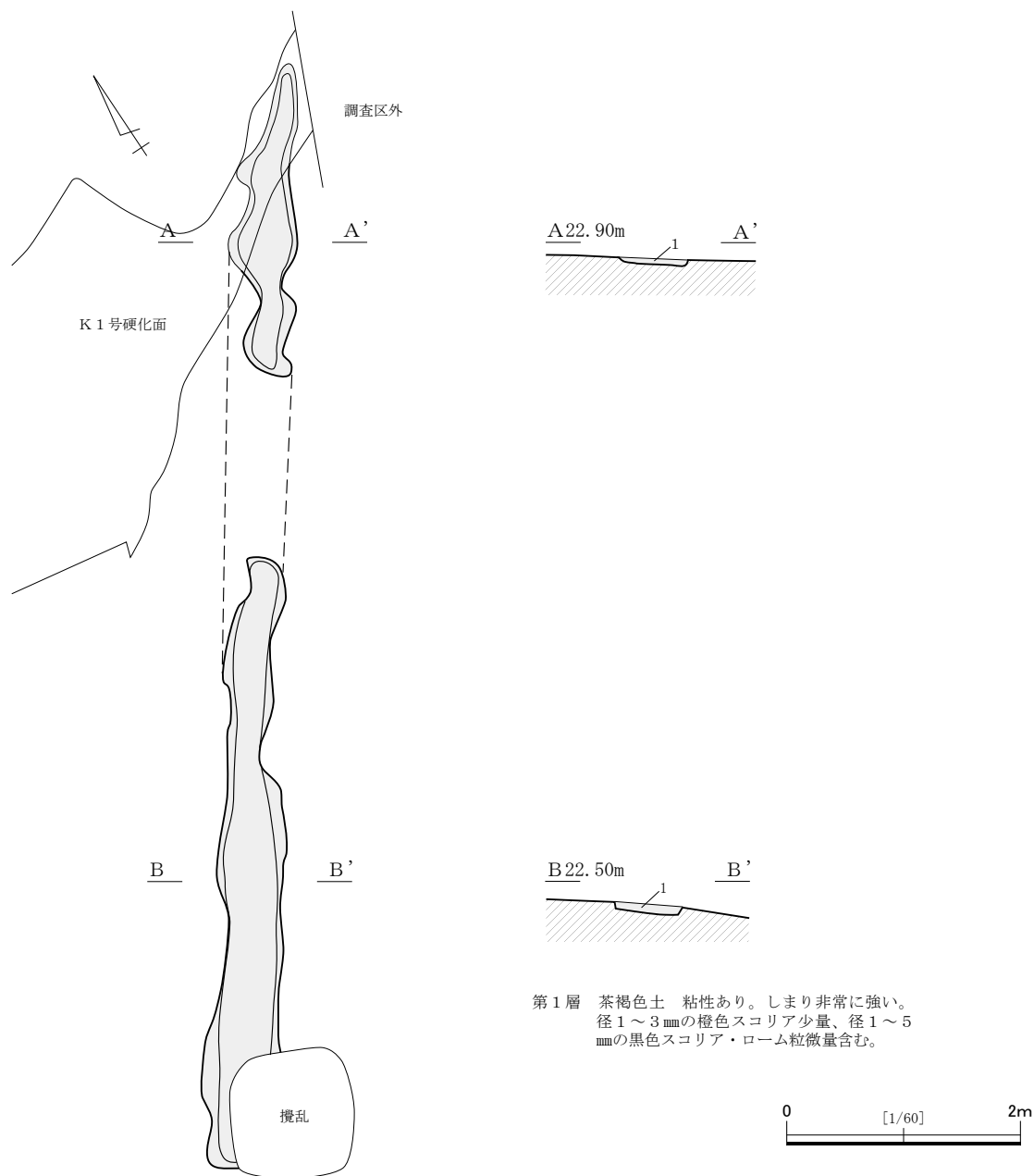
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から18世紀以降と考えられる。

(6) 井戸址

K1号井戸址（第386・387図、第95表、図版86－2・168－1）

V10グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。プランは楕円形を呈する。検出された規模は長軸0.92m、短軸0.84m、深さ1.72mを測る。大量の湧水で底面は判然としないが、礫検出面の下が底面と想定される。約1.0m掘削したあたりから、緩く広がっていき、確認面から1.72mで、径0.08～0.32mの自然礫10点が確認されている。礫はいずれも、井戸が埋まっていく過程で混入した



第383図 8区・9区・調整池②区K 4号硬化面 [1/60]

ものと考えられる。

覆土は、明茶褐色土と茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。
第3層には炭化物粒を微量含む。

遺物は、図化した銅製品の金具1点(0.6g)である。

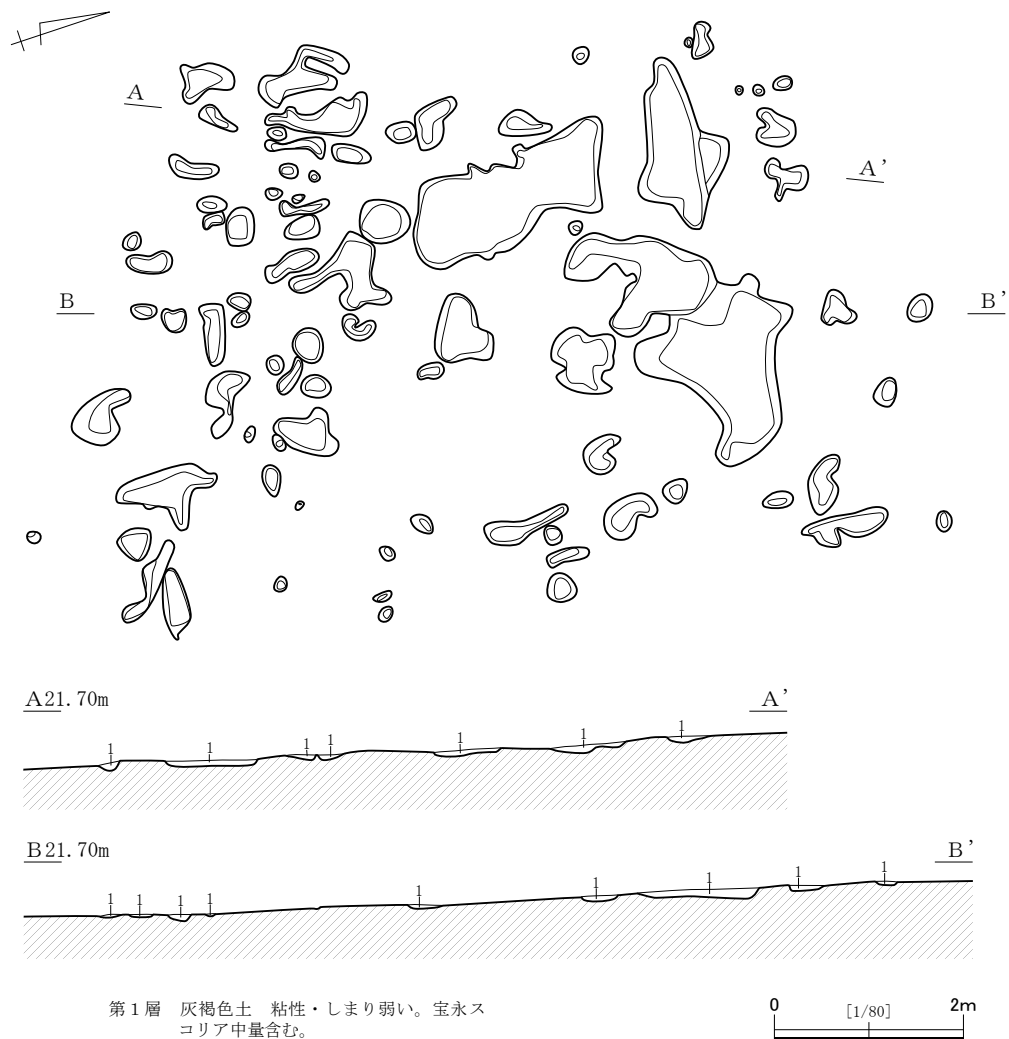
第387図1は銅製品の金具である。円筒状の製品の1/2程度が残っている。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

(7) 土 坑

K 1 号土坑 (第388図)

U 15 グリッドで検出された。確認面は標高 23.5 m を測る。K 26 号溝状遺構を切っている。南側が調



第384図 8区・9区・調整池②区K1号耕作址 [1/80]

査区外に延びている。歪んだ長楕円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長軸方位は $N-12^{\circ}-E$ で、残存長径1.01m、短径0.52mを測る。確認面からの深さは0.22mを測る。

覆土は暗灰褐色土の単層で黒色スコリアを多量に含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

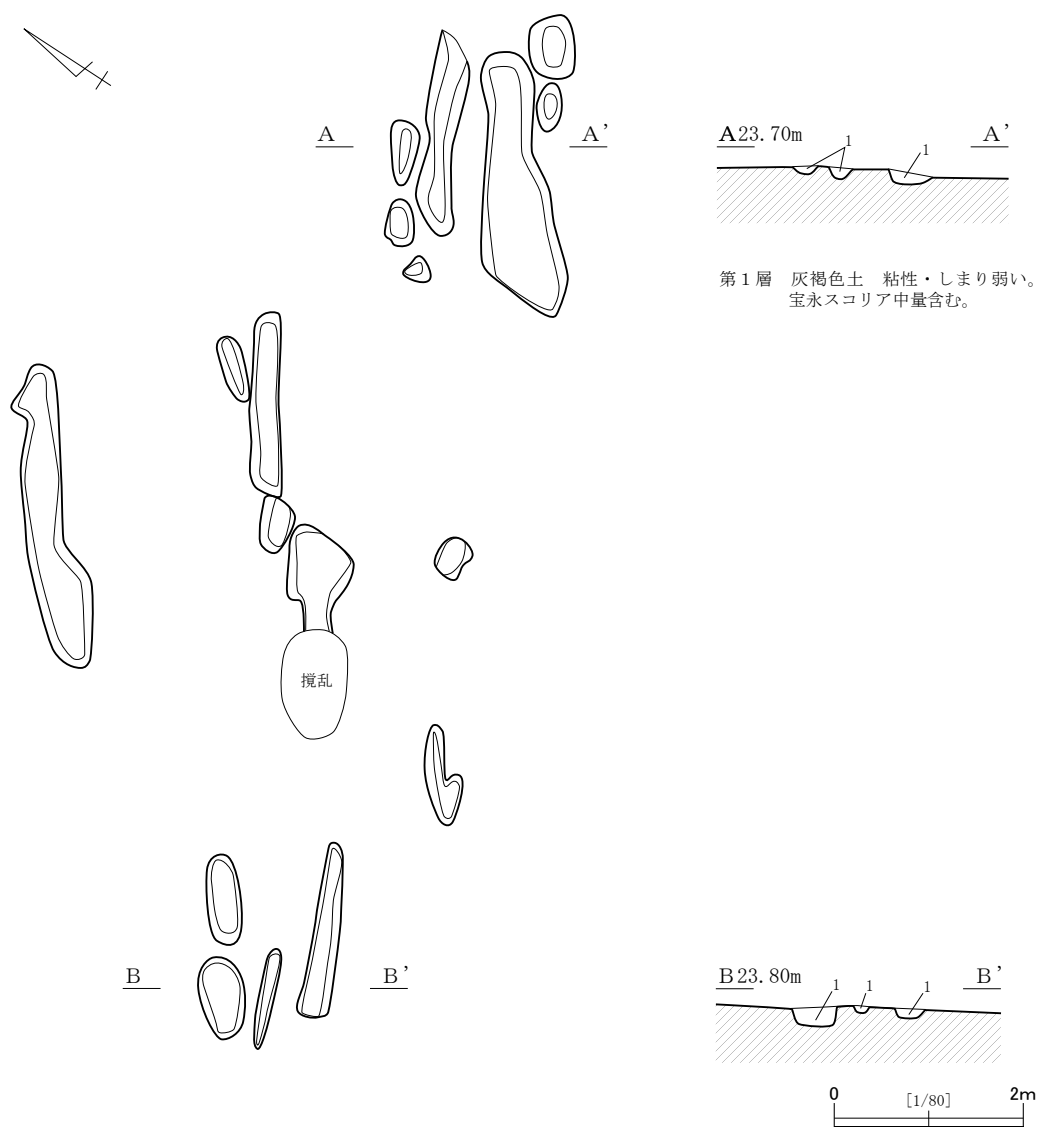
K2号土坑（第388図、図版87-1）

V15グリッドで検出された。確認面は標高22.2mを測る。楕円形のプランを呈し、碗型の掘り込みを持つ。長径0.86m、短径0.54mを測る。確認面からの深さは0.22mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、黒色スコリアを少量含む。覆土の上層から自然礫が11点確認されているが、流れ込みによるものと考えられる。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。



第385図 8区・9区・調整池②区K2号耕作址 [1/80]

K3号土坑（第388図、図版87-2）

U・V10グリッドで検出された。確認面は標高24.1mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱形の掘り込みを持つ。長軸方位はN-41°Eで、長軸1.46m、短軸0.54mを測る。確認面からの深さは1.06mを測る。西側がオーバーハングしている。

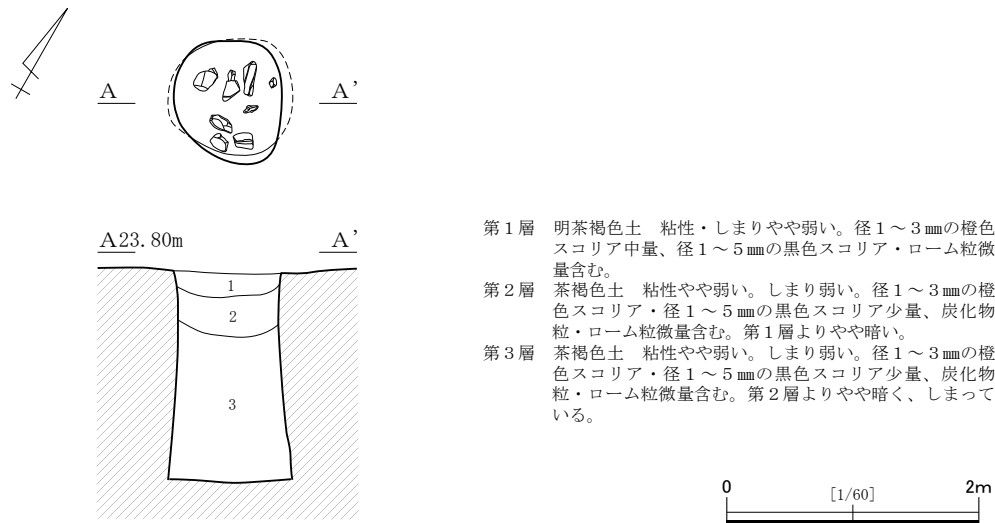
覆土は褐色土と暗褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

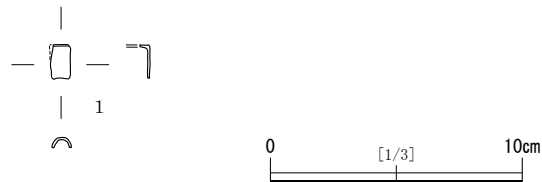
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K4号土坑（第388図、図版87-3）

V10グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。K51土坑を切っている。K42号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-36°-Eで、長軸3.34m、短軸1.16mを測る。確認面からの深さは0.44mを測る。



第386図 8区・9区・調整池②区K1号井戸 [1/60]



第387図 8区・9区・調整池②区K1号井戸出土遺物 [1/3]

第95表 8区・9区・調整池②区K1号井戸址出土遺物観察表 [第387図]

No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	金具	銅	1.4	0.4	0.2	0.6	1/2程度	備考 円筒状の製品、詳細については不明

覆土は茶褐色土・褐色土・明褐色土の7層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層と第6層に炭化物粒を含む。

遺物は、器種不明の土製品1点(52.5g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

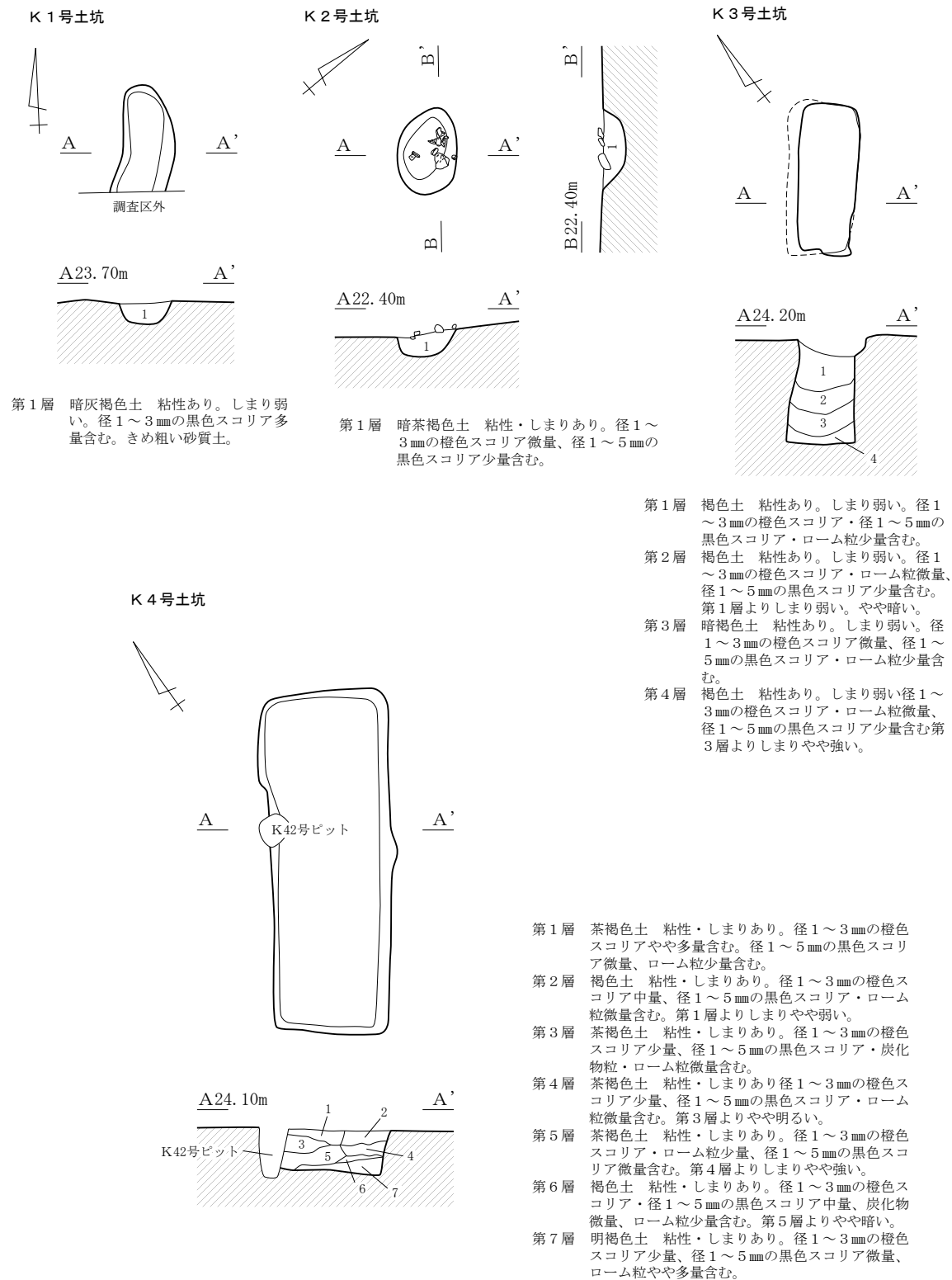
K5号土坑(第389図、図版87-4)

V10グリッドで検出された。確認面は標高24.0mを測る。東側をK41号ピット、西側をK11号溝状遺構に切られている。不整形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つと考えられる。残存長軸1.28m、短軸1.14mを測る。確認面からの深さは0.14mを測る。

覆土は褐色土・暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリアと黒色スコリアを含む。第1層には炭化物粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。



第388図 8区・9区・調整池②区K1～4号土坑 [1/60]

K 6号土坑（第389図）

U 10 グリッドで検出された。確認面は標高 24.0 m を測る。円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長径 1.28 m、短径 1.24 m を測る。確認面からの深さは 0.51 m を測る。

覆土は暗茶褐色土・茶褐色土の 4 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 18 世紀以降と考えられる。

K 7号土坑（第389図、図版 87－6）

V－9 グリッドで検出された。確認面は標高 23.9 m を測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位は N－45°－E で、長軸 1.08 m、短軸 0.78 m を測る。確認面からの深さは 0.24 m を測る。

覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗黄褐色土の 4 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第 4 層には明茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 18 世紀以降と考えられる。

K 8号土坑（第389図、図版 87－7）

W 9 グリッドで検出された。確認面は標高 23.8 m を測る。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位は N－32°－E で、長軸 1.29 m、短軸 0.98 m を測る。確認面からの深さは 0.15 m を測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 18 世紀以降と考えられる。

K 9号土坑（第390図、図版 87－8）

W 9 グリッドで検出された。確認面は標高 23.6 m を測る。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位は N－48°－W で、長軸 1.12 m、短軸 0.96 m を測る。確認面からの深さは 0.25 m を測る。

覆土は暗茶褐色土と茶褐色土の 2 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第 1 層には炭化物粒を微量含む。

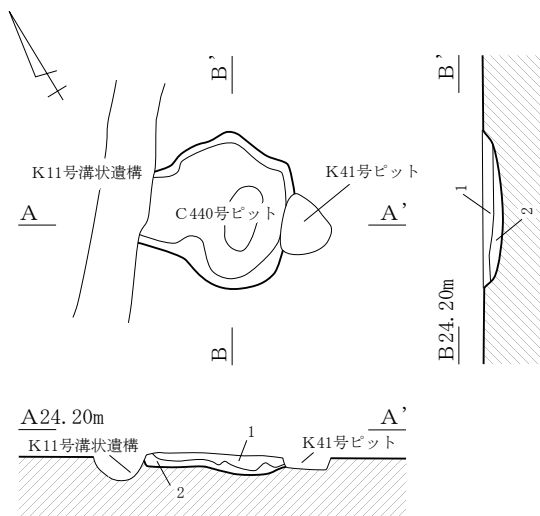
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 18 世紀以降と考えられる。

K 10号土坑（第390図、図版 88－1）

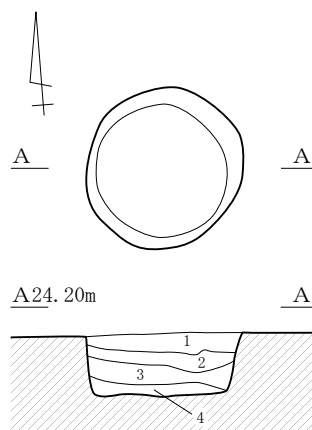
W 8 グリッドで検出された。確認面は標高 24.1 m を測る。隅丸長方形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長軸方位は N－54°－W で、長軸 0.84 m、短軸 0.55 m を測る。確認面からの深さは 0.16 m を測る。

K 5号土坑



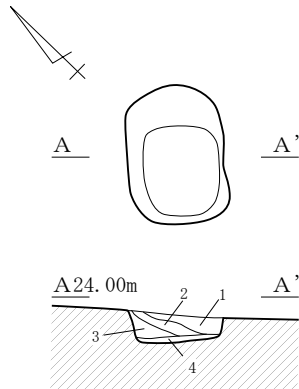
- 第1層 褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒・ローム粒微量含む。
- 第2層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。褐色土ブロック微量含む。ローム主体。

K 6号土坑



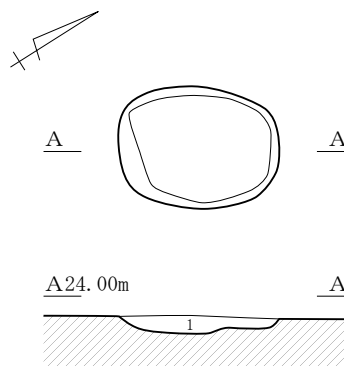
- 第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。第1層よりやや明るい。
- 第3層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第4層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。第3層よりしまりに欠ける。

K 7号土坑

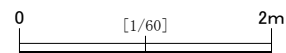


- 第1層 明茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第2層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第3層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。
- 第4層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。明茶褐色土ブロック少量含む。ローム主体。

K 8号土坑



- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量含む。



第389図 8区・9区・調整池②区K5～8号土坑 [1/60]

覆土は暗灰褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 11号土坑（第390図、図版88－2）

W 8 グリッドで検出された。確認面は標高24.3 mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－20°－Eで、長軸0.98 m、短軸0.46 mを測る。確認面からの深さは0.12 mを測る。

覆土は暗灰褐色土の単層で、橙色スコリアと黒色スコリアを含む。宝永スコリアをやや多量に含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 12号土坑（第390図）

W 8 グリッドで検出された。確認面は標高23.9 mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。東側は上面が削平されて掘り込みが消えている。長軸方位はN－46°－Wで、残存長軸0.76 m、短軸0.54 mを測る。確認面からの深さは0.12 mを測る。

覆土は暗灰褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。宝永スコリアをやや多量に含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 13号土坑（第390図、図版88－3）

X 9 グリッドで検出された。確認面は標高23.6 mを測る。歪んだ楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.54 m、短径1.09 mを測る。確認面からの深さは0.17 mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 14号土坑（第390図）

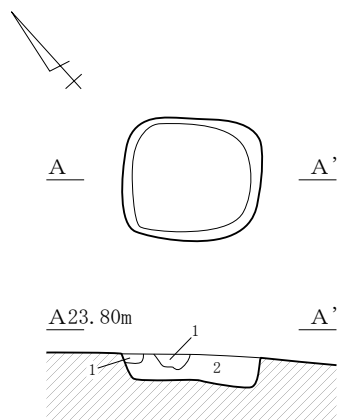
W 8・9 グリッドで検出された。確認面は標高24.0 mを測る。北側をK 242号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－45°－Eで、残存長軸1.98 m、短軸0.44 mを測る。確認面からの深さは0.11 mを測る。

覆土は茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には暗褐色土のブロック、第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

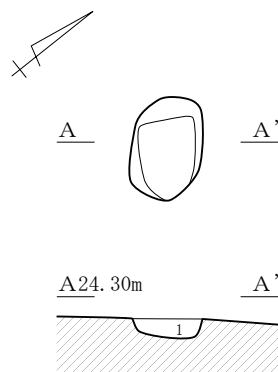
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 9号土坑



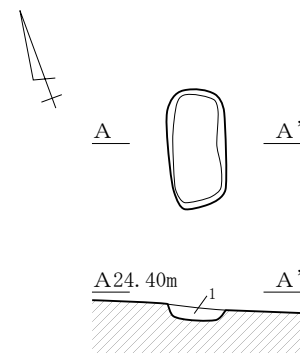
第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒微量、ローム粒少量含む。
第2層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。第1層よりしまり強い。

K10号土坑



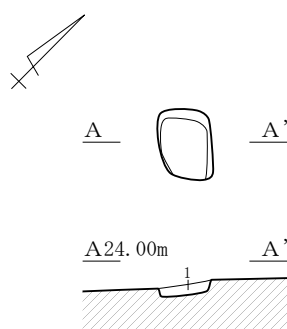
第1層 暗灰褐色土 粘性・しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア、ローム粒微量、径1～5mmの黒色スコリアやや多量含む。

K11号土坑



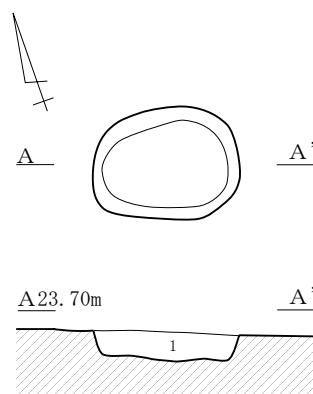
第1層 暗灰褐色土 粘性・しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア中量、宝永スコリアやや多量、ローム粒少量含む。

K12号土坑



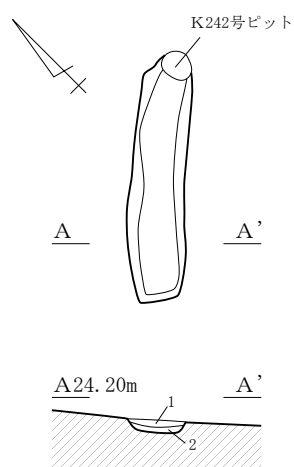
第1層 暗灰褐色土 粘性・しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒微量、径1～5mmの黒色スコリア中量、宝永スコリアやや多量含む。

K13号土坑

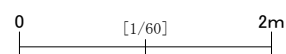


第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒微量、ローム粒少量含む。

K14号土坑



第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・暗褐色土ブロック少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
第2層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。茶褐色土ブロック少量含む。ローム主体。



第390図 8区・9区・調整池②区 K 9～14号土坑 [1/60]

K 15号土坑（第391図、図版88－4）

W 8 グリッドで検出された。確認面は標高24.0 mを測る。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－48°－Eで、長軸0.63 m、短軸0.43 mを測る。確認面からの深さは0.17 mを測る。

覆土は明茶褐色土と暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には暗茶褐色土をブロックで微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 16号土坑（第391図）

W・X 9 グリッドで検出された。確認面は標高23.5 mを測る。中央をK 13号土坑に切られている。長楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－20°－Eで、長径1.53 m、残存短径1.08 mを測る。確認面からの深さは0.23 mを測る。

覆土は茶褐色土と暗茶褐色土の2層からなり、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層とも炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 17号土坑（第391図、図版88－5）

X 8 グリッドで検出された。確認面は標高23.9 mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－45°－Eで、長軸0.84 m、短軸0.51 mを測る。確認面からの深さは0.18 mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 18号土坑（第391図、図版88－6）

X 8 グリッドで検出された。確認面は標高23.9 mを測る。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸0.87 m、短軸0.76 mを測る。確認面からの深さは0.58 mを測る。

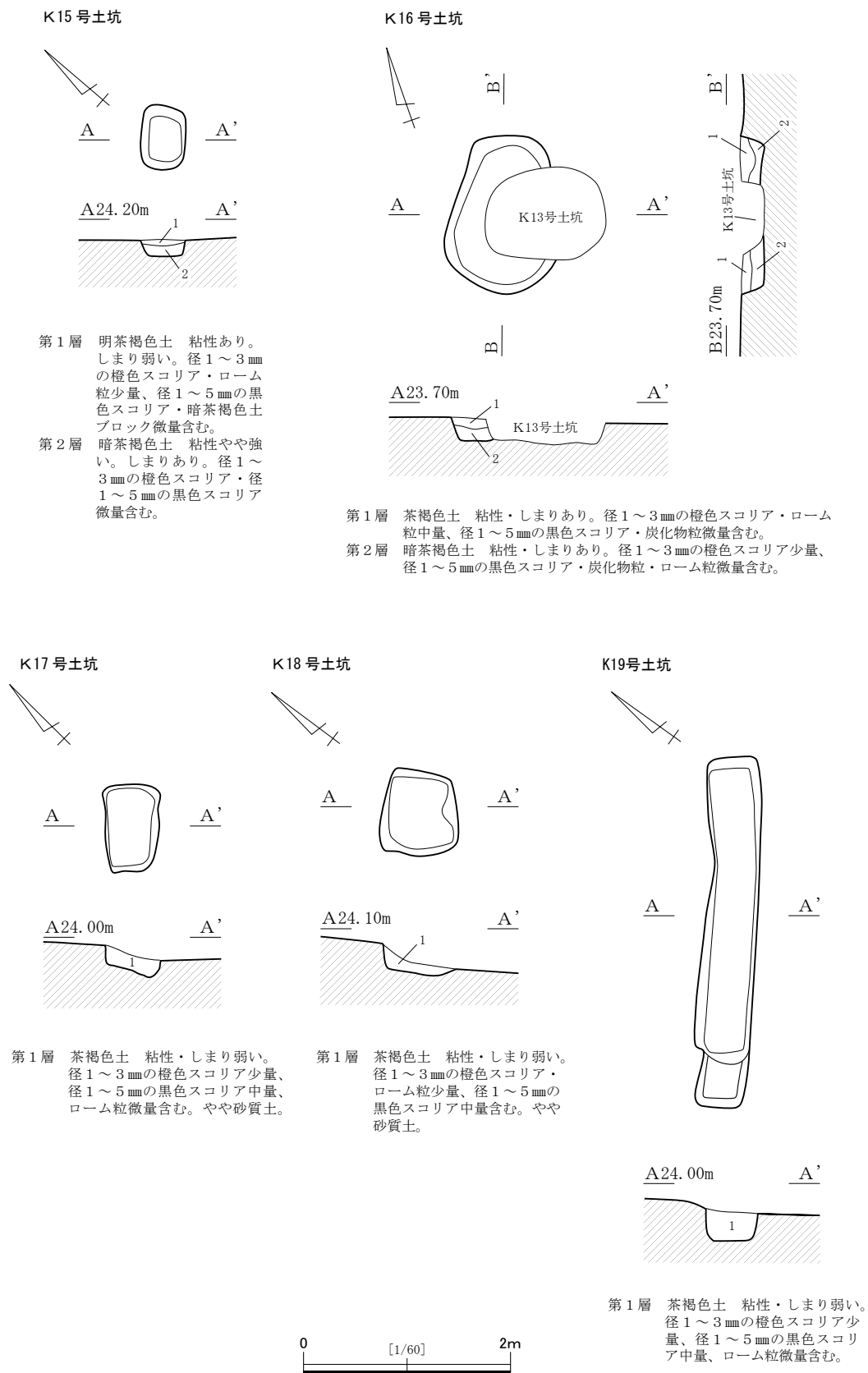
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 19号土坑（第391図、図版88－7・89－1）

X 7・8 グリッドで検出された。確認面は標高23.8 mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－57°－Eで、長軸3.39 m、短軸0.46 mを測る。確認面からの深さは0.30 mを測る。西側には幅0.30 m、奥行き0.33 m、深さ0.16 mの段差が確認出来る。



第391図 8区・9区・調整池②区K15～19号土坑 [1/60]

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア少量・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 20号土坑（第392図）

X 8 グリッドで検出された。確認面は標高23.8 mを測る。南側をK 19号土坑に切られている。隅丸長方形を呈し、皿状の掘り込みを持つと考えられる。長軸0.47 m、残存短軸0.15 mを測る。確認面からの深さは0.10 mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア性・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 21号土坑（第392図、図版88－8）

V 10 グリッドで検出された。確認面は標高23.8 mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－59°－Wで、長軸1.06 m、短軸0.59 mを測る。確認面からの深さは0.12 mを測る。

覆土は明茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。暗茶褐色土のブロックを少量、炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 22号土坑（第392図）

V 10 グリッドで検出された。確認面は標高23.6 mを測る。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸0.64 m、短軸0.63 mを測る。確認面からの深さは0.25 mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

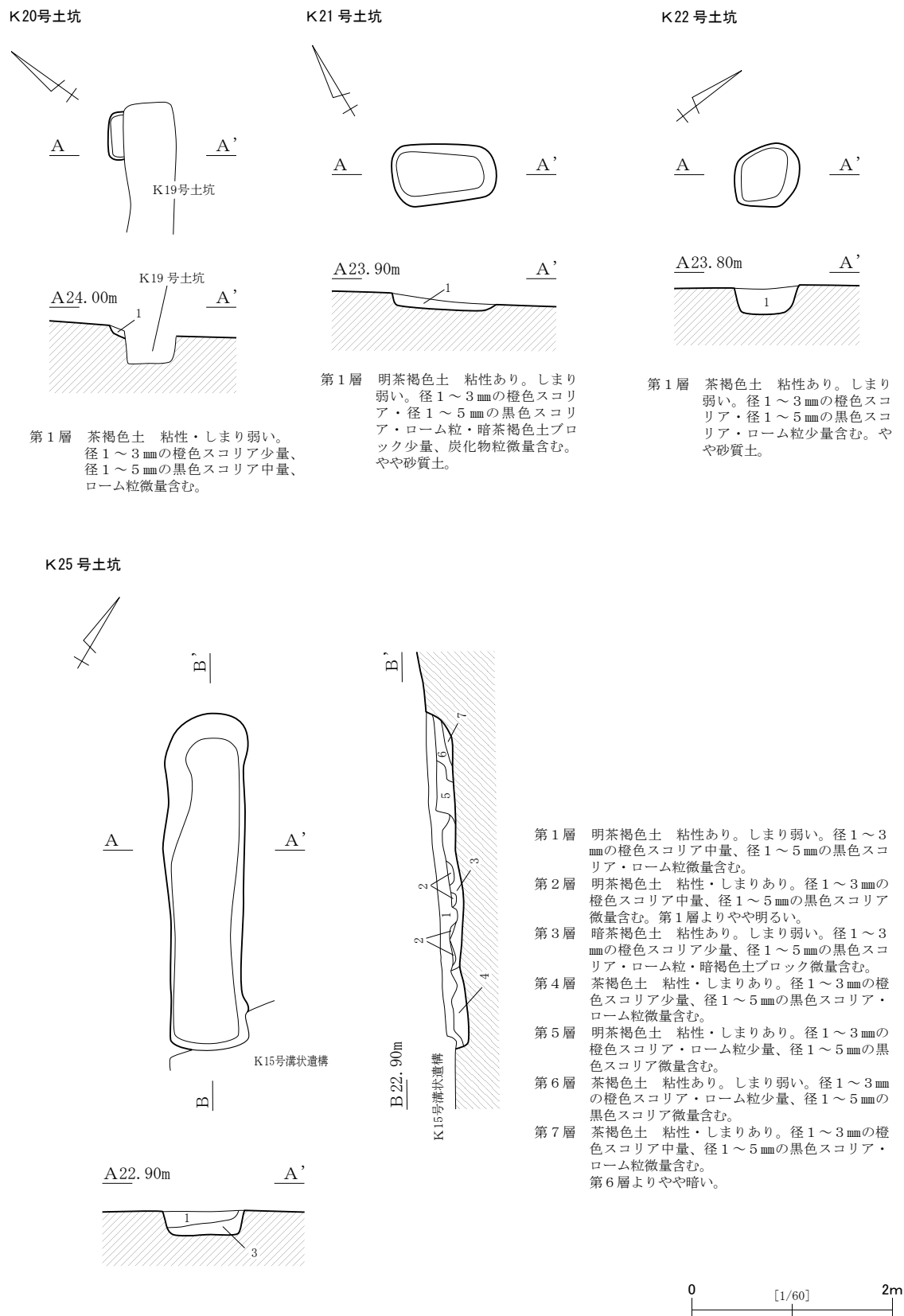
K 25号土坑（第392図、図版89－2）

Y 8・9 グリッドで検出された。確認面は標高22.6 mを測る。東側をK 15号溝状遺構に切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－30°－Wで、残存長軸3.38 m、短軸0.73 mを測る。確認面からの深さは0.24 mを測る。

覆土は明茶褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土の7層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層に暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。



第392図 8区・9区・調整池②区K20～22・25号土坑 [1/60]

K 26号土坑（第393図、図版89－3）

Y 7 グリッドで検出された。確認面は標高23.4 mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－76°－Eで、長軸1.90 m、短軸0.86 mを測る。確認面からの深さは0.34 mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層に炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 27号土坑（第393図、図版89－4）

U 13 グリッドで検出された。確認面は標高23.6 mを測る。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸1.03 m、短軸0.98 mを測る。確認面からの深さは0.13 mを測る。

覆土は褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、肥前の陶器皿1点(3.2 g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土・出土遺物及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 28号土坑（第393図）

Y 9 グリッドで検出された。確認面は標高22.8 mを測る。東側をK 18号溝状遺構に切られている。楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つと考えられる。残存長径2.13 m、残存短径2.10 mを測る。確認面からの深さは0.28 mを測る。

覆土は明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2・3層に暗茶褐色土のブロック、第3層に炭化物粒を含む。

遺物は、肥前の磁器碗1点(6.0 g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土・出土遺物及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 29号土坑（第394図）

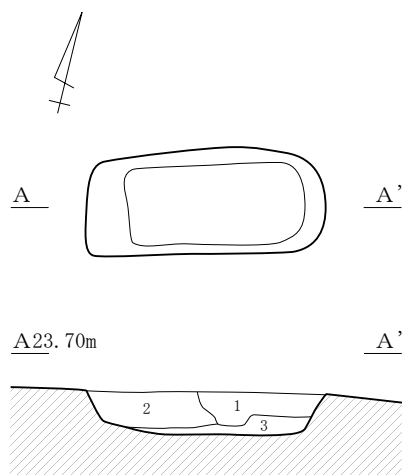
X 9 グリッドで検出された。確認面は標高23.0 mを測る。南西側をK 227号ピットに切られている。不整形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。残存長軸1.53 m、短軸0.74 mを測る。確認面からの深さは0.25 mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・暗褐色土・明茶褐色土の6層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層に炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

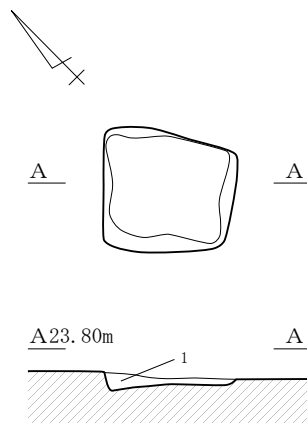
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K26号土坑



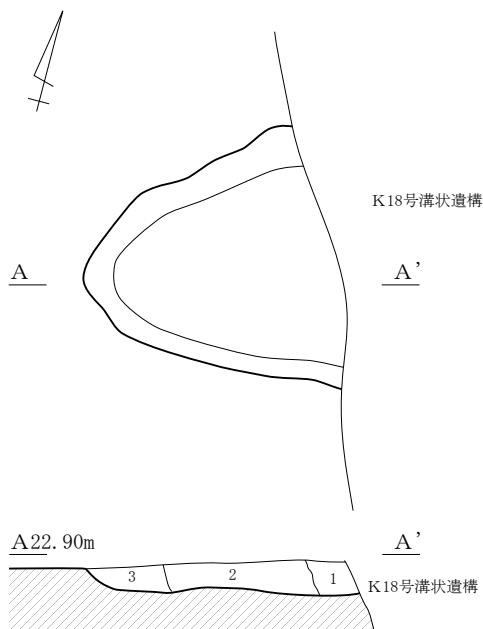
- 第1層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量、炭化物粒微量含む。やや砂質土。
- 第2層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量、炭化物粒・ローム粒微量含む。やや砂質土。第1層よりやや暗い。
- 第3層 暗茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。第2層よりしまりやや強い。

K27号土坑

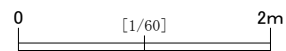


- 第1層 褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。

K28号土坑

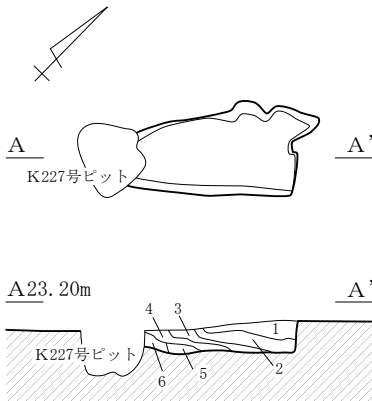


- 第1層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第2層 明茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒・暗茶褐色土ブロック少量含む。
- 第3層 明茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒・暗茶褐色土ブロック微量、ローム粒少量含む。



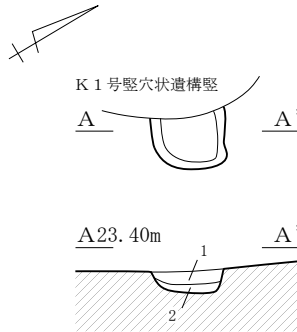
第393図 8区・9区・調整池②区K26～28号土坑 [1/60]

K29号土坑



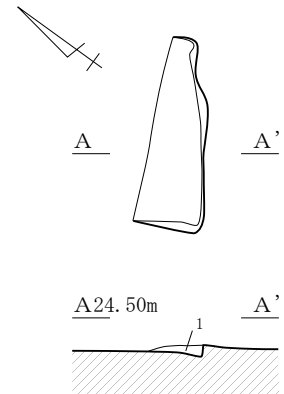
- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒微量、ローム粒少量含む。やや砂質土。
- 第2層 暗茶褐色土 粘性ややあり。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。やや砂質土。
- 第3層 暗茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。
- 第4層 暗褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第5層 明茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第6層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒中量含む。

K30号土坑



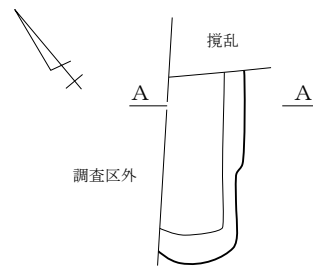
- 第1層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第2層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。第1層よりしまりやや強くやや暗い。

K31号土坑



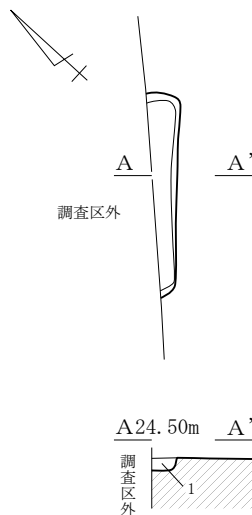
- 第1層 褐色土 粘性・しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒微量、径1～5mmの黒色スコリア中量含む。

K34号土坑

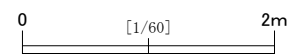


- 第1層 茶褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア少量、炭化物粒・ローム粒微量含む。やや砂質土。
- 第2層 茶褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒微量含む。やや砂質土。
- 第3層 茶褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。やや砂質土。
- 第4層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量含む。やや砂質土。
- 第5層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒中量含む。やや砂質土。

K32号土坑



- 第1層 褐色土 粘性・しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア中量含む。やや砂質土。



第394図 8区・9区・調整池②区K29～32・34号土坑 [1/60]

K 30号土坑（第394図）

X 8 グリッドで検出された。確認面は標高23.2 mを測る。西側をK 1号竪穴状遺構に切られている。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸0.58 m、残存短軸0.44 mを測る。確認面からの深さは0.18 mを測る。

覆土は明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 31号土坑（第394図）

U 9・10、V 9・10 グリッドで検出された。確認面は標高24.3 mを測る。北側の1/2程度の上面が削平され、掘り込みが消えている。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN－55°－Eで、残存長軸1.54 m、残存短軸0.54 mを測る。確認面からの深さは0.08 mを測る。

覆土は褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 32号土坑（第394図）

V 9 グリッドで検出された。確認面は標高24.3 mを測る。西側が調査区外に延びている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN－44°－Eで、長軸1.64 m、残存短軸0.28 mを測る。確認面からの深さは0.10 mを測る。

覆土は褐色土の単層で、橙色スコリアと黒色スコリアを含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 34号土坑（第394図）

V 9 グリッドで検出された。確認面は標高24.4 mを測る。北東側を攪乱に切られ、北西側は調査区外に延びている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN－43°－Eで、残存長軸1.56 m、残存短軸0.63 mを測る。確認面からの深さは0.46 mを測る。

覆土は茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層は炭化物粒を微量含む。

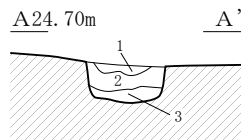
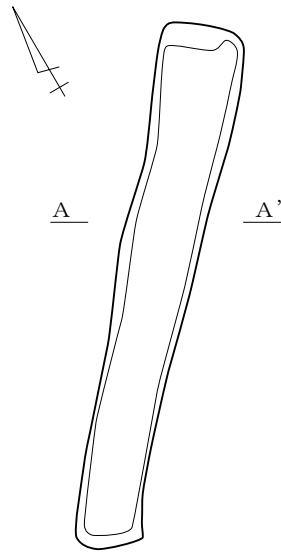
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 35号土坑（第395図、図版83－2・89－5）

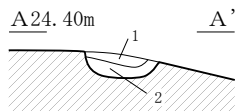
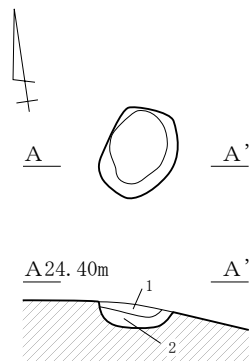
V・W 8・9 グリッドで検出された。確認面は標高24.5 mを測る。K 23・24号溝状遺構を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－42°－Eで、長軸4.25 m、短軸

K35号土坑



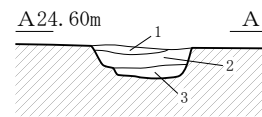
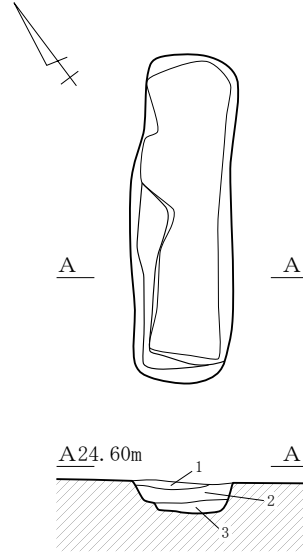
- 第1層 明灰褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。やや砂質土。
- 第2層 暗灰褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。やや砂質土。
- 第3層 灰褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。第2層より灰色味やや強い。やや砂質土。

K37号土坑



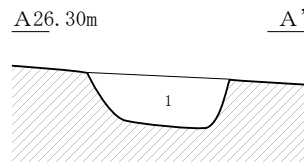
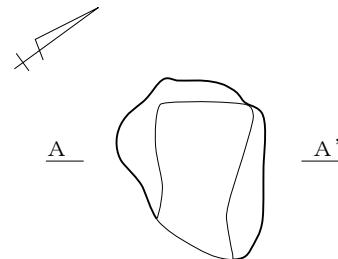
- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒微量含む。やや砂質土。
- 第2層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。第1層よりしまりやや弱い。やや砂質土。

K36号土坑

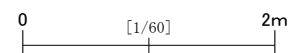


- 第1層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。やや砂質土。
- 第2層 暗灰褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。やや砂質土。
- 第3層 暗灰褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒微量、径1～5mmの黒色スコリア少量含む。やや砂質土。

K38号土坑



- 第1層 暗褐色土 粘性なし。しまり弱い。径1mmの橙色スコリア・径1～2mmの褐色スコリア・径1～3mmのローム粒を少量含む。



第395図 8区・9区・調整池②区K35～38号土坑 [1/60]

0.51 mを測る。確認面からの深さは0.34 mを測る。

覆土は明灰褐色土・暗灰褐色土・灰褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 36号土坑（第395図、図版83－2）

V 9グリッドで検出された。確認面は標高24.5 mを測る。K 24号溝状遺構を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－41°－Eで、長軸2.62 m、短軸0.73 mを測る。確認面からの深さは0.22 mを測る。北西側から南西側で、長さ1.46 m・奥行き0.08～0.23、深さ0.06の段差が確認出来る。

覆土は明茶褐色土と暗灰褐色の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 37号土坑（第395図）

V 9グリッドで検出された。確認面は標高24.3 mを測る。楕円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径0.73 m、短径0.56 mを測る。確認面からの深さは0.20 mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 38号土坑（第395図、図版90－1）

T 10グリッドで検出された。確認面は標高26.3 mを測る。南東側の上面が削平され、掘り込みが消えている。不整形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長軸1.45 m、短軸1.19 mを測る。確認面からの深さは0.76 mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリア・褐色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 39号土坑（第396図）

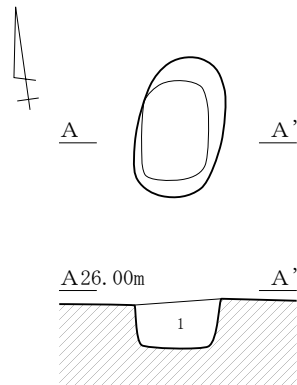
T 10・11グリッドで検出された。確認面は標高25.9 mを測る。長楕円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－10°－Eで、長径1.12 m、短径0.69 mを測る。確認面からの深さは0.48 mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリア・褐色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

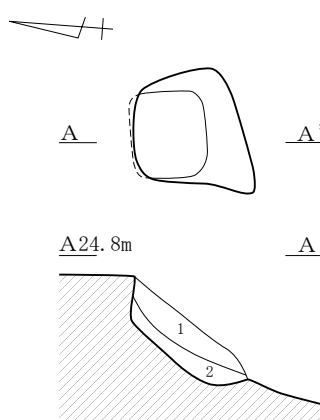
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K39 号土坑



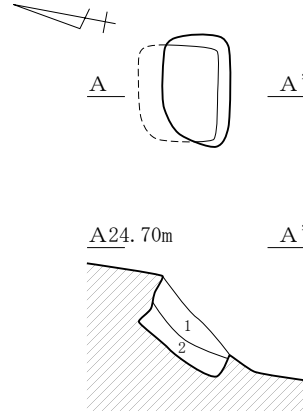
第1層 暗褐色土 粘性なし。しまり弱い。
径1mmの橙色スコリア・径1～2mm
の褐色スコリア・径1～3mmのロー
ム粒を少量含む。

K40 号土坑



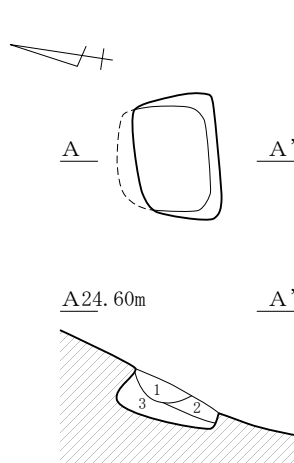
第1層 茶褐色土 粘性あり。しまり
弱い。径1～3mmの橙色スコ
リア・径1～5mmの黒色スコ
リア少量、ローム粒微量含む。
第2層 茶褐色土 粘性あり。しまり
弱い。径1～3mmの橙色スコ
リア・径1～5mmの黒色スコ
リア少量、ローム粒微量含む
第1層よりしまりやや強い。

K41 号土坑



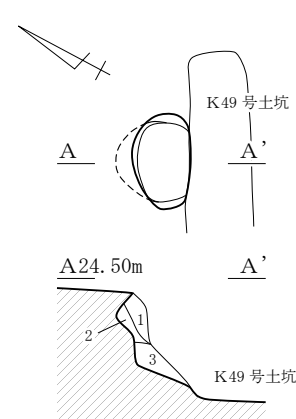
第1層 茶褐色土 粘性あり。しまり
弱い。径1～3mmの橙色スコ
リア・径1～5mmの黒色スコ
リア・ローム粒少量含む。
第2層 茶褐色土 粘性あり。しまり
弱い。ローム粒微量含む第1
層しまりやや強い。

K42 号土坑



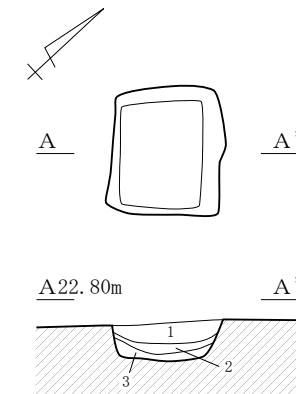
第1層 黄褐色土 粘性やや強い。しまり
あり。茶褐色土ブロック少量含む。
ローム主体。
第2層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。
径1～3mmの橙色スコリア・径1
～5mmの黒色スコリア少量、ロー
ム粒微量含む。
第3層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。
径1～3mmの橙色スコリア・径1
～5mmの黒色スコリア少量、ロー
ム粒微量含む。第2層よりしまり
やや強い。

K43 号土坑

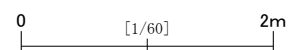


第1層 茶褐色土 粘性あり。しまり
弱い径1～3mmの橙色スコ
リア・径1～5mmの黒色
スコリア・ローム粒少量含
む。
第2層 暗黄褐色土 粘性やや強い。
しまりやや弱い。茶褐色土
ブロック微量含む。ローム
主体。
第3層 暗黄褐色土 粘性・しまり
やや強い。ローム主体。

K44 号土坑



第1層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや
弱い径1～3mmの橙色スコリア・
径1～5mmの黒色スコリア・ロー
ム粒少量、炭化物粒微量含むやや
砂質土。
第2層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。
径1～3mmの橙色スコリア・径1
～5mmの黒色スコリア少量、ロー
ム粒微量含む。やや砂質土。
第3層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや
弱い。径1～3mmの橙色スコ
リア・径1～5mmの黒色スコリア・
ローム粒少量含む。やや砂質土。



第396図 8区・9区・調整池②区K39～44号土坑 [1/60]

K 40号土坑（第396図、図版90－2）

X 7 グリッドで検出された。確認面は標高24.6mを測る。北側から南側の斜面にオーバーハングして掘削されている。南西隅が張り出した隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－87°－Eで、長軸0.99m、短軸0.96mを測る。確認面からの深さは0.86mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 41号土坑（第396図、図版90－2）

X 7 グリッドで検出された。確認面は標高24.5mを測る。北側から南側へ下がる斜面にオーバーハングして掘削されている。隅丸長方形のプランを呈し、袋状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－79°－Eで、長軸0.90m、短軸0.54mを測る。確認面からの深さは0.82mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 42号土坑（第396図、図版90－2）

X 7 グリッドで検出された。確認面は標高24.2mを測る。北側から南側へ下がる斜面にオーバーハングして掘削されている。隅丸長方形のプランを呈し、袋状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－80°－Eで、長軸1.00m、短軸0.66mを測る。確認面からの深さは0.49mを測る。

覆土は黄褐色土・茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には茶褐色土のブロック少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 43号土坑（第396図、図版89－1）

X 7 グリッドで検出された。確認面は標高24.4mを測る。K 49号土坑に切られている。北側から南側の斜面にオーバーハングしており南側は上面が削平され掘り込みが掘削されている。長楕円形のプランを呈し、袋状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－62°－Eで、長径0.76m、残存短径0.42mを測る。確認面からの深さは0.76mを測る。

覆土は茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 44号土坑（第396図、図版90－3）

Y・Z 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状

の掘り込みを持つ。長軸1.04m、短軸0.88mを測る。確認面からの深さは0.31mを測る。

覆土は茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層に炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 45号土坑（第397図、図版90－4）

Y 8グリッドで検出された。確認面は標高22.8mを測る。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸1.11m、短軸1.07mを測る。確認面からの深さは0.48mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量、第2層には炭化物粒を少量と焼土粒を中量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 46号土坑（第397図）

Z 8グリッドで検出された。確認面は標高22.5mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－62°－Wで、長軸1.26m、短軸0.88mを測る。確認面からの深さは0.22mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 47号土坑（第397図、図版90－5）

Y 9グリッドで検出された。確認面は標高22.2mを測る。東側を攪乱により切られている。K 15号溝状遺構を切っている。長楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－57°－Eで、残存長径1.21m、短径0.74mを測る。確認面からの深さは0.15mを測る。

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には暗褐色土のブロックを少量、第3層に暗茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

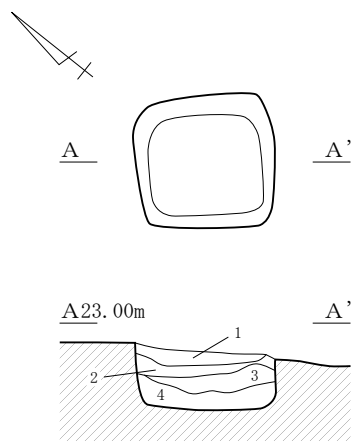
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 48号土坑（第397図）

X 8グリッドで検出された。確認面は標高24.1mを測る。北東から南西へ下がる斜面に位置し、南西側の上面が削平され、掘り込みが消えているが、西端で幅0.10m、高さ0.08mの立ち上がりが残る。隅丸長方形のプランを呈し、袋状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN－58°－Eで、残存長軸0.76m、短軸0.41mを測る。確認面からの深さは0.30mを測る。

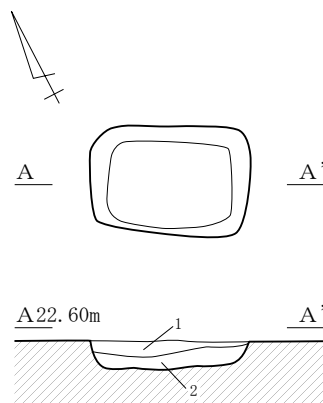
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

K45号土坑



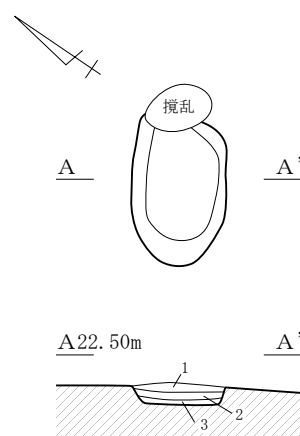
- 第1層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量、炭化物粒・ローム粒微量含む。やや砂質土。
- 第2層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒少量、焼土粒中量、ローム粒微量含む。やや砂質土。
- 第3層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量ローム粒微量含む。
- 第4層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。

K46号土坑



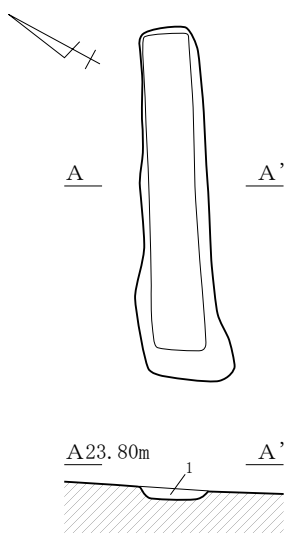
- 第1層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒微量含む。

K47号土坑



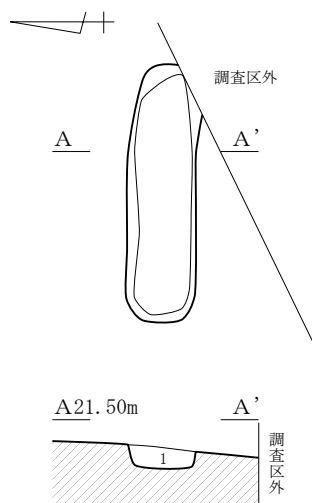
- 第1層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア中量、ローム粒微量含む。やや砂質土。
- 第2層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア・暗褐色土ブロック少量、ローム粒微量含む。やや砂質土。
- 第3層 暗褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・暗茶褐色土ブロック少量含む。

K49号土坑

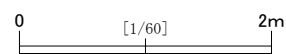


- 第1層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒微量含む。

K50号土坑

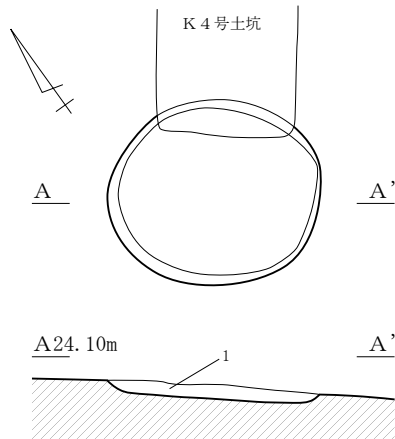


- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒少量含む。やや砂質土。



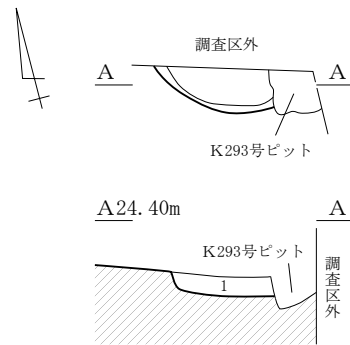
第397図 8区・9区・調整池②区K45～50号土坑 [1/60]

K51 号土坑



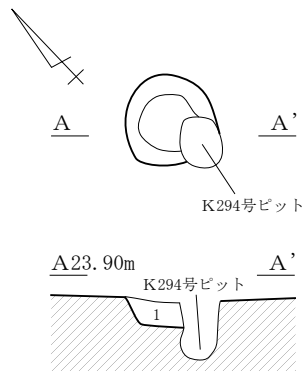
第1層 茶褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア・炭化物粒微量、ローム粒少量含む。

K52 号土坑



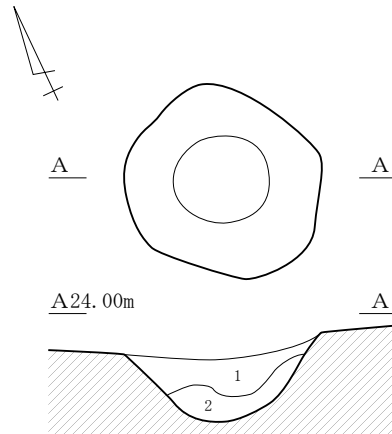
第1層 暗茶褐色土 粘性なし。しまり弱い。径1～2mmの橙色スコリア・径1mmの炭化物粒微量含む。ブロック状の茶褐色土をまだらに混入。

K53 号土坑

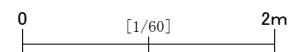


第1層 暗褐色土 粘性なし。しまり弱い。径1mmの橙色スコリア・径1～2mmの褐色スコリア・径1～3mmのローム粒を少量含む。

K54 号土坑



第1層 暗褐色土 粘性なし。しまり弱い。径1mmの橙色スコリア少量、径1～2mmの炭化物粒微量含む。
第2層 暗褐色土 粘性なし。しまり弱い。径1～2mmの橙色スコリア少量含む。ロームブロックをまだらに混入。



第398図 8区・9区・調整池②区K51～54号土坑 [1/60]

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 49号土坑（第397図、図版89－1）

X 7グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－55°－Eで、長径2.84m、短径が北東で0.50m、南西側で0.72mを測る。確認面からの深さは0.10mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 50号土坑（第397図）

Z 9グリッドで検出された。確認面は標高21.3mを測る。南東隅が調査区外に延びている。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN－89°－Eで、長軸2.06m、短軸0.54mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 51号土坑（第398図、図版90－6）

V 10グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径1.71m、短径1.47mを測る。確認面からの深さは0.11mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含み、炭化物粒を微量含む。

遺物は、鉄製品の釘1点（1.5g）が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 52号土坑（第398図）

T 12・13グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。北側が調査区外に延び、東側がK 293号ピットに切られている。楕円形のプランを呈し、碗型の掘り込みを持つと考えられる。残存長径0.96m、残存短径0.45mを測る。確認面からの深さは0.14mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリアを含む。炭化物粒を微量、茶褐色土をブロックを含む。

遺物は出土していない。

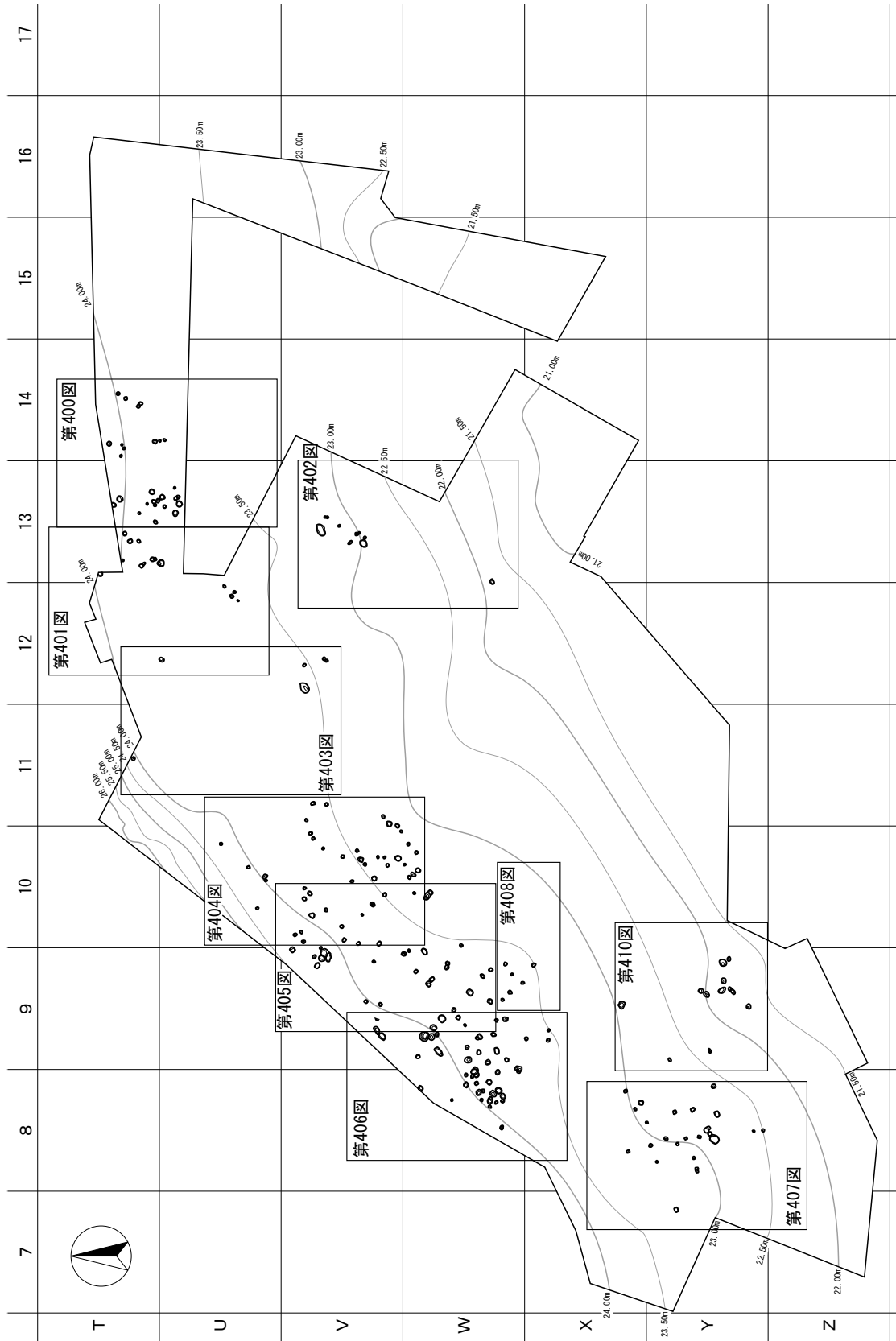
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

K 53号土坑（第398図、図版90－7）

T・U 12グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。南側をK 294号ピット切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸0.78m、短軸0.71mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリア・ローム粒を含む。橙色スコリアを少量含む。

遺物は出土していない。



第399図 8区・9区・調整池②区近世ピット全体図[1/500]

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

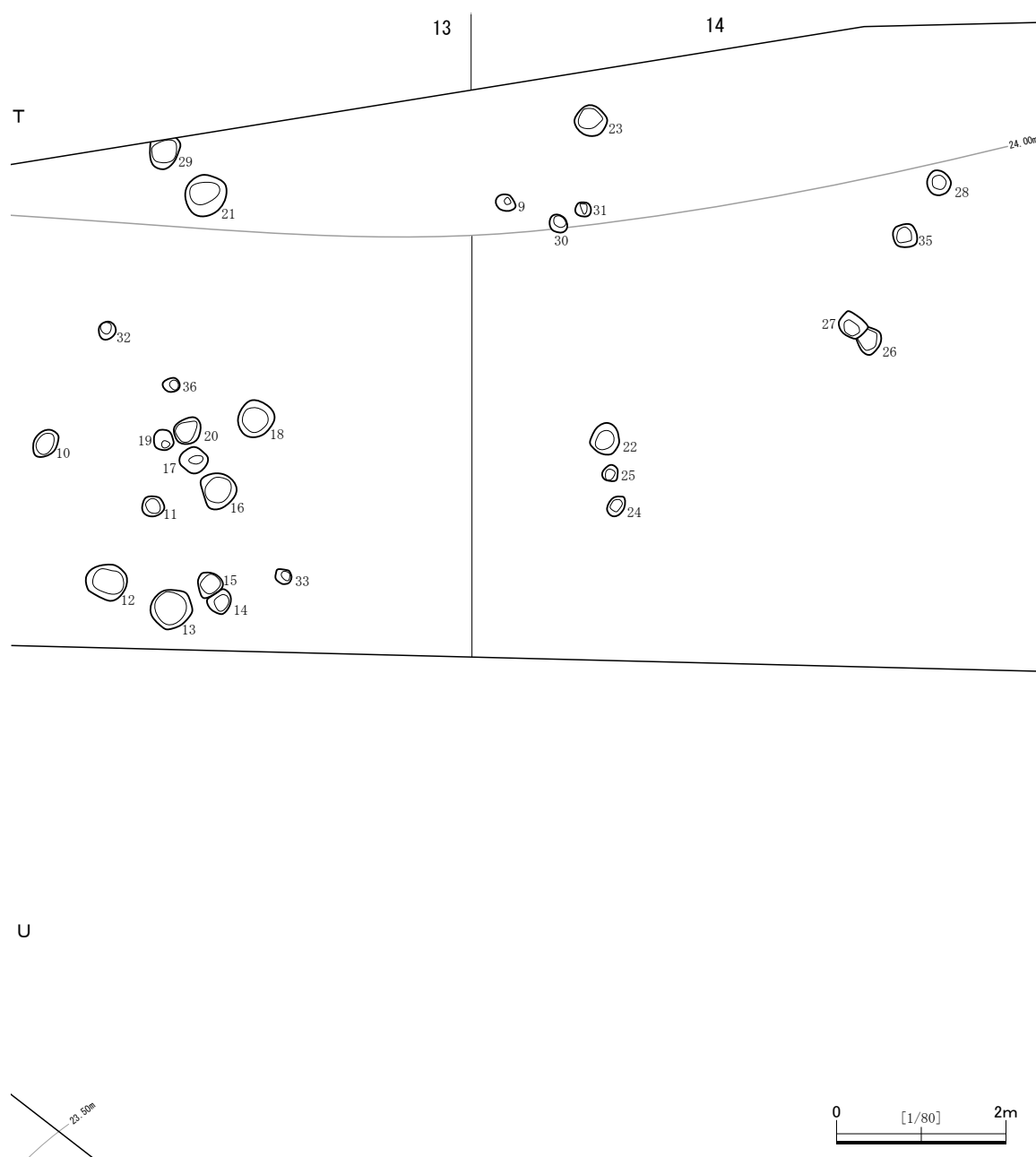
K 54号土坑（第398図、図版90－8）

T・U 12グリッドで検出された。確認面は標高23.8mを測る。円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径1.58m、短径1.54mを測る。確認面からの深さは0.51mを測る。

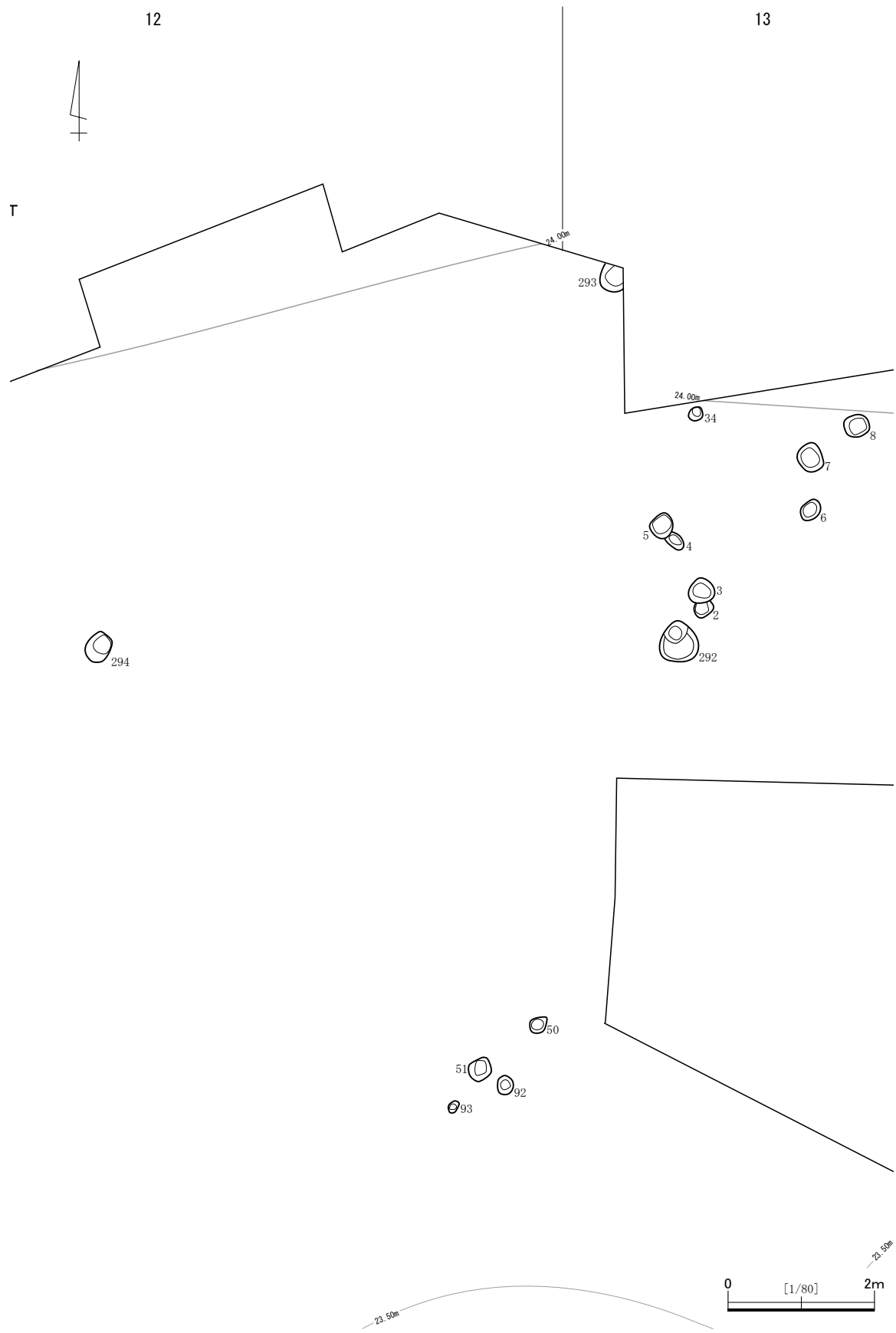
覆土は暗褐色土の2層で構成され、橙色スコリアを含む。第1層に炭化物粒を微量含む。

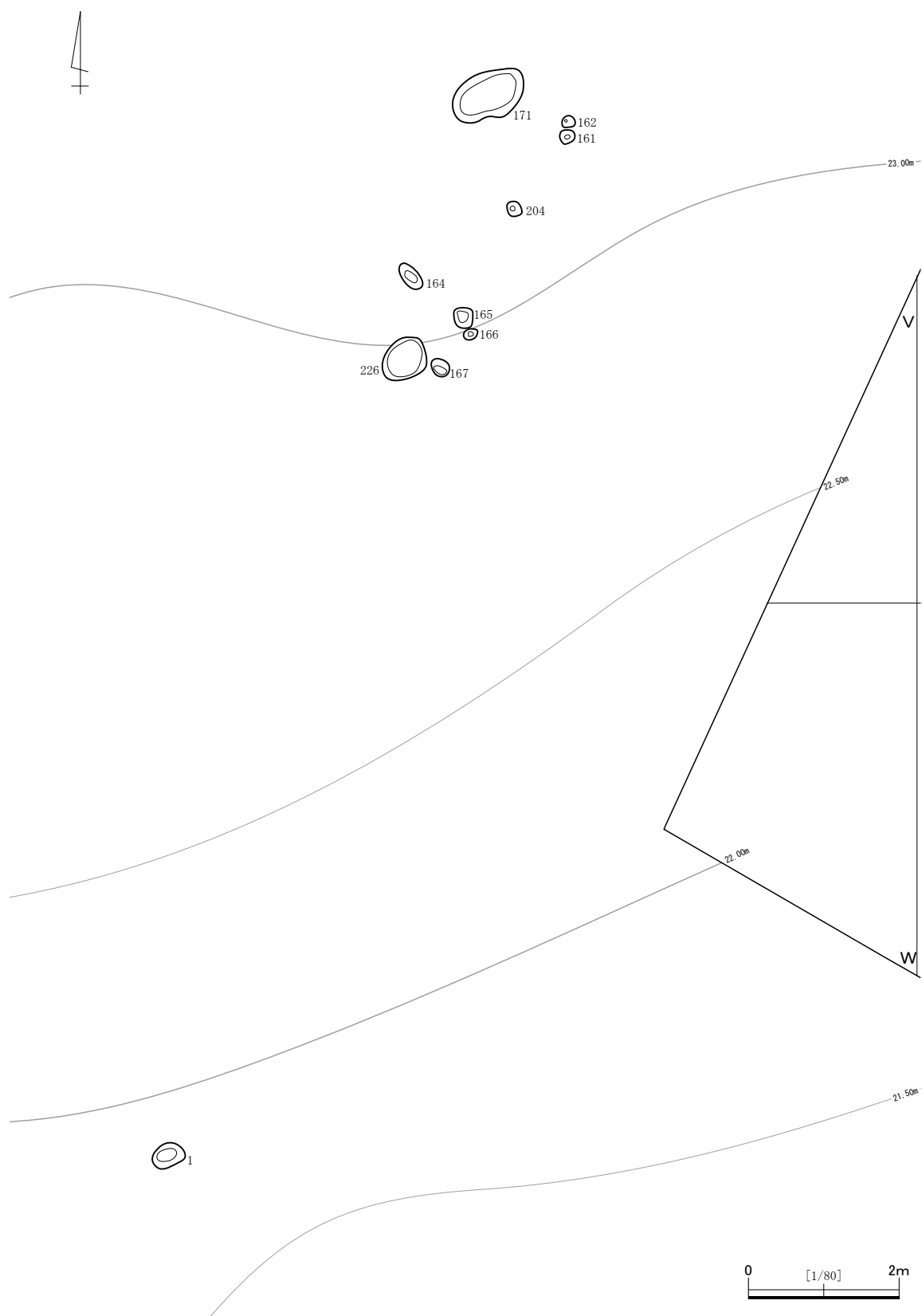
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。

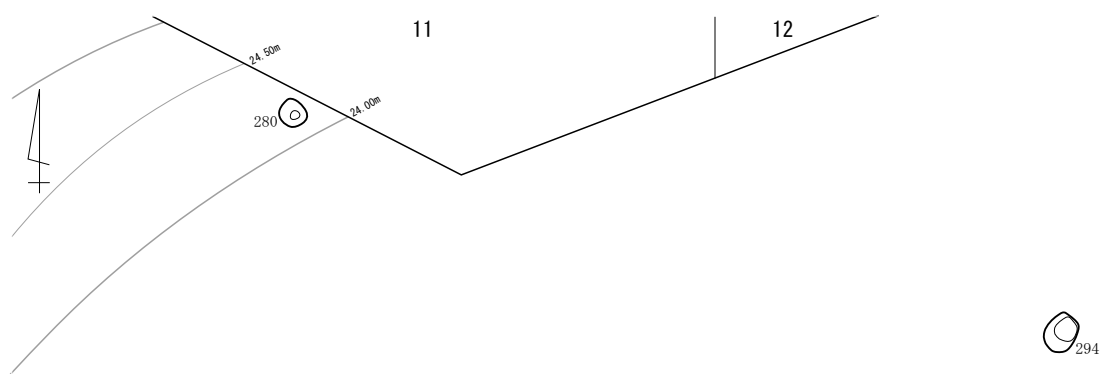


第400図 8区・9区・調整池②区近世ピット(1) [1/80]





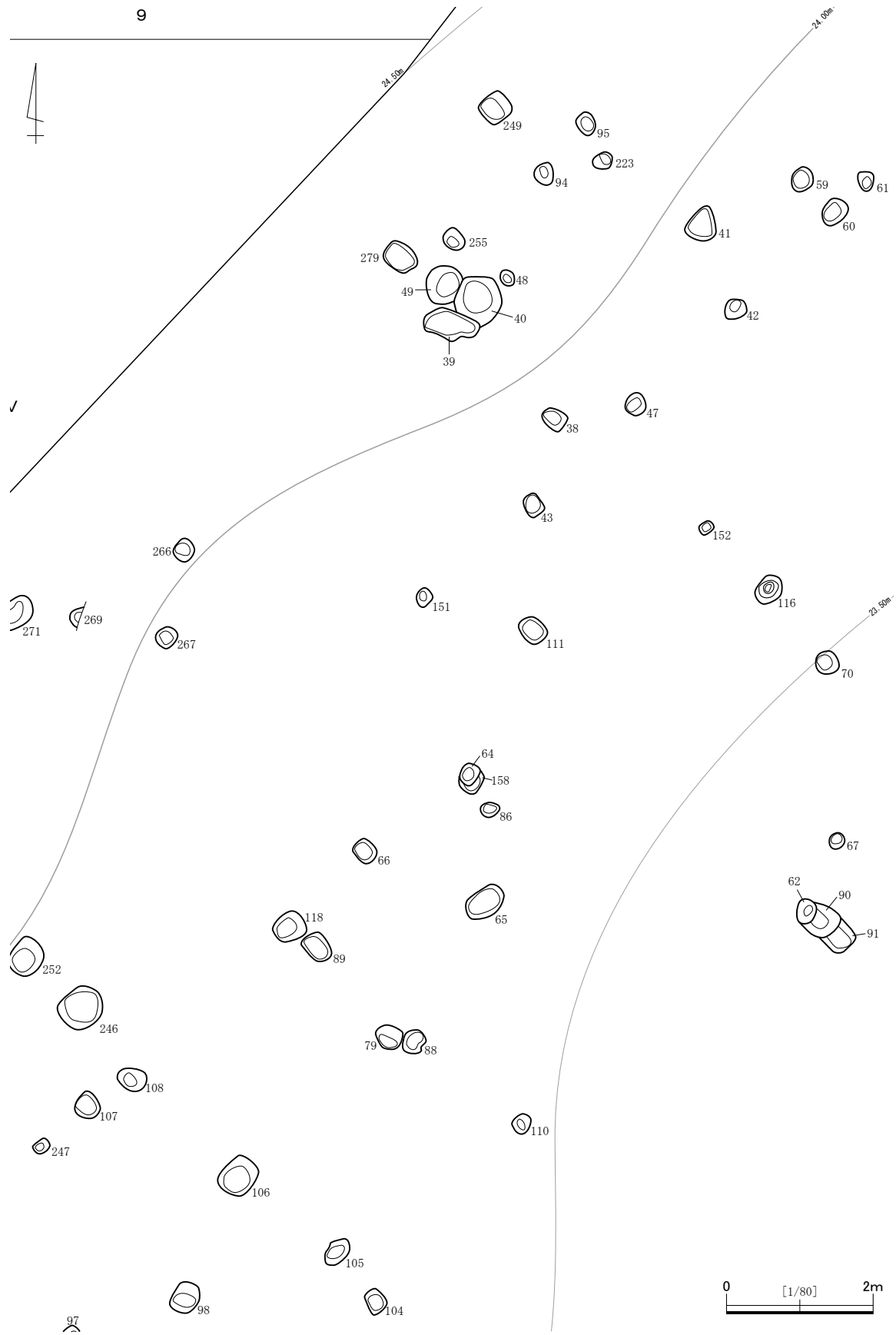
第402図 8区・9区・調整池②区近世ピット(3) [1/80]



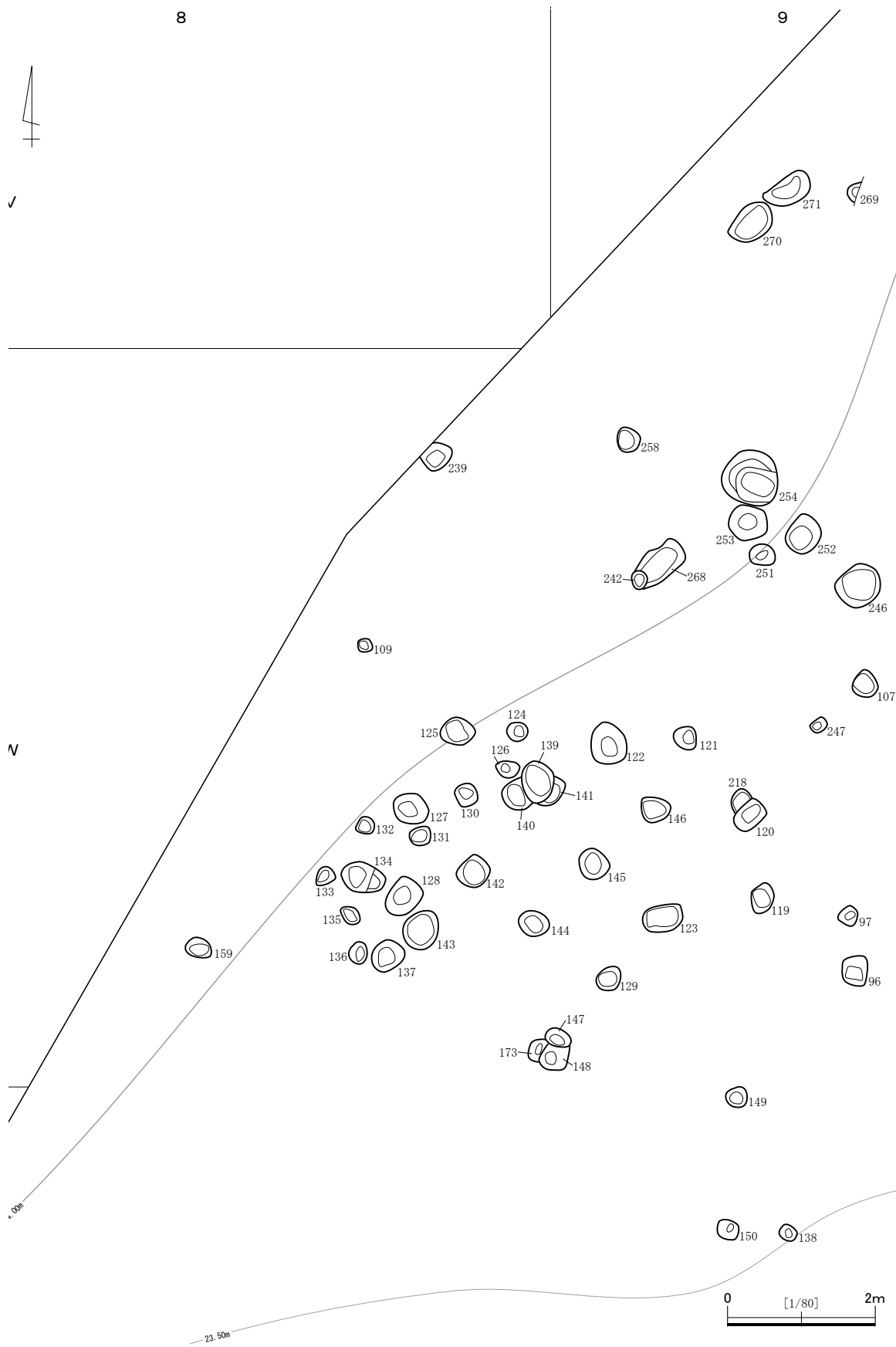
第403図 8区・9区・調整池②区近世ピット(4) [1/80]



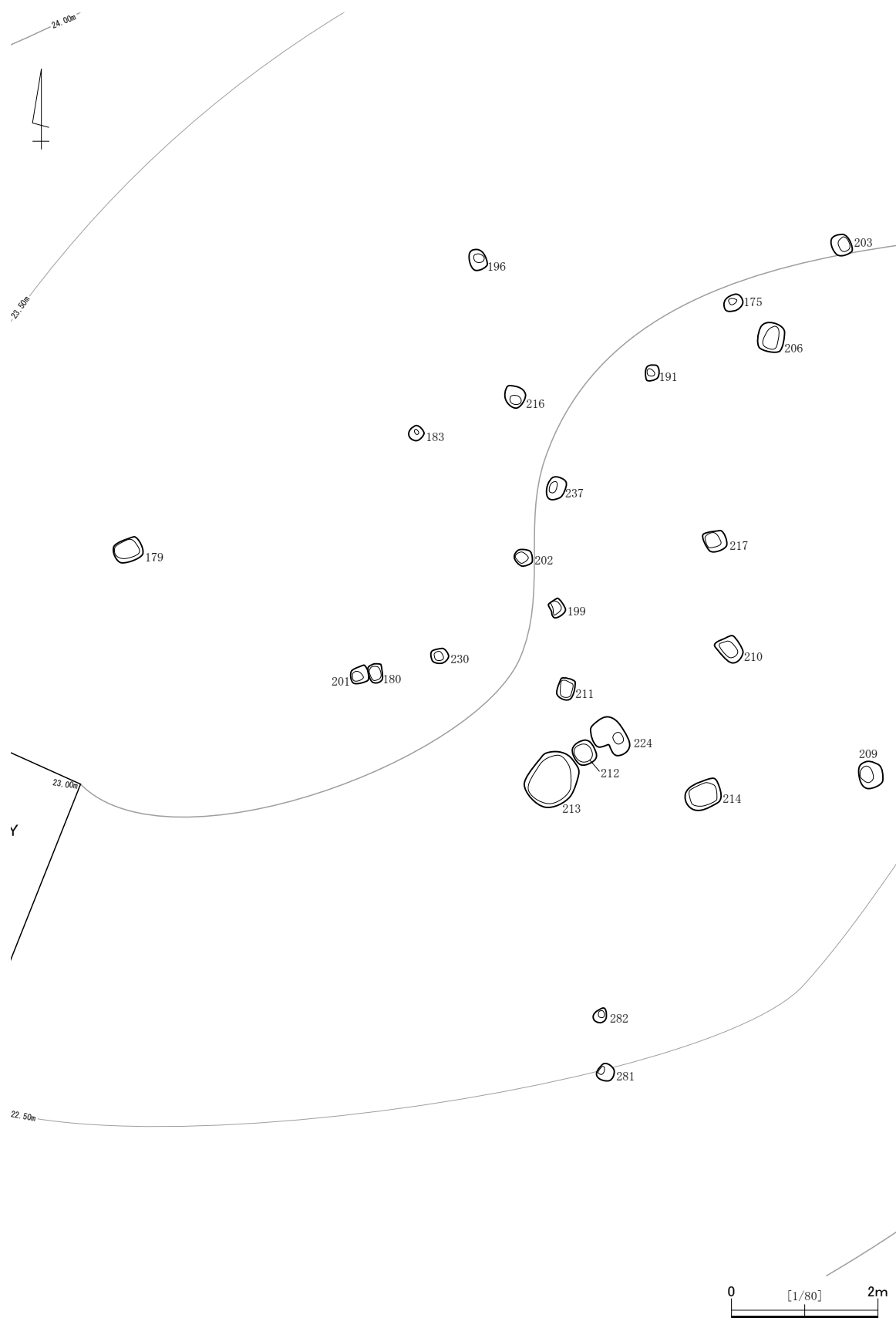
第404図 8区・9区・調整池②区近世ピット(5) [1/80]



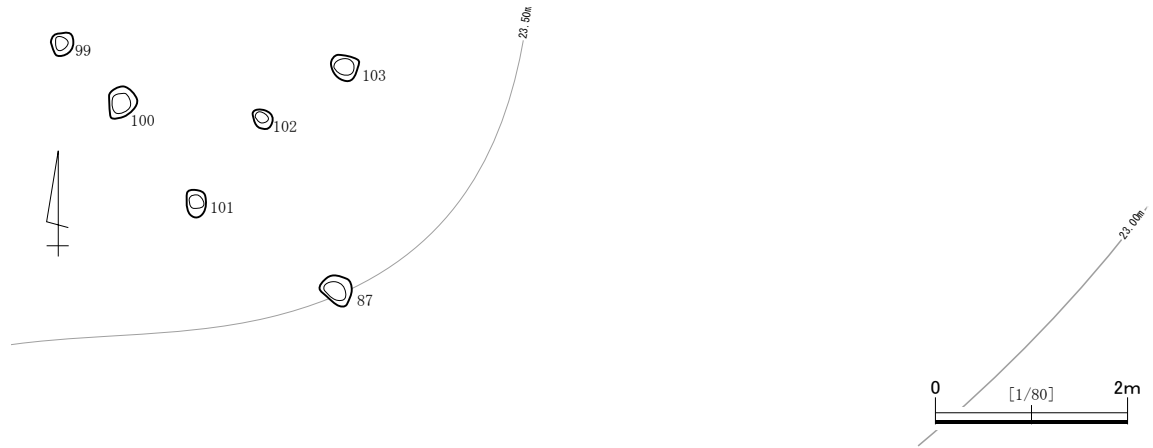
第405図 8区・9区・調整池②区近世ピット(6) [1/80]



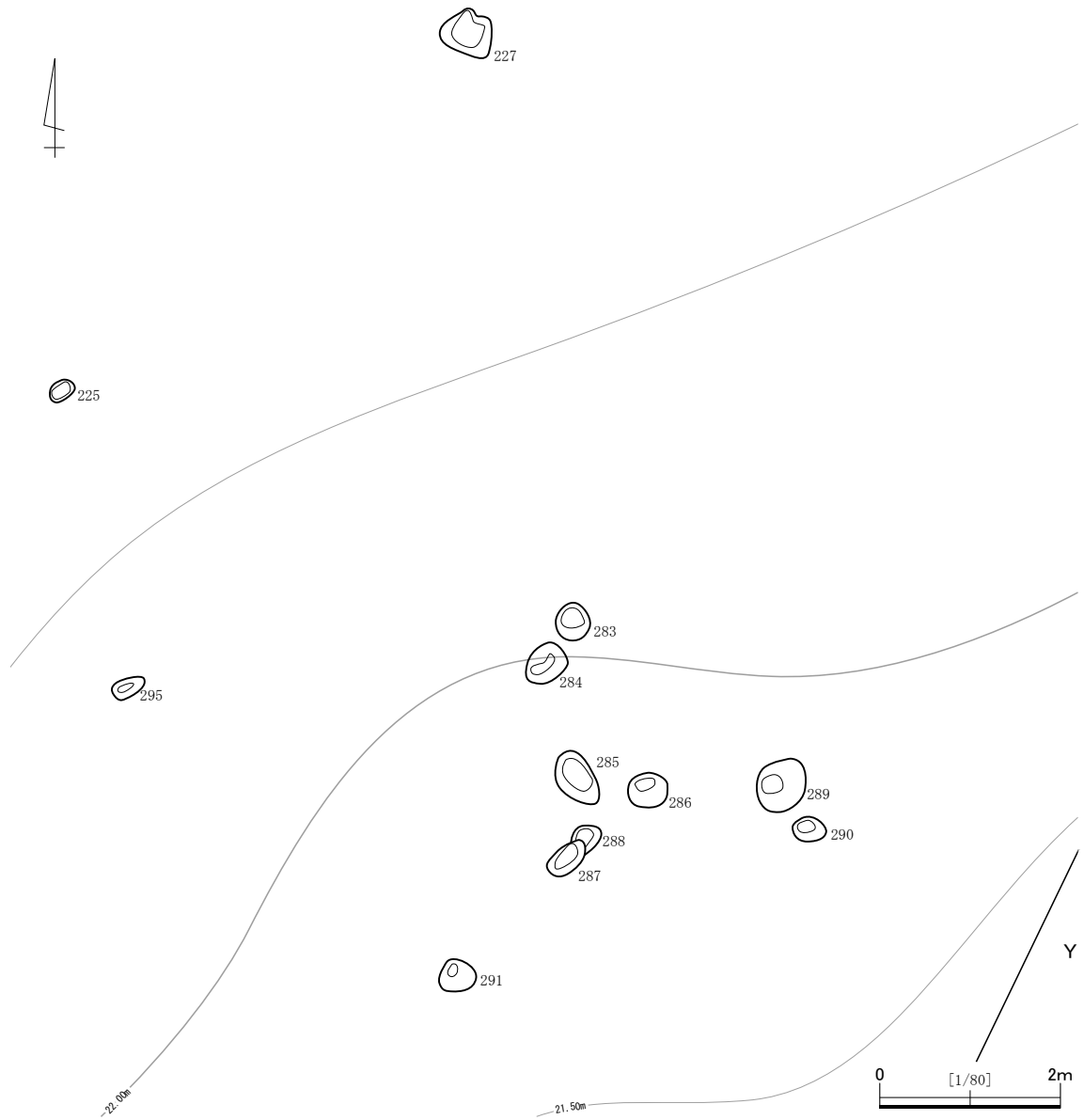
第406図 8区・9区・調整池②区近世ピット(7) [1/80]



第407図 8区・9区・調整池②区近世ビット(8) [1/80]



第408図 8区・9区・調整池②区近世ピット(9) [1/80]



第409図 8区・9区・調整池②区近世ピット(10) [1/80]

第96表 8区・9区・調整池②区近世ビット計測表 [第399～409図]

遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形	遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形
K1号ビット	W12・W13	0.44	0.31	0.15	楕円	K40号ビット	V9	(0.66)	0.65	0.38	円形
K2号ビット	T13	0.28	(0.22)	0.19	方形	K41号ビット	V10	0.47	0.43	0.08	不整形
K3号ビット	T13	0.36	0.35	0.24	円形	K42号ビット	V10	0.30	0.28	0.50	円形
K4号ビット	T13	(0.27)	0.19	0.09	楕円形	K43号ビット	V10	0.30	0.25	0.46	方形
K5号ビット	T13	0.34	0.32	0.13	円形	K44号ビット	U10	0.43	0.33	0.25	円形
K6号ビット	T13	0.32	0.24	0.17	円形	K45号ビット	U10	0.24	0.22	0.59	円形
K7号ビット	T13	0.39	0.35	0.24	円形	K46号ビット	U10	0.27	0.23	0.50	円形
K8号ビット	T13	0.34	0.30	0.16	円形	K47号ビット	V10	0.31	0.30	0.40	円形
K9号ビット	T14	0.24	0.20	0.31	円形	K48号ビット	V9・V10	0.22	0.20	0.08	円形
K10号ビット	T13	0.36	0.28	0.07	楕円形	K49号ビット	V9	0.55	(0.46)	0.31	円形
K11号ビット	U13	0.26	0.25	0.07	円形	K50号ビット	U12	0.26	0.22	0.08	円形
K12号ビット	U13	0.50	0.42	0.26	円形	K51号ビット	U12	0.33	0.29	0.23	方形
K13号ビット	U13	0.50	0.46	0.17	円形	K52号ビット	U10	0.25	0.23	0.13	円形
K14号ビット	U13	0.30	0.26	0.19	円形	K56号ビット	U10	0.24	0.20	0.15	円形
K15号ビット	U13	0.32	0.30	0.20	円形	K57号ビット	V10	0.28	0.25	0.25	円形
K16号ビット	U13	0.43	0.40	0.32	円形	K59号ビット	V10	0.34	0.31	0.21	円形
K17号ビット	T13・U13	0.31	0.30	0.13	円形	K60号ビット	V10	0.40	0.33	0.44	円形
K18号ビット	T13	0.45	0.42	0.07	円形	K61号ビット	V10	0.27	0.23	0.44	円形
K19号ビット	T13	0.25	0.23	0.62	円形	K62号ビット	W10	0.35	0.27	0.56	円形
K20号ビット	T13	0.35	0.30	0.09	円形	K64号ビット	V9・W9	0.30	0.25	0.38	方形
K21号ビット	T13	0.52	0.42	0.18	円形	K65号ビット	W9	0.58	0.38	0.30	長方形
K22号ビット	T14	0.37	0.34	0.22	円形	K66号ビット	W9	0.33	0.28	0.34	方形
K23号ビット	T14	0.39	0.37	0.23	円形	K67号ビット	W10	0.23	0.21	0.13	円形
K24号ビット	U14	0.27	0.19	0.32	楕円形	K68号ビット	W10	0.32	0.24	0.12	円形
K25号ビット	T14・U14	0.20	0.19	0.28	円形	K69号ビット	W10	0.22	0.19	0.14	円形
K26号ビット	T14	0.31	(0.27)	0.20	方形	K70号ビット	V10	0.32	0.32	0.28	円形
K27号ビット	T14	0.32	0.27	0.48	方形	K71号ビット	V10	0.41	0.39	0.24	円形
K28号ビット	T14	0.30	0.28	0.21	円形	K72号ビット	V10	0.39	0.27	0.08	円形
K29号ビット	T13	(0.37)	0.35	0.34	円形	K73号ビット	V10	0.23	0.18	0.08	円形
K30号ビット	T14	0.22	0.21	0.65	円形	K74号ビット	V10	0.26	0.19	0.13	楕円形
K31号ビット	T14	0.19	0.17	0.47	円形	K75号ビット	V10	0.47	0.38	0.43	円形
K32号ビット	T13	0.23	0.20	0.54	円形	K76号ビット	V10	0.25	0.25	0.18	円形
K33号ビット	U13	0.20	0.18	0.37	円形	K77号ビット	V10	0.28	0.26	0.25	方形
K34号ビット	T13	0.20	0.18	0.42	円形	K79号ビット	W9	0.38	0.32	0.45	円形
K35号ビット	T14	0.28	0.28	0.19	円形	K80号ビット	V10	0.26	0.25	0.17	方形
K36号ビット	T13	0.20	0.17	0.50	円形	K81号ビット	V10	0.33	0.25	0.20	楕円形
K38号ビット	V10	0.33	0.28	0.58	方形	K82号ビット	V11	0.25	0.23	0.14	不整形
K39号ビット	V9	0.75	0.40	0.13	不整形	K84号ビット	V11	0.38	0.27	0.13	長方形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
K85号ピット	V11	0.30	0.27	0.22	方形	K124号ピット	W8	0.28	0.28	0.34	円形
K86号ピット	W9	0.25	0.22	0.15	円形	K125号ピット	W8	0.41	0.40	0.10	円形
K87号ピット	X9	0.35	0.29	0.13	円形	K126号ピット	W8	0.33	0.23	0.19	円形
K88号ピット	W9	0.33	0.32	0.14	不整形	K127号ピット	W8	0.48	0.44	0.13	円形
K89号ピット	W9	0.42	0.38	0.15	長方形	K128号ピット	W8	0.54	0.41	0.20	円形
K90号ピット	W10	(0.45)	0.45	0.47	楕円形	K129号ピット	W9	0.35	0.33	0.10	円形
K91号ピット	W10	0.40	(0.37)	0.55	長方形	K130号ピット	W8	0.31	0.29	0.07	方形
K92号ピット	U12	0.27	0.22	0.13	円形	K131号ピット	W8	0.29	0.27	0.06	円形
K93号ピット	U12	0.19	0.13	0.66	円形	K132号ピット	W8	0.24	0.15	0.06	円形
K94号ピット	V10	0.31	0.28	0.10	円形	K133号ピット	W8	0.30	0.24	0.10	不整形
K95号ピット	V10	0.30	0.27	0.08	円形	K134号ピット	W8	0.49	0.43	0.14	円形
K96号ピット	W9	0.41	0.35	0.15	方形	K135号ピット	W8	0.28	0.23	0.05	円形
K97号ピット	W9	0.26	0.25	0.44	円形	K136号ピット	W8	0.30	0.26	0.15	円形
K98号ピット	W9	0.44	0.36	0.61	円形	K137号ピット	W8	0.47	0.38	0.28	円形
K99号ピット	W9	0.24	0.24	0.37	円形	K138号ピット	X9	0.25	0.21	0.47	方形
K100号ピット	W9	0.34	0.30	0.31	円形	K139号ピット	W8・W9	0.55	0.45	0.13	円形
K101号ピット	W9・X9	0.30	0.21	0.44	円形	K140号ピット	W8	0.42	(0.35)	0.14	楕円形
K102号ピット	W9	0.22	0.20	0.46	円形	K141号ピット	W8・W9	0.46	(0.22)	0.12	円形
K103号ピット	W9	0.30	0.26	0.07	円形	K142号ピット	W8	0.44	0.39	0.10	方形
K104号ピット	W9	0.33	0.26	0.10	円形	K143号ピット	W8	0.54	0.50	0.15	円形
K105号ピット	W9	0.44	0.28	0.51	円形	K144号ピット	W8・W9	0.38	0.37	0.09	円形
K106号ピット	W9	0.56	0.46	0.44	方形	K145号ピット	W9	0.43	0.39	0.11	円形
K107号ピット	W9	0.37	0.34	0.11	円形	K146号ピット	W9	0.40	0.37	0.11	円形
K108号ピット	W9	0.41	0.32	0.67	円形	K147号ピット	W8・W9	0.36	0.25	0.14	楕円形
K109号ピット	W8	0.20	0.19	0.13	方形	K148号ピット	W8・W9	0.40	(0.36)	0.18	楕円形
K110号ピット	W10	0.28	0.26	0.11	円形	K149号ピット	X9	0.30	0.28	0.11	円形
K111号ピット	V10	0.40	0.33	0.12	方形	K150号ピット	X9	0.31	0.26	0.52	方形
K112号ピット	W10	0.45	0.28	0.44	楕円形	K151号ピット	V9	0.25	0.22	0.13	円形
K113号ピット	V10	0.51	0.46	0.16	円形	K152号ピット	V10	0.22	0.16	0.13	方形
K114号ピット	V11	0.35	0.26	0.19	円形	K153号ピット	W10	0.29	0.29	0.20	円形
K115号ピット	V10	0.28	0.26	0.34	円形	K154号ピット	W10	0.28	0.25	0.13	円形
K116号ピット	V10	0.42	0.35	0.26	円形	K155号ピット	V10・W10	0.24	0.21	0.08	円形
K117号ピット	W10	0.41	0.40	0.22	円形	K156号ピット	V10・V11	0.37	0.30	0.18	円形
K118号ピット	W9	0.45	0.40	0.46	円形	K157号ピット	V10・V11	0.45	0.42	0.33	円形
K119号ピット	W9	0.38	0.33	0.11	円形	K158号ピット	W9	0.36	(0.29)	0.11	円形
K120号ピット	W9	0.47	0.32	0.39	方形	K159号ピット	W8	0.36	0.27	0.07	円形
K121号ピット	W9	0.31	0.31	0.48	円形	K161号ピット	V13	0.21	0.19	0.58	円形
K122号ピット	W9	0.57	0.49	0.19	円形	K162号ピット	V13	0.18	0.11	0.62	円形
K123号ピット	W9	0.55	0.37	0.05	長方形	K164号ピット	V13	0.41	0.22	0.13	楕円形

遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形	遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形
K165号ピット	V13	0.28	0.26	0.21	方形	K237号ピット	Y8	0.33	0.26	0.36	円形
K166号ピット	V13	0.20	0.15	0.20	円形	K238号ピット	V10	0.25	0.21	0.13	円形
K167号ピット	V13	0.27	0.23	0.13	円形	K239号ピット	W8	0.42	(0.38)	0.19	円形
K169号ピット	V12	0.24	0.20	0.26	円形	K242号ピット	W9	0.25	0.22	0.19	円形
K170号ピット	V12	0.27	0.27	0.06	円形	K246号ピット	W9	0.60	0.54	0.21	円形
K171号ピット	V13	0.99	0.65	0.08	不整形	K247号ピット	W9	0.22	0.18	0.04	方形
K172号ピット	V12	0.93	0.64	0.39	不整形	K249号ピット	V9・V10	0.41	0.38	0.52	方形
K173号ピット	W8	(0.33)	(0.22)	0.17	楕円形	K251号ピット	W9	0.36	0.29	0.14	円形
K175号ピット	X8	0.28	0.23	0.31	円形	K252号ピット	W9	0.52	0.44	0.47	方形
K179号ピット	Y7	0.41	0.31	0.08	長方形	K253号ピット	W9	0.53	0.50	0.19	円形
K180号ピット	Y8	0.27	0.19	0.06	長方形	K254号ピット	W9	0.78	0.74	0.65	円形
K183号ピット	Y8	0.21	0.20	0.45	方形	K255号ピット	V9	0.33	0.26	0.40	円形
K191号ピット	X8・Y8	0.22	0.19	0.25	方形	K258号ピット	W9	0.34	0.33	0.12	円形
K193号ピット	V12	0.28	0.25	0.13	円形	K266号ピット	V9	0.30	0.28	0.35	円形
K196号ピット	X8	0.31	0.24	0.47	方形	K267号ピット	V9	0.30	0.27	0.23	円形
K199号ピット	Y8	0.23	0.22	0.10	不整形	K268号ピット	W9	(0.73)	0.49	0.16	不整形
K201号ピット	Y8	0.27	0.23	0.32	方形	K269号ピット	V9	0.30	(0.15)	0.19	円形
K202号ピット	Y8	0.26	0.24	0.17	円形	K270号ピット	V9	0.64	0.46	0.13	楕円形
K203号ピット	X8	0.30	0.27	0.16	方形	K271号ピット	V9	0.67	0.37	0.20	楕円形
K204号ピット	V13	0.21	0.20	0.24	方形	K279号ピット	V9	0.48	0.37	0.20	不整形
K206号ピット	X8	0.41	0.36	0.49	方形	K280号ピット	T11	0.31	0.28	0.19	円形
K209号ピット	Y8	0.37	0.35	0.41	方形	K281号ピット	Y8	0.25	0.24	0.32	円形
K210号ピット	Y8	0.40	0.31	0.40	不整形	K282号ピット	Y8	0.22	0.18	0.18	円形
K211号ピット	Y8	0.30	0.24	0.10	方形	K283号ピット	Y9	0.41	0.40	0.56	円形
K212号ピット	Y8	0.33	0.32	0.21	方形	K284号ピット	Y9	0.51	0.39	0.35	円形
K213号ピット	Y8	0.79	0.65	0.23	円形	K285号ピット	Y9	0.67	0.41	0.14	楕円形
K214号ピット	Y8	0.52	0.38	0.19	長方形	K286号ピット	Y9	0.44	0.40	0.62	円形
K216号ピット	Y8	0.30	0.30	0.45	円形	K287号ピット	Y9	0.50	0.28	0.21	楕円形
K217号ピット	Y8	0.32	0.29	0.64	方形	K288号ピット	Y9	(0.33)	0.29	0.22	楕円形
K218号ピット	W9	0.31	(0.21)	0.05	円形	K289号ピット	Y9	0.59	0.55	0.44	円形
K223号ピット	V10	0.30	0.23	0.31	円形	K290号ピット	Y9	0.34	0.32	0.29	円形
K224号ピット	Y8	0.59	0.45	0.55	不整形	K291号ピット	Y9	0.40	0.39	0.52	円形
K225号ピット	Y9	0.31	0.21	0.10	楕円形	K292号ピット	T13・U13	0.57	0.54	0.31	円形
K226号ピット	V13	0.61	0.56	0.26	円形	K293号ピット	T13	0.42	(0.25)	0.29	円形
K227号ピット	X9	0.60	0.50	0.44	不整形	K294号ピット	T12・U12	0.42	0.34	0.57	楕円形
K230号ピット	Y8	0.25	0.20	0.24	円形	K295号ピット	Y9	0.39	0.22	0.22	楕円形

(8) ピット(第399～410図、第96・97表、図版78－1・90－7・167)

調査区から226基のピットが検出されている。各ピットの分布については第399図～第409図に提示し、検出位置、規模については第96表に一括して記載してある。ピットは調査区の全体で検出した。ピットの規模は、長径0.18～0.99m、短径0.11～0.74m、深さ0.04～0.67mの間に偏在する。覆土は褐色土・明褐色土・暗褐色土・茶褐色土・黄褐色土・灰褐色土等の土で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含んでいる。基本土層第Ⅱ層を主体とした砂質土が多く、一部には宝永スコリア・炭化物粒を含む遺構もある。ほとんどのピットから遺物は出土していないが、後述するように3基のピットからは陶磁器・鉄製品・石製品等を出土している。

遺物は、K271号ピットで瀬戸・美濃の陶器の鉢1点(11.6g)が、K280号ピットで肥前の磁器の碗1点(21.2g)、木製の棒状製品1点の計2点(21.2g)が、K283号ピット肥前の磁器の碗1点(3.3g)の計4点(36.1g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第410図1はK280号ピットより出土した、肥前の磁器の染付丸形碗である。素地は灰白色で、外面に草文が描かれている。18世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土・遺物及び周辺の遺構で出土している遺物から18世紀以降と考えられる。



第410図 8・9・池②区K280号ピット出土遺物 [1/3]

第97表 8区・9区・調整池②区K280号ピット出土遺物観察表 [第410図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	染付 丸形碗	磁器	[9.7]	[3.4]	5.5	21.2	口縁部～ 底部1/8	肥前	18世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 釉薬 呉須・透明釉 文様 外面草文 出土位置 K280号 ピット

(9) 遺構外出土遺物(第411～414図、第98表、図版168－2・169・170・171－1)

遺物は、肥前の磁器の碗43点(1,017.4g)・碗蓋1点(7.4g)・皿4点(81.1g)・蓋物蓋1点(6.0g)・香炉1点(9.8g)・徳利1点(4.1g)、瀬戸・美濃の磁器の碗10点(252.1g)・碗蓋1点(61.2g)・皿1点(69.0g)・小杯1点(0.5g)、産地不明の磁器の皿1点(3.1g)、肥前の陶器の碗9点(110.3g)・皿3点(41.8g)・鉢2点(16.9g)、瀬戸・美濃の陶器の碗11点(84.8g)・播鉢7点(225.0g)・香炉6点(36.5g)・灯明皿1点(3.0g)・甕4点(45.4g)・壺2点(58.1g)、京都・信楽の陶器の仏飯碗1点(7.3g)、志戸呂の陶器の徳利1点(18.5g)、備前の柘器の徳利2点(46.7g)、産地不明の陶器の碗2点(13.9g)・鉢1点(203.4g)・瓶1点(4.5g)・土瓶1点(4.1g)・甕1点(24.1g)、瓦質の火鉢1点(42.0g)、鉄製品の釘8点(49.9g)、銅製品の煙管・板状製品2点(5.3g)、銅銭5点(16.2g)、石製品の火打ち石・砥石・石臼・墓石の計15点(34,552.3g)、木製の杭21点・用途不明品1点の計176点(37,121.7g)が出土している。図化したのは、以下の49点である。

第411図1～10・14・15、第412図16・17は肥前の磁器の碗で、1～10・14・15は染付丸形碗、9は染付平形碗、16・17は染付筒形碗である。素地はいずれも灰白色である。1は外面に草花文が描かれる。18後半～19世紀の製品と考えられる。2は外面に草花文、口縁部内面に雷文が描かれる。18世紀後半～19世紀の製品と考えられる。3は外面に草花文が描かれる。18世紀後半の製品と考えられる。4は外面に矢羽根文、口唇部に一重圈線、口縁部内面に二重圈線、見込に一重圈線が描かれる。18世紀後半～19世紀の製品と考えられる。5・6は外面に雪輪梅樹文、高台際に二重圈線、高台内に不明崩字銘が描かれる。畳付は無釉である。18世紀後半～19世紀の製品と考えられる。7は外面に二重網目文、内面に一重網目文が描かれる。18世紀の製品と考えられる。8は口縁部外面に雨降文、高台際に一重圈線、高台に二重圈線が描かれる。18世紀の製品と考えられる。9は外面に暦文、口縁部内面に二重圈線が描かれる。18世紀後半の製品と考えられる。10は外面に丸内に斜線と丸文、口縁部と高台際に一重圈線、高台に二重圈線、口縁部内面に二重圈線、見込に二重圈線内五弁花が描かれる。見込に重ね焼き痕が残る。18世紀後半の製品と考えられる。14は外面に草花文、高台際二重圈線、見込に一重圈線内崩字銘が描かれる。18世紀後半の製品と考えられる。15は高台二重圈線、高台内一重圈線が描かれる。18世紀～19世紀の製品と考えられる。16は口縁部外面に雷文と風景文、高台際に一重圈線・高台に二重圈線が描かれる。焼継痕が残っている。19世紀前半の製品である。17は外面に松文が描かれる。19世紀の製品と考えられる。

第411図11～13は瀬戸・美濃の磁器の碗で11は染付丸形碗、12は染付広東碗、13は染付端反碗である。11は外面に風景文、高台際に二重圈線、口縁部内面に一重圈線、見込二重圈線内に花文が描かれる。19世紀の製品と考えられる。12は外面に草花文、高台際に二重圈線、高台に一重圈線、見込に一重圈線内に花文が描かれる。19世紀の製品と考えられる。13は外面に松葉文、高台際に一重圈線、高台に一重圈線、口縁部内面に帯線と二重圈線、見込に二重圈線内に不明文が描かれる。19世紀中頃の製品である。

第412図18～21は瀬戸・美濃の陶器の灰釉碗である。胎土はいずれも浅黄色、淡黄色の灰釉が施されている。18世紀～19世紀の製品と考えられる。

第412図22は瀬戸・美濃の磁器の染付碗蓋である。素地は灰白色、外面に風景文と帯線に如意頭、摘み部一重圈線、摘み内に角印、口縁部内面に帯線に如意頭、見込に一重圈線内に岩波文が描かれる。19世紀の製品と考えられる。

第412図23は肥前の磁器の染付輪花皿である。素地は灰白色、外面に唐草文、高台二重圈線、内面から草花文、口唇部一重圈線が描かれる。蛇ノ目凹高台。18世紀後半の製品と考えられる。

第412図24は瀬戸・美濃の磁器の端反皿である。素地は灰白色、見込に陰刻で「壽」の文字が彫られている。19世紀後半の製品と考えられる。

第412図25～28は瀬戸・美濃の陶器の志野皿である。25は胎土はにぶい黄橙色、乳白色の長石釉で体部下半～高台は釉拭き取りが施される。26は胎土は浅黄色、灰黄色の長石釉で、高台内釉拭き取りが施される。27はにぶい黄橙色、灰黄色の長石釉が施される。28は胎土は灰白色、灰白色の長石釉で高台内釉拭き取りが施される。いずれも17世紀の製品と考えられる。

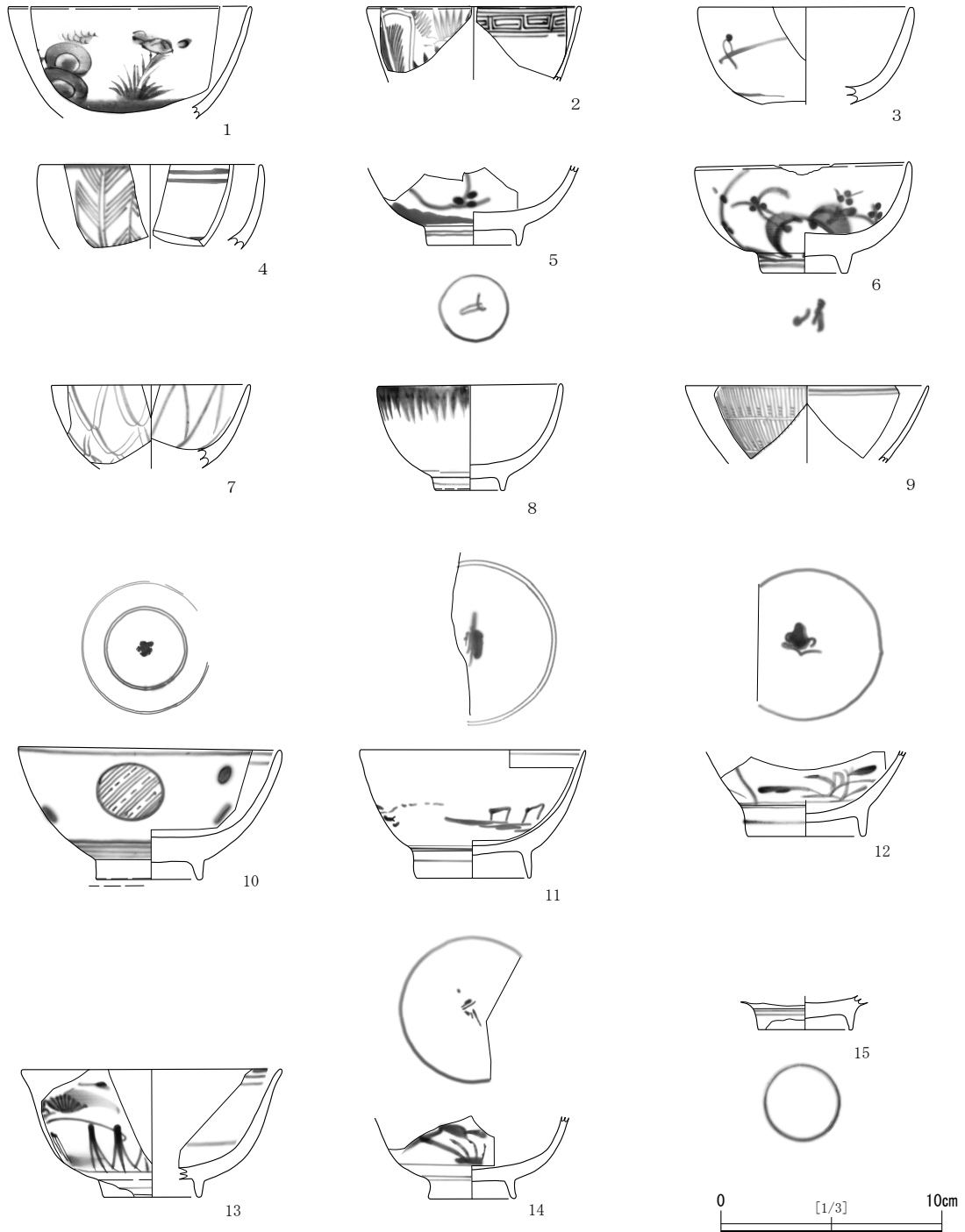
第412図29は瀬戸・美濃の陶器の灰釉折縁鉢の口縁部である。灰白色の灰釉が施され、内面に鉄絵が描かれる。17世紀の製品と考えられる。

第412図30は備前の妬器の小壺である。底部に回転糸切り痕が残る。18世紀以降の製品と考えられる。

第412図31は瀬戸・美濃の陶器の灰釉香炉の口縁部である。胎土はにぶい黄橙色、オリーブ褐色の灰釉が施される。18世紀～19世紀の製品と考えられる。

第413図32～37は鉄製品の釘である。端部は欠損しており、全体に錆が著しい。

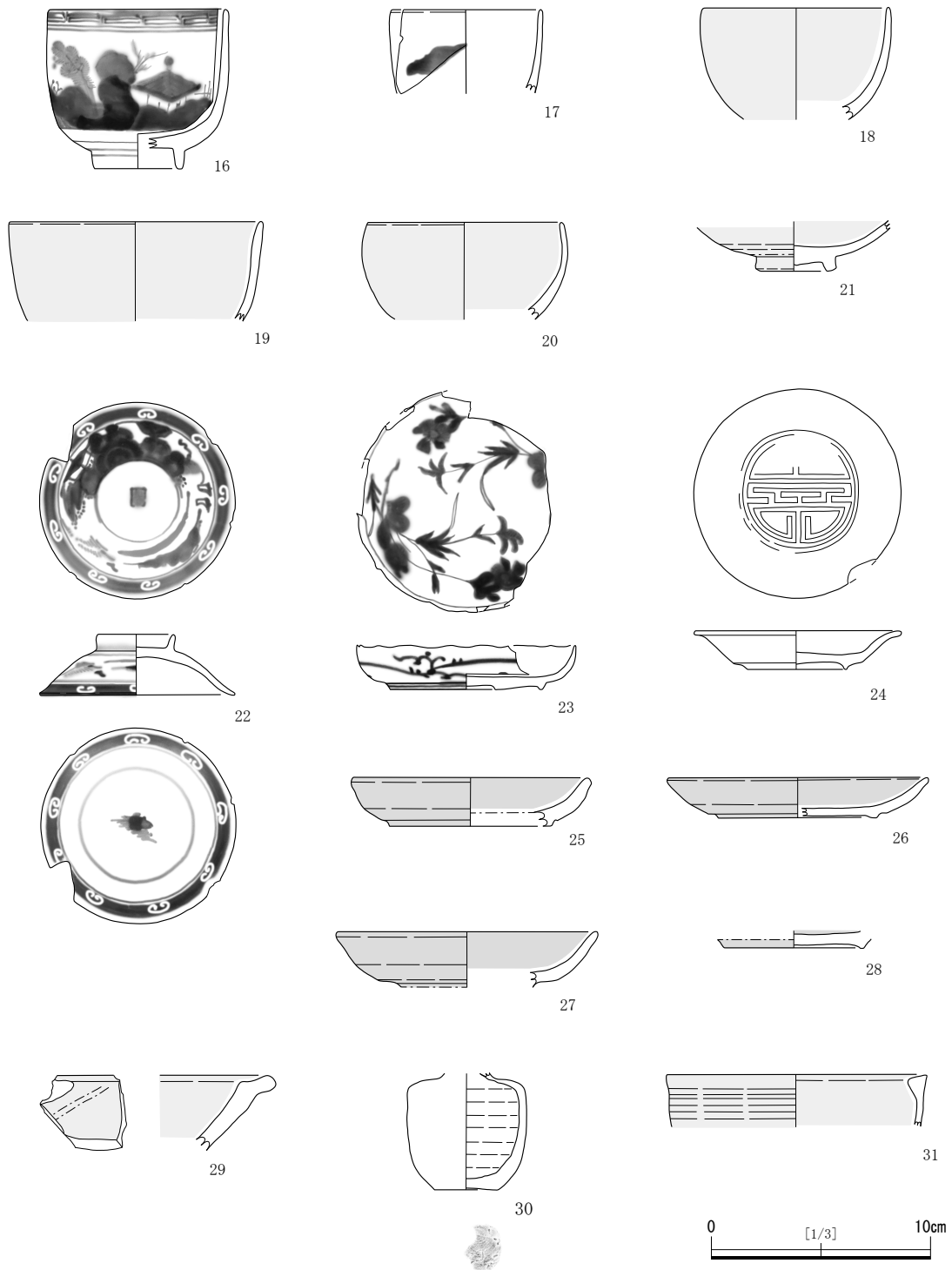
第413図38・39は銅製品である。38は煙管の火皿で、39は板状製品で詳細は不明である。



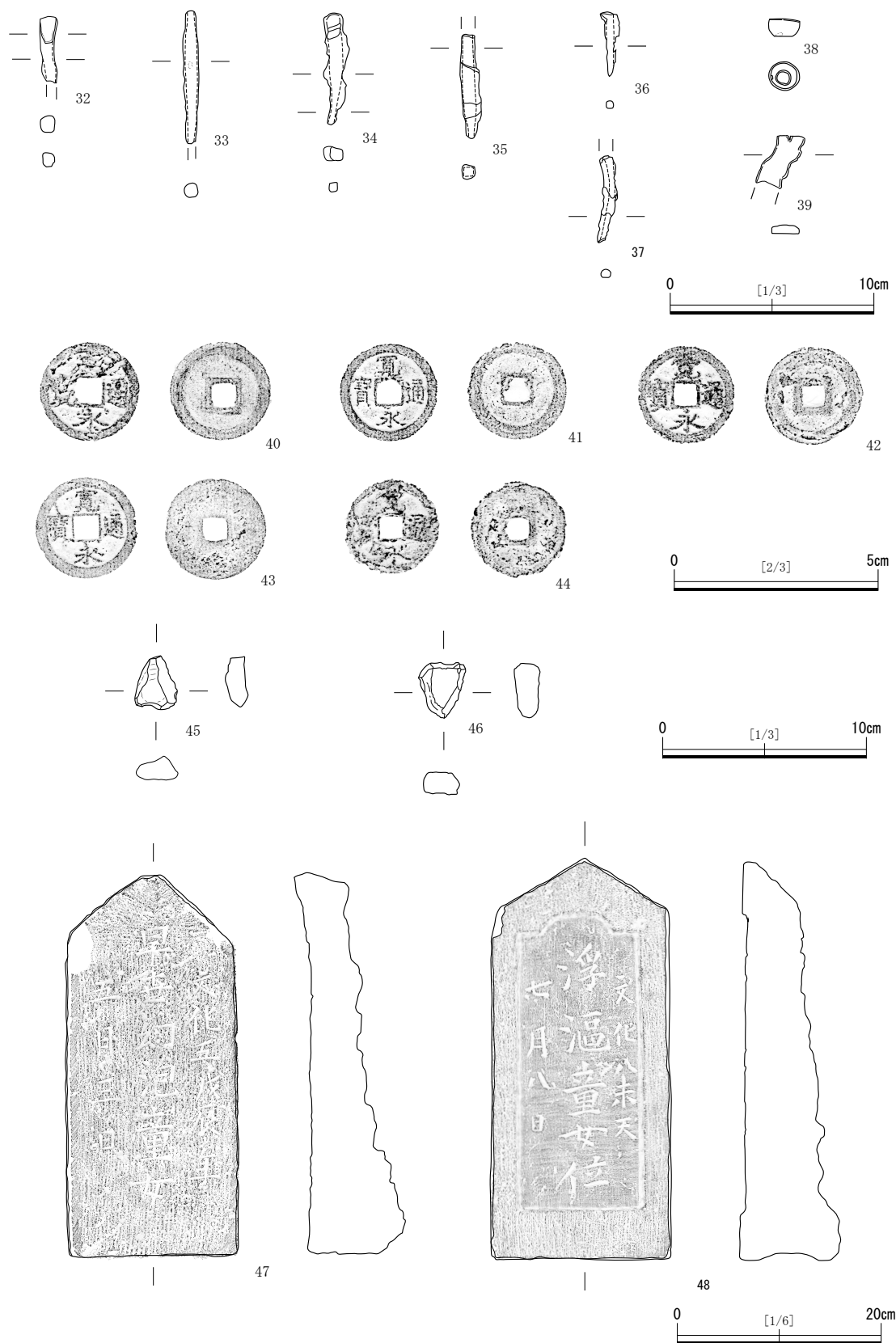
第411図 8区・9区・調整池②区近世遺構外出土遺物(1) [1/3]

第413図40～44は寛永通寶である。40は古寛永で、鑄造地は水戸、初鑄年は1636年である。41～44は新寛永で、鑄造地は亀戸、初鑄年は1697年である。

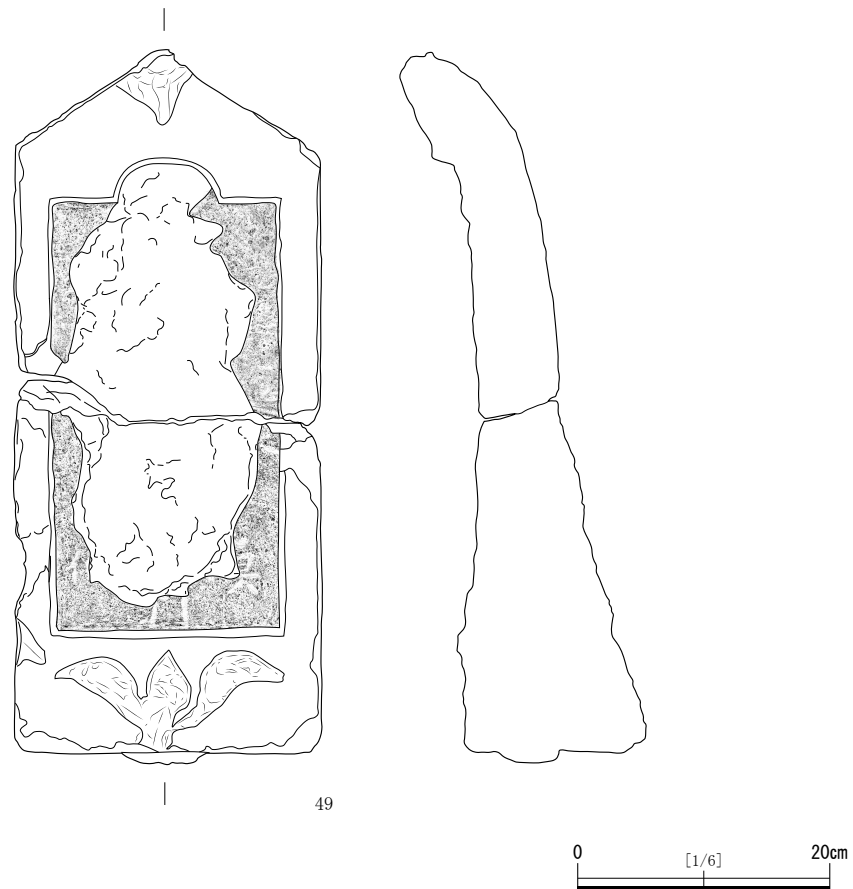
第413図45～48、第414図49は石製品である。45・46は火打ち石で、石材は瑪瑙。47～49は頭部が三角形で断面が舟形を呈する墓石である。石材はいずれも粗粒凝灰岩である。



第412図 8区・9区・調整池②区近世遺構外出土遺物(2) [1/3]



第413図 8区・9区・調整池②区近世遺構外出土遺物(3) [1/3・2/3・1/6]



第414図 8区・9区・調整池②区近世遺構外出土遺物(4) [1/6]

第98表 8区・9区・調整池②区近世遺構外出土遺物観察表 [第411～414図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	染付 丸形碗	磁器	[11.0]	—	(5.0)	33.8	口縁部～ 体部1/4	肥前	18後半 ～ 19世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面草花文 出土位置 V15gr
2	染付 丸形碗	磁器	[9.6]	—	(3.4)	8.0	口縁部1/6	肥前	18後半 ～ 19世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面 草花文、口縁部内面雷文 出土位置 T13～15gr・U13～15gr
3	染付 丸形碗	磁器	[9.6]	—	(4.4)	37.9	口縁部～ 体部1/5	肥前	18世紀 後半	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面草花文 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
4	染付 丸形碗	磁器	[10.0]	—	(3.8)	9.6	口縁部～ 体部1/9	肥前	18後半 ～ 19世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面矢羽根文・口唇部一重圈線、内面口縁部二重圈線・見込一重圈線 出土位置 一括
5	染付 丸形碗	磁器	—	4.1	(3.6)	74.7	体部下半 3/4・底部 完存	肥前	18後半 ～ 19世紀	素地 灰白色、緻密、黒色粒子を含む 焼成 良好 文様 外面雪輪梅樹文・高台際二重圈線、高台内一重圈線内不明崩字銘 備考 畳付無釉 出土位置 Z9gr

6	染付 丸形碗	磁器	9.6	3.6	5.0	203.4	口縁部 3ヶ所 欠損	肥前	18後半 ～ 19世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面雪輪梅樹文・高台際二重圏線、高台内一重圏線内不明崩字銘 出土位置 X13gr
7	染付 丸形碗	磁器	[8.9]	—	(3.8)	15.4	口縁部 1/8・ 体部1/4	肥前	18世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面二重網目文・内面一重網目文 出土位置 一括
8	染付 丸形碗	磁器	8.3	3.0	4.8	80.7	口縁部～ 体部2/3・ 底部完存	肥前	18世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 口縁部外面雨降文・高台際一重圏線・高台二重圏線 備考 畳付無釉 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
9	染付 平形碗	磁器	[11.0]	—	(3.5)	8.8	口縁部 1/7	肥前	18世紀 後半	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面暦文、口縁部内面二重圏線 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
10	染付 丸形碗	磁器	11.7	4.6	6.0	241.0	口縁部一部 欠損・高台 一部欠損	肥前	18世紀 後半	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面丸内に斜線・丸文・口縁部と高台際一重圏線・高台二重圏線、内面口縁部二重圏線・見込二重圏線内五弁花 備考 見込重ね焼き痕、畳付無釉 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
11	染付 丸形碗	磁器	10.2	5.0	5.3	90.6	口縁部～ 底部1/2	瀬戸・ 美濃	19世紀	素地 素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面風景文・高台際二重圏線、内面口縁部一重圏線・見込二重圏線内花文 備考 畳付無釉 出土位置 一括
12	染付 広東碗	磁器	—	5.2	(3.8)	81.8	体部下半～ 底部ほぼ 完存	瀬戸・ 美濃	19世紀	素地 素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面草花文・高台際二重圏線・高台一重圏線、見込一重圏線内花文 備考 畳付無釉 出土位置 一括
13	染付 端反碗	磁器	[11.7]	[4.3]	5.7	43.2	口縁部わず かに残・ 体部1/4・ 底部1/3	瀬戸・ 美濃	19世紀 中頃	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面松葉文・高台際一重圏線・高台一重圏線、口縁部内面帯線・二重圏線、見込二重圏線内不明文 備考 高台無釉 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
14	染付 丸形碗	磁器	—	[3.8]	(3.7)	49.3	体部～ 底部2/3	肥前	18世紀 後半	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面草花文・高台際二重圏線、見込一重圏線内崩字銘 備考 畳付無釉 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
15	染付 丸形碗	磁器	—	[4.2]	(1.5)	34.5	底部・高台 部所々欠損	肥前	18世紀 ～ 19世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 高台二重圏線、高台内一重圏線 備考 畳付無釉 出土位置 表土

16	染付 筒丸形碗	磁器	8.0	3.8	7.3	86.4	口縁部～ 底部1/2	肥前	19世紀 前半	素地 灰白色、緻密 焼成 良好 文様 外面口縁部雷文・風景文・高台際一重圈線・高台二重圈線 備考 焼継痕有り、畳付無釉 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
17	染付 筒丸形碗	陶器	[6.8]	—	(3.8)	7.6	口縁部～ 体部1/6	肥前	19世紀	素地 灰白色、密 焼成 良好 文様 外面松文か 出土位置 試掘No.6G
18	灰釉 丸形碗	陶器	[8.5]	—	(5.1)	19.4	口縁部～ 体部1/6	瀬戸・ 美濃	18世紀	胎土 浅黄色、密 焼成 良好 釉薬 淡黄色灰釉 出土位置 表土一括
19	灰釉 丸形碗	陶器	[11.5]	—	(4.5)	11.9	口縁部～ 体部1/10	瀬戸・ 美濃	18世紀	胎土 浅黄色、密 焼成 良好 釉薬 淡黄色灰釉 出土位置 表土一括
20	灰釉 丸形碗	陶器	[8.8]	—	(4.4)	8.6	口縁部～ 体部1/8	瀬戸・ 美濃	18世紀	胎土 淡黄色、密 焼成 良好 釉薬 淡黄色灰釉 出土位置 Y12gr
21	灰釉 丸形碗	陶器	—	3.5	(2.3)	21.2	体部下 部1/8・ 底部4/5	瀬戸・ 美濃	18世紀 ～ 19世紀	胎土 浅黄色、密 焼成 良好 釉薬 淡黄色灰釉 備考 高台無釉 出土位置 表土一括
22	染付 碗蓋	磁器	8.9	摘み部 3.5	2.8	61.2	ほぼ完存・ 口縁部 5ヶ所欠損	瀬戸・ 美濃	19世紀	素地 灰白色、緻密 焼成 堅緻 文様 外面風景文・帯線に如意頭、摘み部一重圈線、摘み内角印、内面口縁部帯線に如意頭・見込一重圈線内岩波文 出土位置 一括
23	染付 輪花皿	磁器	10.0	6.9	2.0	73.8	口縁部～ 体部1/2・ 底部完存	肥前	18世紀 後半	素地 灰白色、緻密 焼成 堅緻 文様 外面唐草文・高台二重圈線、内面草花文・口唇部一重圈線 備考 蛇ノ目凹高台 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
24	白磁 端反皿	磁器	9.4	4.5	1.7	69.0	ほぼ完存・ 口縁部 一部欠損	瀬戸・ 美濃	19世紀 後半	素地 灰白色、緻密 焼成 堅緻 文様 見込に陰刻で「壽」の文字 出土位置 T11gr・U10gr・U11gr
25	志野皿	陶器	[10.7]	[7.0]	2.2	12.2	口縁部～ 体部1/9	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 にぶい黄橙色、やや粗 焼成 良好 釉薬 乳白色長石釉 備考 体部下半～高台釉拭き取り 出土位置 X13gr
26	志野皿	陶器	[11.8]	(7.0)	1.8	24.4	口縁部～ 底部1/4	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 浅黄色、密 焼成 良好 釉薬 灰黄色長石釉 備考 高台内釉拭き取り 出土位置 表土一括
27	志野皿	陶器	[11.8]	—	(2.5)	14.9	口縁部～ 体部1/7	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 にぶい黄橙色、やや粗 焼成 良好 釉薬 灰黄色長石釉 出土位置 Y11gr
28	志野皿	陶器	—	[6.2]	(1.3)	10.7	底部1/4	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 灰白色、焼成 良好 釉薬 灰白色長石釉 備考 高台内釉拭き取り 出土位置 X13gr
29	灰釉 折縁鉢	陶器	—	—	(3.4)	23.8	口縁部～ 体部破片	瀬戸・ 美濃	17世紀	胎土 灰白色、密 焼成 良好 釉薬 灰白色灰釉 文様 内面に鉄絵 出土位置 X11gr

30	小壺	炆器	—	3.0	(5.3)	46.7	体部1/3・ 底部7/8	備前	18世紀 以降	胎土 にぶい赤褐色、密、細 かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 出 土位置 V15gr
31	灰釉香炉	陶器	[10.8]	—	(2.4)	6.9	口縁部1/8	瀬戸・ 美濃	18世紀 ～ 19世紀	胎土 にぶい黄橙色、密焼成 良好 釉薬 オリーブ褐色灰 釉 出土位置 Z9gr
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
32	釘	鉄	3.3	0.7	0.8	5.5	残存度 両端部欠損 出土位置 Y11gr			
33	釘	鉄	6.5	0.7	0.7	4.7	残存度 両端部欠損 出土位置 Y11gr			
34	釘	鉄	5.5	0.9	0.7	7.1	残存度 両端部欠損 出土位置 Y11gr			
35	釘	鉄	5.2	0.7	0.7	6.8	残存度 両端部欠損 出土位置 V15gr			
36	釘	鉄	3.2	0.4	0.4	2.2	残存度 ほぼ完形 出土位置 W10gr			
37	釘	鉄	4.3	0.5	0.4	2.6	残存度 上端部欠損 出土位置 T14gr			
38	煙管 火皿	銅	—	1.5	2.1	2.1	残存度 火皿部のみ残存 出土位置 Y11gr			
39	板状製品	鉄	2.5	1.3	0.4	3.2	残存度 両端部欠損 備考 詳細不明 出土位置 一括			
No.	銭名	材質	銭径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容		
40	寛永通寶	銅	24.5	5.1	1.2	3.5	完形	鑄造地 水戸 初鑄年 1636年 備考 古寛永、 40・42・44と鑄で固着 出土地点 9区一括		
41	寛永通寶	銅	24.7	6.1	1.1	3.5	完形	鑄造地 亀戸 初鑄年 1697年 備考 新寛永、 40・42・44と鑄で固着 出土地点 9区一括		
42	寛永通寶	銅	24.3	5.3	1.3	3.5	完形	鑄造地 亀戸 初鑄年 1697年 備考 新寛永、 39・40・43と鑄で固着 出土地点 9区一括		
43	寛永通寶	銅	25.2	5.8	0.9	2.8	完形	鑄造地 亀戸 初鑄1697年 年 備考 新寛永 出 土地点 9区一括		
44	寛永通寶	銅	24.3	6.0	1.1	2.9	完形	鑄造地 亀戸 初鑄年 1697年 備考 新寛永、 40・41・43と鑄で固着 出土地点 9区一括		
No.	種類	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容		
45	火打石	瑪瑙	2.6	2.1	1.2	6.3	完形	備考 稜線に打痕 出土位置 X12gr		
46	火打石	瑪瑙	2.7	2.3	1.2	10.5	完形	備考 稜線に打痕 出土位置 V13gr		
47	墓石	粗粒 凝灰岩	37.7	16.7	13.3	7,950.0	残存度 完形 備考 頭部が三角形で断面が舟形を呈する、 表面に戒名、その両脇に没年が刻まれている、七沢石 時 期 19世紀前葉 出土位置 T10gr・T11gr			
48	墓石	粗粒 凝灰岩	39.4	17.7	12.2	7,050.0	残存度 完形 備考 頭部が三角形で断面が舟形を呈する、 表面を一段彫り窪めてその区画内に戒名没年が刻まれて いる、七沢石 時期 19前葉 出土位置 T10gr・T11gr			
49	墓石	粗粒 凝灰岩	57.0	24.4	19.2	16,050.0	残存度 完形 備考 頭部が三角形で下部に蓮の葉が彫られ ている、断面は舟形を呈し、表面を一段彫り窪めてその 区画内に戒名や没年が刻まれている、七沢石 時期 17世 紀前葉～18世紀前葉 出土位置 T10gr・T11gr			